

令和3年度から使用する広島市立中学校用
教科用図書調査・研究報告書

[教科 (種目)]


国語
書写
社会 (地理的分野)
社会 (歴史的分野)
社会 (公民的分野)
地理
数学
理科
音楽 (一般)
音楽 (器楽合奏)
美術
保健体育
技術・家庭 (技術分野)
技術・家庭 (家庭分野)
英語
道徳

令和2年7月9日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科【国語】種目【国語】

代表者 山崎英芳 

令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [国語] 種 目 [国語]

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、古典や伝統文化に触れることができる史跡や、博物館や美術館、音楽堂など、文化芸術に触れることができる施設が充実した地域である。また、各区に図書館があることや、全ての小・中学校で朝読書の取組を実施するとともに、2中学校区に1人学校司書を配置し、学校図書館の環境整備を実施していることなど、読書活動の推進に力を入れている地域でもある。
- 平成31年度の全国学力・学習状況調査によると、本市の生徒の学力の実態として、どの領域も概ね基礎的・基本的な学力は定着しているが、自分の考えを表す際に、根拠を示すことは意識できていても、複数の文章や資料から目的に応じた必要な情報を取り出すことや、相手意識を持って、分かりやすく相手に伝えることに課題が見られる。また、多様な表現に言い換えるなど、語彙の定着にも課題が見られる。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	<ul style="list-style-type: none"> ① 読書や情報の扱い方等に関する内容の取り扱い方 ② 伝統と言語文化に関する内容の取り扱い方 ③ 漢字や語句の取り扱い方
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	<ul style="list-style-type: none"> ④ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返り次につなげたりするための工夫 ⑤ 問題解決的な学習を実施するための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑦ 学習を広げたり、補足したりする内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ 他教科や日常生活との関連の示し方 ⑨ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
＜言語活動の充実＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 社会生活に必要とされる言語活動の種類と工夫

令和3年度から使用する中学校教科用図書調査・研究報告書

1 教科 (国語) 種 目 (国語)
2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書出版
<p>① 読書や情報の扱い方等に関する内容の取り扱い方</p>	<p>○ 教材ごとに、「読書案内」として、教材と関連する本を1冊紹介している。また、「読書への招待」の後に、教材と関連する本を12冊紹介している。</p> <p>○ 読書活動として、以下の活動を掲載している。</p> <p>第1学年：「図書館での調べ物」、「ポップ作り」</p> <p>第2学年：「ビブリオバトル」、「一枚レポートにまとめる」</p> <p>第3学年：「読書会」、「将来の目標や計画を立てる」</p> <p>○ 各学年、3人ずつ、異なる職業の人による「私のおすすめの本」を掲載している。</p> <p>○ 読書に関する作品については、各学年、本編の「読書への招待」に、作品を3つ掲載している。また、巻末の「資料編」に、作品を2つ掲載している。</p> <p>○ 「情報の扱い方」については、各学年、巻頭の既習事項を掲載するとともに、「領域別教材一覧」に、教材との関連を示している。</p> <p>○ 「情報」に関する教材については、各学年、「言葉とメディア」を配置し、教材の後の「てびき」に、学習課題を示している。</p> <p>○ 各学年、巻末の「資料編」に、「情報の整理」の参考となる資料として、以下の内容を掲載している。</p> <p>第1学年：「著作権と引用」</p> <p>第2学年：「著作権について考える」</p> <p>第3学年：「情報の信頼性を確かめる」</p>	<p>○ 教材ごとに、「私の本棚」として、教材と関連する本を3冊紹介している。また、「読書の広場」に、「小さな図書館」として、6のテーマで、47冊の本を紹介している。</p> <p>○ 読書活動として、以下の活動を掲載している。</p> <p>第1学年：「ブッククラブ」</p> <p>第2学年：「ビブリオバトル」</p> <p>第3学年：「ブックトーク」</p> <p>○ 各学年、1人ずつ、作家の「私の読書体験」を掲載している。</p> <p>○ 読書に関する作品については、各学年、巻末の「読書の広場」に、作品を4つ掲載している。</p> <p>○ 「情報の扱い方」については、各学年、巻頭の「領域別教材一覧」に、教材との関連を示している。</p> <p>○ 「情報」に関する教材については、各学年、「複教の情報に関連づけて考えをまとめる」を配置し、教材の前に、学習課題を示している。</p> <p>○ 各学年、巻末の「資料編」に、「情報の整理」の参考となる資料として、以下の内容を掲載している。</p> <p>全学年共通：「情報を活用する」、「情報探しの方法」、「引用と著作権」</p>	<p>○ 単元ごとに、「広がる本の世界」として、教材と関連する本を10冊紹介している。</p> <p>○ 読書活動として、以下の活動を掲載している。</p> <p>第1学年：「本の帯やポップ作り」</p> <p>第2学年：「レポート作成」</p> <p>第3学年：「ビブリオバトル」、「読書記録」</p> <p>○ 読書に関する作品については、各学年、本編の「読書への招待」に、作品を2つ掲載している。また、巻末の「言葉の自習室」に、作品を4つ掲載している。</p> <p>○ 「情報の扱い方」については、各学年、巻頭の「領域別教材一覧」に、教材との関連を示している。</p> <p>○ 「情報」に関する教材については、各学年、「メディアと表現」を配置し、教材の文章や資料に、学習課題を示している。</p> <p>○ 各学年、本編の「メディアと表現」で、「情報の整理」の参考となる内容を扱っている。</p> <p>第1学年：「メディアの編集について」、「広告の情報について」</p> <p>第2学年：「SNSとのつき合い方について」</p> <p>第3学年：「メディア・リテラシーについて」、「ニュースでの情報編集について」</p>	<p>○ 教材ごとに、「広がる読書」として、関連する本を2冊紹介している。また、各学年、テーマ別に50冊の本を紹介している。</p> <p>○ 読書活動として、以下の活動を掲載している。</p> <p>第1学年：「ポップ作り」、「感想の共有」、「読書記録」</p> <p>第2学年：「本の紹介合戦」、「読書ポスター」、「読みたい本リスト」</p> <p>第3学年：「ブックトーク」、「読書会」、「読書生活のデザイン」</p> <p>○ 各学年、1人ずつ、異なる職業の人による「読書コラム」を掲載している。</p> <p>○ 読書に関する作品については、各学年、本編の「読書」に、作品を3～5つ掲載している。また、巻末の「学習を広げる」に、作品を2～4つ掲載している。</p> <p>○ 「情報の扱い方」については、各学年、巻頭の「領域別教材一覧」に、教材との関連を示している。</p> <p>○ 「情報」に関する教材については、各学年、「情報整理のレッスン」、「思考のレッスン」、「情報社会を生きる」を配置し、教材の文章や資料に、学習課題を示している。また、巻末に、「情報整理のレッスン」、「思考のレッスン」の一覧を掲載している。</p> <p>○ 各学年、本編の「情報社会を生きる」に、「情報の整理」の参考となる資料として、以下の内容を掲載している。</p> <p>第1学年：「情報を集めよう」、「情報を読み取ろう」、「情報について知ろう」</p> <p>第2学年：「メディアを比べよう」、「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」</p> <p>第3学年：「実用的な文庫を読もう」、「報道文を比較して読もう」</p>

観点	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書出版
視点	② 伝統と言語文化に関する内容の取り扱い方	③ 漢字や語句の取り扱い方		
観点	<p>○ 各学年、古典単元を設け、物語、随筆、和歌、紀行文、漢文など様々なジャンルの古典教材を掲載している。</p> <p>○ 第1学年では、古典の導入として、身近な昔語をもとに、古典を学ぶ意味に関する文章を掲載している。</p> <p>○ 第1学年では、中学校3年間で学ぶ古典作品を掲載している。</p> <p>○ 古典教材の後に、「古典コラム」を設け、古文や漢文を讀むための知識・技能に関する内容を掲載している。</p> <p>○ 各学年、巻末の「資料編」に、古典に関する作品や伝統芸能を掲載している。</p> <p>第1学年：古事記、土佐日記、伊勢物語、源氏物語、梁塵秘抄、方丈記、芭蕉・蕪村、一茶の句</p> <p>第2学年：書き手の肖像—清少納言と兼好法師、望郷の詩—杜甫と李白、能・狂言</p> <p>第3学年：恋歌をよむ、「おくのほそ道」の旅、人形浄瑠璃・歌舞伎、〔発展〕古典の文法</p> <p>○ 行数を「・」と五行ごとに数字で示している。</p> <p>○ 新出漢字は、脚注に抜き出し行数、音訓を示している。</p> <p>○ 意味や用法、類義語・対義語など、注意する語句は、脚注に抜き出し、行数、意味欄への学習を促す記号で分類して示している。</p> <p>○ 巻末の「新出漢字一覽」に、本文に掲載された順に、初出ページ、音訓、部首、画数、筆順、音訓の用例を示している。</p> <p>○ 教科書で学習する用語については、巻末の「学習用語一覽」に、言葉と該当するページを示している。</p>	<p>○ 各学年、古典単元を設け、物語、随筆、和歌、紀行文、漢文など様々なジャンルの古典教材を掲載している。</p> <p>○ 第1学年では、古典の導入として、各月の異名(旧暦)に関する文章を掲載している。</p> <p>○ 古典教材の後に、「古文の読み方」、「漢文の読み方」を設け、古文や漢文を讀むための知識・技能に関する内容を掲載している。また、第2学年、第3学年では、学習した内容と関連した「コラム」を設けている。</p> <p>○ 各学年、巻末の「読書の広場」、「資料編」に、古典に関する作品や伝統芸能を掲載している。</p> <p>第1学年：古事記、落語の世界、落語 桃太郎</p> <p>第2学年：那須与一—平家物語より一、歌舞伎の世界、歌舞伎 外郎売</p> <p>第3学年：近世の短詩—俳句・川柳・狂歌、能・狂言の世界、狂言 柿山伏</p> <p>○ 行数を「・」と五行ごとに数字で示している。</p> <p>○ 新出漢字は、脚注に抜き出し行数、本文中の読みを示している。また、教材の終わりに、音訓と用例を示している。</p> <p>○ 意味や用法など、注意する語句は、脚注に抜き出し、行数、意味欄への学習を促す記号で分類して示している。また、本文中に掲載された語の対義語や類義語は、脚注で言葉を示している。</p> <p>○ 巻末の「〇年生で学ぶ漢字字典」に、本文に掲載された順に、初出ページ、音訓、部首、画数、筆順、音訓の用例を示している。</p> <p>○ 教科書で学習する用語については、巻末の「学習用語辞典」に、言葉と意味、該当するページを示している。</p>	<p>○ 各学年、古典単元を設け、物語、随筆、和歌、紀行文、漢文など様々なジャンルの古典教材を掲載している。</p> <p>○ 第1学年では、古典の導入として、身近な昔語をもとに、古典を学ぶ意味に関する文章を掲載している。</p> <p>○ 古典教材の後に、古文や漢文を讀むための知識・技能に関する内容を掲載している。</p> <p>○ 各学年、巻末の「言葉の自習室」に、古典に関する作品や伝統芸能を掲載している。</p> <p>第1学年：蓬萊の球の枝と偽りの苦心歌—竹取物語、一、伝統芸能へのいざない 落語、小倉百人一首</p> <p>第2学年：歴的—平家物語—</p> <p>第3学年：古典文学の名作、〔発展〕古典文法活用表、伝統芸能へのいざない 狂言</p> <p>○ 行数を「・」と五行ごとに数字で示している。</p> <p>○ 新出漢字は、脚注に抜き出し、漢字のみを示している。また、教材の終わりに、音訓と用例を示している。</p> <p>○ 意味や用法、類義語・対義語など、注意する語句は、脚注に抜き出し、意味欄への学習を促す記号で分類して示している。</p> <p>○ 巻末の「〇年生で学習した漢字」に、本文に掲載された順に、初出ページ、音訓、部首、画数、筆順、音訓の用例を示している。</p> <p>○ 教科書で学習する用語については、巻末「学習に必要な用語(索引)」に、言葉と該当する学年及びページを示している。</p>	<p>○ 各学年、古典単元を設け、物語、随筆、和歌、紀行文、漢文など様々なジャンルの古典教材を掲載している。</p> <p>○ 各学年、古典の導入として、最初の単元に「音読を楽しむ」を設けている。</p> <p>○ 第1学年では、「古典の世界」として、中学校3年間の古典教材を時代に沿って示している。</p> <p>○ 古典教材の後に、古文や漢文を讀むための知識・技能に関する内容を掲載している。</p> <p>○ 各学年、巻末の「学習を広げる」に、古典に関する作品や伝統芸能を掲載している。</p> <p>第1学年：百人一首を味わう、言葉としぐさの伝統芸能—古典落語</p> <p>第2学年：古典の世界を広げる 教盛の最期—「平家物語から」、家の作りやうは—「徒然草から」、古典芸能の世界—「能・狂言」</p> <p>第3学年：古典芸能の世界—歌舞伎・浄瑠璃、古典・近代文学の名作</p> <p>○ 行数を五行ごとに数字で示している。</p> <p>○ 新出漢字は、脚注に抜き出し、行数、本文中の読みとともにもすべての音訓を示している。また、教材の終わりに、音訓と用例を示している。</p> <p>○ 意味や用法、類義語・対義語など、注意する語句は、脚注に抜き出し、意味欄への学習を促す記号で分類して示している。さらに、「漢字に親しもう」で、指定した言葉を使用して文章をつくる課題を設定している。</p> <p>○ 巻末の「〇年生で学習した漢字」に、本文に掲載された順に、初出ページ、音訓、部首、画数、筆順、音訓の用例、慣用句・ことわざなどを示している。</p> <p>○ 教科書で学習する用語については、巻末「索引」学習のための用語一覽」に、言葉と該当するページを示している。</p>

観点	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書出版
⑥ 単元・題材や資料等の配列・分量	<p>○ 「本編」、「基礎編」、「資料編」の3つで構成している。</p> <p>○ 各単元を「思いを伝える(物語)」、「分かりやすく伝える(説明的文章)」などのテーマにまとめている。</p> <p>○ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の教材を、各単元にほぼ均等に配置している。</p> <p>また、「読むこと」の学習内容が、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の学習内容へつながるような教材の配列になっている。</p> <p>○ 広島に関連する教材として、「神」(読書への招待)を扱っている。</p>	<p>○ 本編、「読書の広場」、資料編の3つで構成している。</p> <p>○ 各単元を「分かりやすく伝える(説明的文章)」、「古典に学ぶ(古典)」などのテーマにまとめている。</p> <p>○ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の教材を、各単元にほぼ均等に配置している。</p> <p>また、「読むこと」の学習内容が、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の学習内容へつながるような教材の配列になっている。</p> <p>○ 広島に関連する教材として、「壁に残された伝言」(報告)を扱っている。</p>	<p>○ 本編、「言葉と文法 解説編」、「言葉の自習室」、「漢字」の4つで構成している。</p> <p>○ 各単元を「表現/対話/思想」、「人権/多様性/平和」などのテーマにまとめ、SDGsと関連付けている。</p> <p>○ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の教材を、各単元にほぼ均等に配置している。</p> <p>また、「読むこと」の学習内容が、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の学習内容へつながるような教材の配列になっている。</p> <p>○ 広島に関連する教材として、「この世界の片隅に」(さまざまな広告を比べる、アニメーション映画の絵コンテの例)「風琴と魚の町」(裏見返し)、「薔薇のボタン」(読書への招待)、「語り継ぐもの」(読書)、「永遠のみどり」(読書)を扱っている。</p> <p>○ 第1学年 サイズ B5判 重さ 約520g</p> <p>第2学年 サイズ B5判 重さ 約520g</p> <p>第3学年 サイズ B5判 重さ 約520g</p>	<p>○ 本編、「文法・漢字・振り返り」、「学習を広げる」の3つで構成している。</p> <p>○ 各単元を「心の動き(物語・小説)」、「新しい視点で(説明的文章)」などのテーマにまとめている。</p> <p>○ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の教材を、各単元にほぼ均等に配置している。</p> <p>また、「読むこと」の学習内容が、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の学習内容へつながるような教材の配列になっている。</p> <p>○ 広島に関連する教材として、「峠三吉 原爆詩集」(資料)を扱っている。</p>
⑦ 学習を広げたり、補足したりする内容の記述の状況	<p>○ 巻末の「基礎編」は、「学びを支える言葉の力」、「文法解説」で構成している。また、「資料編」は、「読むこと」、「古典」、「話すこと・聞くこと/書くこと」、「言葉」で構成している。</p> <p>○ 「資料編」に、「本編」と「基礎編」を学習するときに参考となる教材や資料、言葉を掲載している。</p>	<p>○ 巻末の「資料編」は、「情報を活用する」、「古典芸能に親しむ」、「参考資料」で構成している。</p> <p>○ 「資料編」に、「本編」を学習するときに参考となる教材や資料、言葉を掲載している。</p>	<p>○ 巻末の「言葉の自習室」は、読書4作品と資料で構成している。</p> <p>○ 「言葉の自習室」に、「本編」を学習するときに参考となる教材や資料、言葉を掲載している。</p>	<p>○ 「学習を広げる」は、「読む」、「話す・聞く」、「書く」、「情報」、「読書」、「伝統的な言語文化」、「言葉・漢字」で構成している。</p> <p>○ 「学習を広げる」に、「本編」を学習するときに参考となる教材や資料、言葉を掲載している。</p>
⑧ 他教科や日常生活との関連の示し方	<p>○ 他教科との関連がある教材には、教科関連マークを付し、関連する教科名を示している。</p> <p>○ 教材の後の「振り返り」に、「学んだことをこれからの学習や生活でどう生かしていきたいかを考えよう」、「学習を通してどんな力が身についたか、その力をこれからの学習や生活でどう生かしていきたいかをまとめよう」などと示している。</p>	<p>○ 教材の後の「振り返り」に、「この教材での学びをこれからの学習や読書へつなげよう」、「このでの学習を、理科や社会科などのレポートに活用しよう」などと示している。</p>	<p>○ 各学年、「書くこと」、「話すこと・聞くこと」の教材では、「振り返り」に、「学びを生かそう」として、学習した内容を日常生活のどの場面で生かせるかを例示している。</p>	<p>○ 各学年、「書くこと」、「話すこと・聞くこと」の教材では、「つなぐ」として、「日常生活」、「学校生活」、「将来」の3つを示し、学習したことを、それぞれの場面で生かせるようにしている。</p>
観点3 内容の構成・配列・分量				
観点4 内容の表現・表記				

観点	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書出版
<p>⑨ 本文のイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p>	<p>○ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「古典」のイラストデザインを統一し、教材に付している。</p> <p>○ 各学年、文章と写真や図表を関連付けて読む教材が掲載されており、使われている図表の種類は、写真、イラスト、図、グラフ、地図、新聞などである。</p> <p>○ 6人の生徒と案内役のキャラクターを登場させ、話し合いの例などを吹き出しで示している。</p> <p>○ 学習に関連する音声や映像などの資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、教材名のそばに「Dマーク」を付している。</p> <p>○ 巻頭・巻末のQRコードまたはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツがご覧とったページを利用できるようなっている。</p> <p>(第1学年：23箇所)</p>	<p>○ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」のイラストデザインを統一し、教材に付している。</p> <p>○ 各学年、文章と写真や図表を関連付けて読む教材が掲載されており、使われている図表の種類は、写真、イラスト、図、グラフ、地図、新聞などである。</p> <p>○ 生徒、ロボット、葉っぱのキャラクターを登場させ、話し合いの例などを吹き出しで示している。</p> <p>○ 「読書の広場」と古典教材には、教材の終わりに、学習に関連する資料を掲載したウェブコンテンツを利用できるQRコードを付している。</p> <p>○ 各教材のQRコードから、ウェブコンテンツがご覧とったページを利用できるようなっている。</p> <p>(第1学年：6箇所)</p>	<p>○ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「メディアと表現」のイラストデザインを統一している。</p> <p>○ 各学年、文章と写真や図表を関連付けて読む教材が掲載されており、使われている図表の種類は、写真、イラスト、図、グラフ、地図、新聞、漫画などである。</p> <p>○ 生徒と象のキャラクターを登場させ、話し合いの例などを吹き出しで示している。</p> <p>○ 学習に関連する音声や映像などの資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、ページ番号の横に「まなびリンク」を付している。</p> <p>○ 巻頭のQRコードまたはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツがご覧とったページを利用できるようなっている。</p> <p>(第1学年：34箇所)</p>	<p>○ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「情報」、「読書」のイラストデザインを統一している。</p> <p>○ 各学年、文章と写真や図表を関連付けて読む教材が掲載されており、使われている図表の種類は、写真、イラスト、図、グラフ、地図、新聞などである。</p> <p>○ 生徒のキャラクターを登場させ、話し合いの例などを吹き出しで示している。</p> <p>○ 学習に関連する音声や映像などの資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、QRコードが示されている。</p> <p>○ 巻頭のQRコードまたは裏表紙のQRコードとサイトのアドレスからは、ウェブコンテンツがご覧とったページを利用できるようなっている。</p> <p>(第1学年：16箇所)</p> <p>○ 各教材のQRコードから、教材ごとに関連するウェブコンテンツを利用できるようなっている。</p>
<p>⑩ 社会生活に必要とされる言語活動の種類と工夫</p>	<p>○ 教材名に、以下の言語活動例を示している。</p> <p>第1学年：「食文化」のレポート、「写真」の意見文、「似ている言葉」スピーチ、グループディスカッション等</p> <p>第2学年：「地域の魅力」の紹介文、「地図」の意見文、プレゼンテーション、リンクマップによる話し合い等</p> <p>第3学年：「環境」の新聞、「ボススター」の批評文、条件スピーチ、合意形成を目指す話し合い、時を超える手紙等</p>	<p>○ 教材名に、以下の言語活動例を示している。</p> <p>第1学年：グループディスカッション、レポート、随筆、スピーチ、行事案内リーフレット、意見文等</p> <p>第2学年：グループディスカッション、手紙・メール、短歌・俳句、プレゼンテーション、投稿文等</p> <p>第3学年：グループディスカッション、課題作文、批評文、パブリック・スピーキング、ボススター等</p>	<p>○ 巻頭「言葉の地図」に、以下の言語活動例を示している。</p> <p>第1学年：紹介、説明、読解、質問、話し合い、報告、意見文、案内文、随筆、報告文、意見文等</p> <p>第2学年：説明、提案、質問、討論、投書、意見文、記事、物語、短歌等</p> <p>第3学年：説明、スピーチ、討論、説明文、批評文、PR文、作品集、俳句等</p>	<p>○ 教材名に、以下の言語活動例を示している。</p> <p>第1学年：わかりやすく説明する、好きなことをスピーチで紹介する、質問で話を引き出す、案内文を書く、資料を引用してレポートを書く、グループディスカッションをする等</p> <p>第2学年：職業ガイドを作る、資料を示してプレゼンテーションをする、質問で思いや考えを引き出す、意見文を書く、討論で多角的に検討する、鑑賞文を書く、「ある日の自分」の物語を書く等</p> <p>第3学年：スピーチで社会に思いを届ける、質問で相手の思いに迫る、読得力のある批評文を書く、課題解決のために会議を開く、グラフを基に小論文を書く等</p> <p>○ 巻末の「資料」で、以下の内容を掲載している。</p> <p>第1学年：アンケート・原稿用紙の使い方・手紙の書き方</p> <p>第2学年：インタビュー・通信文</p> <p>第3学年：話し合いの方法</p>
<p>観点5 言語活動の充実</p>	<p>○ 巻末の「資料編」で、以下の内容を掲載している。</p> <p>全学年共通：「話すこと・書くこと」題材例、手紙の書き方・原稿用紙の使い方・掲載の観点</p> <p>第1学年：発想・整理の方法（カードによるグループビンゴ、ウェブング、新聞の作り方）</p> <p>第2学年：発想・整理の方法（樹形図、座標軸法、取材の仕方（インタビューの仕方、アンケートのとり方）</p> <p>第3学年：話し合いの方法（ダイアログ、パネルディスカッション）</p>	<p>○ 巻末の「資料編」、「社会生活に生かす」で、以下の内容を掲載している。</p> <p>全学年共通：メモを活用する（忘れないうためのメモ）、話し合いの形式を選ぶ（グループディスカッション、ダイアログ、パネルディスカッション、ワールドカフェ）、辞典を活用する、手紙・はがき・メールの書き方・原稿用紙の使い方・掲載の仕方</p>	<p>○ 巻末の「言葉の自習室」で、以下の内容を掲載している。</p> <p>第1学年：マップビンゴについて、原稿用紙の使い方</p> <p>第2学年：レポートの書き方</p> <p>第3学年：模範面接</p>	<p>○ 巻末の「資料」で、以下の内容を掲載している。</p> <p>第1学年：アンケート・原稿用紙の使い方・手紙の書き方</p> <p>第2学年：インタビュー・通信文</p> <p>第3学年：話し合いの方法</p>

令和2年7月9日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科 [国語] 種目 [書写]

代表者 山崎英芳



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について (報告)

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書

1 教科〔国語〕種目〔書写〕

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、古典や伝統文化に触れることができる史跡や、博物館や美術館、音楽堂など、文化芸術に触れることができる施設が充実した地域である。また、筆の生産量が全国一である安芸郡熊野町と隣接しており、書写や書道を身近に感じることができる地域でもある。
- 本市の生徒の実態として、授業において硬筆や毛筆を用いて、字体や筆順に注意して丁寧に書くこととできる意識や態度は見られるが、文字表現の多様化により、場や目的に応じて表現の効果を考えながら、書写で学習した内容を日常生活に活かすことができている生徒が多いことが課題である。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 姿勢・執筆法・用具の扱いの示し方 ② 伝統と言語文化に関する内容の記述
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返り次につなげたりするための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	④ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑤ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	⑥ 他教科や日常生活との関連の示し方 ⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫
＜言語活動の充実＞	⑨ 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書に関する調査・研究報告書

1 教科〔国語〕種目〔書写〕
2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

発行		発行		発行		発行	
観点	視点	東京書籍	三書堂	教育出版	光村図書出版		
観点1 基礎・基本の定着	① 姿勢・執筆法・用具の扱い方については、巻頭の「文字を整えて書くための姿勢(毛筆・硬筆)」、用具の名前・置き方、「墨のすり方」、「書きやすい鉛筆の持ち方」、「片付け方」を写真とイラストで示している。	○ 姿勢・執筆法・用具の扱い方については、巻頭に、「姿勢と構え方(毛筆・硬筆)」、「大筆の持ち方」、「小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方(用具の準備、墨のすり方、用具の片付け方)」、「鉛筆の持ち方」を写真で示している。	○ 姿勢・執筆法・用具の扱い方については、巻頭に、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方(大筆・小筆)」、「硬筆の持ち方(鉛筆・ボールペン)」、「墨のすり方」、「後片づけ」を写真で示している。	○ 姿勢・執筆法・用具の扱い方については、巻頭に、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方(大筆・小筆)」、「硬筆の持ち方(鉛筆・ボールペン)」、「墨のすり方」、「後片づけ」を写真で示している。	○ 姿勢・執筆法・用具の扱い方については、巻頭に、「書くときの姿勢」、「用具の準備(用具の名前)」、「筆記具の持ち方(大筆・小筆・鉛筆)」、「用具の片付け方」、「墨のすり方、墨の持ち方を写真で示している。		
	② 伝統・言語文化に関する内容の記述に	○ 文字の変遷、墨・硯・紙・筆の伝統的な作り方を写真で紹介している。 ○ 古典作品については、「いろは歌」、「竹取物語」、「平家物語」、「おくのほそ道」を扱っている。	○ 文字の変遷、墨・硯・紙・筆の伝統的な作り方を写真で紹介している。 ○ 古典作品については、「いろは歌」、「竹取物語」、「枕草子」、「平家物語」、「おくのほそ道」、「論語」、「短歌・俳句」を扱っている。	○ 文字の変遷、墨・硯・紙・筆の伝統的な作り方を写真で紹介している。 ○ 古典作品については、「いろは歌」、「竹取物語」、「枕草子」、「平家物語」、「おくのほそ道」、「論語」、「短歌・俳句」を扱っている。	○ 文字の変遷、墨・硯・紙・筆の伝統的な作り方を写真で紹介している。 ○ 古典作品については、「いろは歌」、「枕草子」、「氏物語」、「短歌・俳句」を扱っている。		
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次に	○ 巻頭の「書写の学習の進め方」に、教科書の使い方を示している。 ○ 運筆については、筆圧の違いを視覚的に示している。また、「とん・すう・びた・ぐっ・すっ」と擬音語を用いて説明している。 ○ 行書の導入部では、漢面を配置し、行書の特徴や利点について示している。 ○ コラム「文字のいざみ」を設け、「伝統的な用具・用材」、「手書き文字と活字」、「仕事の中の手書き文字」などを紹介し、身の回りにおける文字について興味・関心を持たせている。	○ 巻頭の「この教科書で学ぶ皆さんへ」に、教科書の使い方を示している。 ○ 運筆については、筆圧の違いを視覚的に示している。 ○ 行書の導入部では、行書と楷書を比較できる教材を配置し、行書の特徴や利点について示している。 ○ 「学びを広げる」を設け、活字と手書き文字の違いや、文字の変遷について紹介し、身の回りにおける文字について興味・関心を持たせている。	○ 巻頭の「学習の進め方」に、教科書の使い方を示している。 ○ 運筆については、筆圧の違いを視覚的に示している。 ○ 行書の導入部では、写真と解説を多く掲載し、行書の特徴や利点について示している。 ○ 「コラム」を設け、「季節の行事と書写」、「日本建築と書」などを紹介し、身の回りにおける文字について興味・関心を持たせている。	○ 巻頭の「学習の進め方」に、教科書の使い方を示している。 ○ 運筆については、筆圧の違いを視覚的に示している。また、「トン・スー・トン」と擬音語を用いて説明している。 ○ 行書の導入部では、「速さを比べてみよう」を設け、速さを覚えて書くことで、行書の特徴や利点について示している。 ○ 「コラム」を設け、「文字の歴史を探索」、「UD書体ってなんだろう」などを紹介し、身の回りにおける文字について興味・関心を持たせている。		
	④ 振り返り、学習を振り返って次に	○ 「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」といった学習の流れに沿って、教材が構成されている。また、「振り返って話そう」では、学習したことを自分の言葉でまとめ、次の学習につなげることができるよう工夫している。	○ 「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」といった学習の流れに沿って、教材が構成されている。また、「振り返ろう」では、評価の観点を示し、学習したことを次の学習につなげることができるよう工夫している。	○ 「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」といった学習の流れに沿って、教材が構成されている。また、「振り返ろう」では、評価の観点を示し、学習したことを次の学習につなげることができるよう工夫している。	○ 「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」といった学習の流れに沿って、教材が構成されている。また、「学習を振り返る」では、評価の観点を示し、学習したことを次の学習につなげることができるよう工夫している。 ○ 切り離し可能な「書写ブック」を設け、学習したことを生かして書いたり、学習した内容の確認をしたりすることができるようになっている。		

観点	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書出版
観点3	④ 単元・題材や資料等の配列・分量 内容の構成・配列・分量	④ 毛筆教材を、3年間で21教材掲載している。各学年の内訳は、第1学年8教材、第2学年8教材、第3学年5教材である。 ○ 第1学年の毛筆教材は、「大志」、「夏山の緑うつりし小窓かな」、「日光」、「大空」、「美しい緑」、「早春」、「夢の実現」、「温故知新」である。 ○ 広島に関する教材として、「熊野筆・川尻筆」、「平和の門」を扱っている。 ○ サイズ B5判より2.7cm横長 重さ 約325g ○ 「文字のいすみ」に、「古典をもとに」として、高等学校で学習する秋陽詢、王羲之、藤原行成らの書を掲載している。	④ 毛筆教材を、3年間で24教材掲載している。各学年の内訳は、第1学年8教材、第2学年8教材、第3学年8教材である。 ○ 第1学年の毛筆教材は、「天地」、「いろいろは歌」、「大」、「大木」、「栄光」、「平和」、「新たな決意」、「世界遺産」である。 ○ 広島に関する教材として、「熊野筆」、「広島城の陣」、「都道府県名一覧」を扱っている。 ○ サイズ B5判より2.7cm横長 重さ 約305g ○ 「コラム」に、「発展 高等学校書道I」として、高等学校で学習する虞世南、欧陽詢、褚遂良、顔真卿らの書を掲載している。	④ 毛筆教材を、3年間で30教材掲載している。各学年の内訳は、第1学年14教材、第2学年11教材、第3学年5教材である。 ○ 第1学年の毛筆教材は、「天地」、「春風」、「いろいろは歌(仮名)」、「夏の夜やちぎれちぎれの天の川」、「一」、「二」、「口」、「大」、「大木」、「北西」、「月光」、「不言実行」、「文武両道」、「将来の夢」である。 ○ 広島に関する教材として、「伊都岐島(熊島)神社」、「はがきの表書き」、「都道府県行書一覧」、「志望理由書」を扱っている。 ○ サイズ B5判 重さ 約295g ○ 裏見返しに、「発展」として、高等学校で学習する王羲之の書を紹介している。
観点4	⑥ 他教科や日常生活との関連の示し方	⑥ 日常生活との関連の示し方については、教材の後に「振り返ろう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くようにしている。 ○ 各学年の終わりに、「やってみよう」を設け、1年間で学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 薄墨と朱墨の二色で、筆使いを示している。毛筆教材では、見開きの左ページの上に、「書き方を学ぼう」を設け、点画等で気を付けることを示している。 ○ 生徒、鉛筆、毛筆のキャラクターを登場させ、学習する内容で気を付けることを吹き出しで示している。 ○ 学習に関連する映像や資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、QRコードを付している。巻頭のQRコードまたはアドレスから、ウェブコンテンツがご覧になったページを利用できるようなっている。(第1学年：10箇所、第2学年：8箇所、第3学年：5箇所、資料編：4箇所)	⑥ 日常生活との関連の示し方については、教材の後に「まとめ書きと応用」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 各学年に、「学習を生かして書く」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 薄墨と朱墨の二色で、筆使いを示している。毛筆教材では、見開きの左ページの上に、「考えよう」を設け、点画等で気を付けることを示している。 ○ おじいさんのキャラクターと2人の生徒が登場させ、学習する内容で気を付けることを吹き出しで示している。 ○ 学習に関連する映像や資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、「まなびリンク」を付している。巻頭及び裏表紙のQRコードまたはアドレスから、ウェブコンテンツがご覧になったページを利用できるようなっている。(第1学年：7箇所、第2学年：5箇所、第3学年：3箇所、資料編：1箇所)	⑥ 国語科と関連がある教材には、教材に「国語」と示している。 ○ 日常生活との関連の示し方については、教材の後に「生かそう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 各学年に、「学校生活」、「日常生活」などを設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 薄墨と朱墨の二色で、筆使いを示している。毛筆教材では、見開きの右ページの下に「学習の意」を設け、点画等で気を付けることを示している。 ○ 2人の生徒、筆と魂のキャラクターが登場させ、学習する内容で気を付けることを吹き出しで示している。 ○ 学習に関連する映像や資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、QRコードを付している。巻頭のQRコードまたはアドレスから、ウェブコンテンツがご覧になったページを利用できるようなっている。(第1学年：15箇所、第2学年：10箇所、第3学年：7箇所、資料編：10箇所)
観点5	⑦ 本文の延ばし、内容の強調、イラスト写真、ウェブコンテンツ等の示し方	⑦ 本文の延ばし、内容の強調、イラスト写真、ウェブコンテンツ等の示し方については、教材の後に「振り返ろう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 各学年の終わりに、「やってみよう」を設け、1年間で学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 薄墨と朱墨の二色で、筆使いを示している。毛筆教材では、見開きの左ページの上に、「書き方を学ぼう」を設け、点画等で気を付けることを示している。 ○ 生徒、鉛筆、毛筆のキャラクターを登場させ、学習する内容で気を付けることを吹き出しで示している。 ○ 学習に関連する映像や資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、QRコードを付している。巻頭のQRコードまたはアドレスから、ウェブコンテンツがご覧になったページを利用できるようなっている。(第1学年：10箇所、第2学年：8箇所、第3学年：5箇所、資料編：4箇所)	⑦ 本文の延ばし、内容の強調、イラスト写真、ウェブコンテンツ等の示し方については、教材の後に「振り返ろう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 各学年の終わりに、「やってみよう」を設け、1年間で学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 薄墨と朱墨の二色で、筆使いを示している。毛筆教材では、見開きの左ページの上に、「考えよう」を設け、点画等で気を付けることを示している。 ○ おじいさんのキャラクターと2人の生徒が登場させ、学習する内容で気を付けることを吹き出しで示している。 ○ 学習に関連する映像や資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、「まなびリンク」を付している。巻頭及び裏表紙のQRコードまたはアドレスから、ウェブコンテンツがご覧になったページを利用できるようなっている。(第1学年：7箇所、第2学年：5箇所、第3学年：3箇所、資料編：1箇所)	⑦ 本文の延ばし、内容の強調、イラスト写真、ウェブコンテンツ等の示し方については、教材の後に「振り返ろう」を設け、学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 各学年の終わりに、「やってみよう」を設け、1年間で学習したことを生かして、文字を書くことができるようにしている。 ○ 薄墨と朱墨の二色で、筆使いを示している。毛筆教材では、見開きの右ページの下に「学習の意」を設け、点画等で気を付けることを示している。 ○ 2人の生徒、筆と魂のキャラクターが登場させ、学習する内容で気を付けることを吹き出しで示している。 ○ 学習に関連する映像や資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、QRコードを付している。巻頭のQRコードまたはアドレスから、ウェブコンテンツがご覧になったページを利用できるようなっている。(第1学年：15箇所、第2学年：10箇所、第3学年：7箇所、資料編：10箇所)

発行者

観 点	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書出版
<p>④ 文字の大きさや配色等の工夫</p>	<p>○ 文字の大きさは、実際の半紙やはがきなどと、同等のサイズにしている。 ○ フォントは、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 配色は、カラーユニバーサルデザインを意識している。 ○ 本編と「生活に広げよう」などのページでは、ページの色分けをしている。</p>	<p>○ 文字の大きさは、実際の半紙やはがきなどと、同等のサイズにしている。 ○ フォントは、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 配色は、カラーユニバーサルデザインを意識している。 ○ 各学年でテーマカラーを設定し、このテーマカラーで、見出しの背景の色を統一している。 (第1学年：赤、第2学年：緑、第3学年：青)</p>	<p>○ 文字の大きさは、実際の半紙やはがきなどと、同等のサイズにしている。 ○ フォントは、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 配色は、カラーユニバーサルデザインを意識している。 ○ 各学年でテーマカラーを設定し、このテーマカラーで、見出しの背景の色を統一している。 (第1学年：緑、第2学年：赤、第3学年：青)</p>	<p>○ 文字の大きさは、実際の半紙やはがきなどと、同等のサイズにしている。 ○ フォントは、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 配色は、カラーユニバーサルデザインを意識している。 ○ 本編と「やってみよう」などのページでは、ページの色分けをしている。</p>
<p>④ 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫</p>	<p>○ 「生活に広げよう」に、案内の手紙、年賀状、本のポップ、防災訓練におけるポスター、案内表示などの言語活動を示し、書写で学習したことを生かすよう工夫している。 ○ 巻頭に、「手紙を書く」、「ポスターを書く」、「メモをとる」など、書写で学んだことが役立つ場面を例示している。 ○ 巻末の「さまざまな書式」に、手紙・新聞・リーフレット・ポスター・フリック、レポート・原稿用紙・入学願書・送り状、往復はがき・のし袋・簡潔な手紙・電子メールの書き方について、イラストや写真を示している。</p>	<p>○ 「やってみよう」に、グループ新聞、情報誌、名言集などの言語活動を示し、書写で学習したことを生かすよう工夫している。 ○ 巻頭に、レポート、手紙、掲示物など、書写で学んだことが役立つ場面を例示している。 ○ 巻末の「書式の教室」に、手紙・一筆箋・封筒・年賀状・はがき・往復はがき・包み紙・エアメール・原稿用紙・小包伝票・願書・志願理由書の書き方について、イラストや写真を示している。</p>	<p>○ 「学習を生かして書く」や「学校生活に生かして書く」に、本の帯やポップ作り、ポスターセッション、新聞などの言語活動を示し、書写で学習したことを生かすよう工夫している。 ○ 巻頭に、レポート、手紙、掲示物など、書写で学んだことが役立つ場面を例示している。 ○ 巻末の「書式の教室」に、手紙・一筆箋・封筒・年賀状・はがき・往復はがき・包み紙・エアメール・原稿用紙・小包伝票・願書・志願理由書の書き方について、イラストや写真を示している。</p>	<p>○ 「やってみよう」、「国語」、「学校生活」、「日常生活」に、学級スローガン、個人目標、本の帯、立て看板、応援旗、ノート、メモ、一筆箋、壁新聞、テレビ番組のタイトルデザイン、冊子、年賀状の書き方などの言語活動を示し、書写で学習したことを生かすよう工夫している。 ○ 巻末の「日常に役立つ書式」に、手紙(縦書き)・手紙(横書き)・宛名・封筒・メール・はがき・往復はがき・願書・原稿用紙・送り状の書き方について、イラストや写真を示している。 ○ 第3学年では、学習の参考として、「私の好きな言葉」に、スポーツ選手や漫画家の直筆の書を持載している。</p>
<p>観 点 5 言語活動の充実</p>				

令和2年7月9日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科【社会】種目【地理的分野】

代表者 川本尚樹



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [社会] 種 目 [地理的分野]

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、官公庁や商業施設が集まる地域、工業・農業・漁業が行われている地域、宅地造成により住宅地が広がる地域、豊かな自然の残る地域など、それぞれに異なる特色をもつ地域が分散している。また、近年では都市再開発、高速道路の整備、自然災害等、状況が大きく変容していることなど、こうした地域の実態や課題を調べる学習に適した地域である。
- 本市の生徒は、地理的事象や、調査などの作業的な学習活動に対する興味・関心は高く、情報を収集する技能は身に付いているが、地図や諸資料を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする方に課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
<内容の表現・表記>	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方
<言語活動の充実>	⑨ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫

1 教科〔社会〕種目〔地理的分野〕
2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	<p>○ 小項目「日本の地域構成」の「日本の領域の特色」では、「主なる領海・非領海・非領海・非領海」を掲載し、日本と他国の領土を比較している。また、コラム「地理にアクセス」で、新しく広がった国土として、東京都の西之島の写真を掲載し、沖ノ島の写真を掲載している。</p> <p>○ みんなでチャレンジを設け、「国土面積と比較しよう」、「周辺の島々が領土であることの意味について、グループで話し合おう」という学習課題を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、本文2ページにわたり、「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」の問題に、テーマを付して1つずつ示している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の中で、「地域の伝統や歴史的背景」を踏まえた視点として、「東北地方」では、「祭りや年中行事の伝統とその変化」、「伝統工芸品の生産・販売とその変化」、「過去の継承と未来に向けた社会づくり」などの学習内容を設けている。</p>	<p>○ 小項目「日本の地域構成」の「日本の国土の広がり」では、「国々の領土と非領土の面積」を掲載し、日本と他国の領土を比較している。また、「面積が拡大した西之島」の写真を掲載し、コラム「地理の窓」で沖ノ島島を掲載している。</p> <p>○ 「読み解こう」を設け、「島国としての日本の特徴をまとめよう」、「沖ノ島島が属する都道府県はどこか、調べよう」という学習課題を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、本文2ページにわたり、「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」の問題をとりあげている。また、「北方領土」に関する歴史的背景の年表を掲載している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の中で、「地域や伝統や歴史的背景」を踏まえた視点として、「東北地方」では、「歴史に育まれた地域」、「京都の街並みと伝統文化」、「都市の成り立ちと広がり」などの学習内容を設けている。</p>	<p>○ 小項目「日本の地域構成」の「日本の領域とその特色」では、「主なる領海・非領海・非領海・非領海」を掲載し、日本と他国の領土を比較している。また、「活発な噴火を続ける西之島」の写真を掲載し、コラム「地理の窓」で沖ノ島島を掲載している。</p> <p>○ 「やってみよう」を設け、地図帳を使って日本の東西南北の端の島名を調べたり、属している都道府県を調べたりする学習課題を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、本文2ページにわたり、「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」の問題を、コラムを設け、掲載している。また、「北方領土」に関する国境の推移の地図を掲載している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の中で、「地域や伝統や歴史的背景」を踏まえた視点として、「東北地方」では、「伝説行事と生活・文化の変化」、「稲作と畑作に対する人々の工夫や努力」、「工業の発展と人々の生活の変化」などの学習内容を設けている。</p>	<p>○ 小項目「日本の地域構成」の、「日本の領域の特色をとらえよう」では、「主なる領土・領海・非領海・非領海」を掲載し、日本と他国の領土を比較している。また、コラム「地理+α」で沖ノ島島を掲載している。</p> <p>○ 「トライ」を設け、地図帳を使って、日本の東西南北の端の島名を調べたり、東京との距離をはかる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、本文2ページにわたり、「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」の問題をとりあげている。また、「北方領土」に関する国境の推移の地図を掲載している。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の中で、「地域や伝統や歴史的背景」を踏まえた視点として、「近畿地方」では、「現在にいきづく歴史的城市の特色」、「港町から世界へ」、「伝統を生かした産業と世界進出」などの学習内容を設けている。</p>
② 国際社会で主体的に生きていくための基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫	<p>○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気帯（寒帯・冷帯で4ページ）の人々の生活、気候、宗教、暮らしの変化について説明している。</p> <p>○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「日本の伝統的な工法で造られる上総掘りの井戸」、「アフリカの学校で理科を教える日本人」、「青年海外協力隊の活動」（計3点）を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「基礎・基本のまとめ」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行い、「まとめの活動」では、各州で着目した「地球の課題」を、探究のステップで例に挙げた資料を参考にしながら、振り返る学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「資料から発見」を設け、資料を読み取る力や、考える力、説明する力などの、地理的な技能を身に付けさせる学習活動を設定している。</p> <p>○ コラム「スキルの読み取り」を設け、雨図面の読み取り方や、地形図の読み取り方などの技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気帯（寒帯・冷帯で2ページ）の人々の生活、気候、宗教、民族・言語について説明している。</p> <p>○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「米を支援する現地の労働者と日本人の技師」（計1点）を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「学習のまとめと表現」を設け、各州で学習した基礎的な知識を確認するなどの、学習活動を設定している。</p> <p>○ コラム「地理の技」を設け、日本の略地図の描き方や、新旧の地形図を比較するなどの、地理的な技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気帯（寒帯・冷帯で2ページ）の人々の生活、気候、宗教、言語について説明している。</p> <p>○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「アフリカで医療や衛生についての活動をする国際協力機構（JICA）の隊員」、「日本の企業の協力で建設されたアルミニウムの生産工場」（計2点）を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「学習のまとめ」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行うことができている学習活動を設定している。</p> <p>○ コラム「スキルアップ」を設け、地図の活用や、写真の活用などの技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気帯（寒帯・冷帯で2ページ）の人々の生活、気候、宗教、言語について説明している。</p> <p>○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「アフリカで医療や衛生についての活動をする国際協力機構（JICA）の隊員」、「日本の企業の協力で建設されたアルミニウムの生産工場」（計2点）を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「学習のまとめ」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行うことができている学習活動を設定している。</p> <p>○ コラム「スキルアップ」を設け、地図の活用や、写真の活用などの技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。</p>

観点	視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<p>③ 興味関心を持たせ、異通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたり</p> <p>④ 問題解決的な学習を実施するための工夫</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「瀬戸大橋」等の関連する写真を掲載している。また、キャラクターの吹き出しで「このよう大きな橋ができたことで、暮らしはどのように変わったのだろう。」と掲載し、写真との関連付けをしている。</p> <p>○ 小項目の課題を「探究課題」として、資料から読み取った情報をもとにして、「中国・四国地方では、なぜ交通・通信網が重要な役割を果たしているのだろうか」とし、更に本文ページにも、「どのようなく」とし、「どのよう」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「チェック」で、基礎的、基本的な内容を確認する活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」として、「○○地方をふり返ろう」を設け、各地方の特色等をまとめる学習を行うために、探究のステップを解決しながら振り返る学習活動を設けている。また、「まとめの活動」では、探究課題を踏まえて、より発展的な課題に取り組む学習活動を設けている。</p> <p>○ 振り返るための活動の工夫として、「みんなでチャレンジ」を設け、グループで話し合う学習課題を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「もつと地理」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 中項目「地域調査の手法」で、16 ページにわたって、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「情報を集める」、「調査テーマを決める」、「仮説を立てる」、「調査計画を立てる」、「調査する」、「発表する」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「スキルアップ」を設け、「調査テーマを決めるヒント」、「身近な地域の情報の集め方」、「地形図の読み取り方」、「空中写真と比較した土地利用の読み取り」、「デジタル地図の使い方」等を掲載している。</p> <p>○ 世界の諸地域や日本の諸地域の学習で、「まとめの活動」を設け、「探究のステップ」で挙げた資料や学習した内容に関連する資料を取り上げながら問題を解決していく学習活動を設定している。</p> <p>○ 資料や学習課題に「見方・考え方」マークを付し、地理的な見方・考え方を活用して考察を深める活動を設定している。</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「地域で予想される災害について学ぶ」、「水島コンビナート」等の関連する写真を掲載している。</p> <p>○ 小項目の課題を「学習の視点」として、「人口増中や人口減少の視点から、中国・四国地方の特色を考えていこう」とし、更に本文ページにも、「どのような」、「どのよう」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「確認しよう」で、この時間で学習したことを振り返って確認する活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「学習のまとめと表現」、「地図を使って確かめよう」、「表現しよう」を設け、「意見を交換しよう」では、他者と意見を交換しながら振り返る学習活動を設けている。</p> <p>○ 特設ページ「現代日本の課題を考えよう」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 中項目「地域調査の手法」で、14 ページにわたって、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「野外観察をし、地域の情報を集める」、「調査テーマを決める」、「テーマごとに調べる」、「考察してまとめ」、「資料をつくる」、「調査結果を伝える」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「地域調査の手引き」を設け、「調査計画書をもとめる」、「気づいたことや疑問を分類する」、「地形図の読み取り方」、「聞き取り調査」、「調査結果をまとめる」を掲載している。</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、中国・四国地方の地図を掲載するとともに、「厳島神社」、「鳥取砂丘」等の関連するイラストを掲載している。また、「探してみよう」を設け、小学校で学習したことを振り返る学習活動を設けている。さらに、「写真で眺める中国・四国地方」を設け、関連する写真を掲載している。</p> <p>○ 小項目の課題を「断の問い」として、「中国・四国地方における交通網や通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか」とし、さらに本文ページにも、「どのような」、「どのよう」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「確認しよう」で、学習上大切な事項を確認する活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「断の学習を振り返ろう」として、「学んだことを確かめよう」で断の問いを確認などを行い、ステップ1からステップ2で「断の問い」について振り返る学習活動を設けている。また、ステップ3では、より発展的な課題に取り組む学習活動を設けている。</p> <p>○ 特設ページ「地域の在り方を考える」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 中項目「地域調査の手法」で、12 ページにわたって、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「テーマを決める」、「調査方法を考える」、「野外調査をする」、「文献調査をする・まとめ」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「技能をみがく」を設け、「ルートマップの作り方」、「地形図の使い方①～断面図～」、「地形図の使い方②～等高線と断面図～」、「新旧の地形図の比較」、「地形図の使い方③～地理院地図～」等を掲載している。</p> <p>○ 「断の学習を振り返ろう」を設け、「地理的な見方・考え方」を働かせて説明しよう」において、関連が深い見方・考え方を掲載している。</p>	<p>○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、中国・四国地方の面積・人口・県内総生産を掲載するとともに、「たいの美濱」、「厳島神社」等の関連するイラストを掲載している。また、「クイズ」を設け、岡山市の人口に関する課題を掲載している。</p> <p>○ 小項目の課題を「人口や都市・村落をテーマに」とし、更に本文ページにも、「どのような」、「どのように」等の学習課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「確認」で、見聞きの学習の理解を確かにするための活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「学習のまとめ」で、断の問いを確認などを行い、また「アクティビティ」を付し、学習内容の理解を深めながら、振り返る学習活動を設けている。</p> <p>○ 特設ページ「自由研究」や「チャレンジ地理」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 中項目「地域調査の手法」で、20 ページにわたって、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「地域を見直す」、「調査テーマを決める」、「調査計画を立てる」、「調査を進める」、「調査結果をもとに考察する」、「調査結果をまとめる」、「調査結果を発表する」の順で掲載している。</p> <p>○ 問題解決的な学習に役立てるために、「スキルアップ」を設け、「地域の特色をつかむための五つの視点」、「地形図のしくみと約束を知る」、「デジタル地図にふれてみよう」、「地形図を身近な地域の調査に役立てる」、「関連図のつくり方」等を掲載している。</p> <p>○ 見聞きページ「自由研究」の学習課題に「見方・考え方」マークを付し、学習課題を解決するための手がかりを示している。</p>

観点	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量	⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況		
観点3	内容の構成・配列・分量			
視点	<p>東京書籍</p> <p>○ 地域的特色と地域区分の取り扱い方(教科書の掲載順) 九州地方「自然環境」 中国・四国地方「交通・通信」 近畿地方「人口、都市・村落」 中部地方「産業」 関東地方「交通・通信」 東北地方「生活・文化」 北海道地方「自然環境」 ○ 総ページ数 302 ページ 第1編「世界と日本の姿」 27 ページ 第2編「世界のさまざまな地域」 107 ページ 第3編「日本のさまざまな地域」 142 ページ 索引等 20 ページ 巻頭・巻末 6 ページ</p> <p>○ 巻頭・巻末等の資料 (世界自然遺産、持続可能な社会に向けて、統計資料・用語解説・索引、世界の主な家畜・農産物)</p> <p>○ サイズAB判 重さ約 586 g</p> <p>○ 特設ページ「もつと地理」(15 項目・全 17 ページ)を設け、学習した内容をさらに深めたり、広げたり、ちがう視点でとらえたりするための資料を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「トライ」では、「チェック」を確認したうえで、さらに深める学習課題を設けている。</p> <p>○ SDGs については、巻頭 2 ページにわたり、関連する写真を 5 点掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の各小項目冒頭で、「導入の活動」として、「SDGs から『地球的課題』を考えよう」を設けている。また、「まよめの活動」で、各州でとらえた地球的課題を SDGs と関連付けるようにしている。</p> <p>○ 大項目「地域の在り方」では SDGs の視点から課題を解決する構成としている。</p>	<p>教育出版</p> <p>○ 地域的特色と地域区分の取り扱い方(教科書の掲載順) 九州地方「自然環境」 中国・四国地方「人口、都市・村落」 近畿地方「歴史的背景」 中部地方「産業」 関東地方「交通・通信」 東北地方「生活・文化」 北海道地方「自然環境」 ○ 総ページ数 297 ページ 第1編「世界と日本の地域構成」 19 ページ 第2編「世界のさまざまな地域」 101 ページ 第3編「日本のさまざまな地域」 149 ページ 索引等 23 ページ 巻頭・巻末 5 ページ</p> <p>○ 巻頭・巻末等の資料 (世界遺産、統計資料・用語解説・索引、世界の主な家畜・農産物)</p> <p>○ サイズAB判 重さ約 606 g</p> <p>○ 特設ページ「地域から世界を考えよう」(6 テーマ・全 6 ページ)、「現代日本の課題を考えよう」(7 テーマ・全 8 ページ)を設け、現代の世界の話題及び現代の日本の話題から地理の学習を深めるための資料を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「表現」では、学習してきたことを活用してまとめたり、話し合ったりして、さらに深める学習活動を設けている。</p> <p>○ SDGs については、特設ページ「地理的な見方・考え方」で、「地球的課題と SDGs」を掲載している。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の各小項目冒頭で、「○」で学習する地球的課題」を掲載している。また、「学習のまとめ」で、各州でとらえた地球的課題を SDGs と関連付けるようにしている。</p>	<p>帝国書院</p> <p>○ 地域的特色と地域区分の取り扱い方(教科書の掲載順) 九州地方「自然環境」 中国・四国地方「交通・通信」 近畿地方「環境保全」 中部地方「産業」 関東地方「人口、都市・村落」 東北地方「生活・文化」 北海道地方「自然環境」 ○ 総ページ数 310 ページ 第1部「世界と日本の地域構成」 24 ページ 第2部「世界のさまざまな地域」 104 ページ 第3部「日本のさまざまな地域」 155 ページ 第4部「地域の在り方」 11 ページ 索引等 6 ページ 巻頭・巻末 10 ページ</p> <p>○ 巻頭・巻末等の資料 (SDGs、索引、世界の主な家畜・農産物・農産物)</p> <p>○ サイズAB判 重さ約 610 g</p> <p>○ 特設ページ「節の学習を振り返ろう」(17 箇所)を設け、章や節の問いに対して、地理的な見方・考え方を働かせる言語活動に取り組みするための課題を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「説明しよう」では、本文を参考に説明するなどのさらに深める学習活動を設けている。</p> <p>○ SDGs については、巻頭 2 ページにわたり、関連する写真を 8 点掲載している。また、コラム「未来に向けて」を設け、SDGs に関連したテーマを扱っている。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の各小項目冒頭で、「注目する地球的課題」を掲載している。また、「節の学習を振り返ろう」で、各州でとらえた地球的課題を SDGs と関連付けるようにしている。</p> <p>○ 大項目「地域の在り方」では SDGs の視点から課題を解決する構成としている。</p>	<p>日本文教出版</p> <p>○ 地域的特色と地域区分の取り扱い方(教科書の掲載順) 九州地方「自然環境」 中国・四国地方「人口、都市・村落」 近畿地方「歴史的背景」 中部地方「産業」 関東地方「交通・通信」 東北地方「持続可能な社会づくり」 北海道地方「自然環境」 ○ 総ページ数 298 ページ 第1編「世界と日本の地域構成」 22 ページ 第2編「世界のさまざまな地域」 95 ページ 第3編「日本のさまざまな地域」 156 ページ 索引等 15 ページ 巻頭・巻末 10 ページ</p> <p>○ 巻頭・巻末等の資料 (統計資料・用語解説・索引、世界の主な畜産物・鉱産資源・農産物)</p> <p>○ サイズAB判 重さ約 578 g</p> <p>○ 特設ページ「チャレンジ地理」(4 テーマ・全 7 ページ)、「地理+α (16 テーマ・全 16 ページ)」、「自由研究」(13 テーマ・全 13 ページ)を設け、学習の内容をより深めるための資料を掲載している。</p> <p>○ 本文ページの「深めよう」では、「見方・考え方」を働かせながら、さらに深める学習活動を設けている。</p> <p>○ 中項目「世界の諸地域」の各小項目冒頭で、地域的な特色を追究するためのテーマを示している。また、各州でとらえた地球的課題を SDGs と関連付けるようにしている。</p>

発行 者	
東京書籍	教育出版
帝国書院	日本出版
<p>⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p>	<p>⑧ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方</p>
<p>○ ユニバーサルデザインへの配慮として、文字は黒色で、黒色を抑制してあり、資料の掲載部分は支障のない地色を用いている。</p> <p>○ 中項目「中国・四国地方」に、広島に関連する資料として、「浜田駅と広島駅を結ぶ高速バス」「浜田駅から広島県、松江駅までの所要時間」「世界とつながる広島県」「原爆ドーム」「広島県の自動車工場」を掲載している。(計5点)</p> <p>○ 34 件のウェブコンテンツにアクセスできるように QR コードを掲載している。また、対応する箇所には「Dマーク」を付している。</p>	<p>○ ユニバーサルデザインへの配慮として、文字は黒色で、黒色を抑制してあり、資料の掲載部分は支障のない地色を用いている。</p> <p>○ 中項目「中国・四国地方」に、広島に関連する資料として、「太田川の三角州」「通信使の名残」「1898年ごろの広島市」「広島市の人口・面積の変化」「1950年ごろ、2012年ごろの広島市」「原爆ドーム前を通る被爆した路面電車」「全線開通から40年ほどで廃止された三江線」「軽自動車による移動スーパ」を掲載している。(計9点)</p> <p>○ 31 件のウェブコンテンツにアクセスできるように QR コードを掲載している。また、対応する箇所には「まなびリンク」を付している。</p>
<p>○ ユニバーサルデザインへの配慮として、文字は黒色で、黒色を抑制してあり、資料の掲載部分は支障のない地色を用いている。</p> <p>○ 中項目「中国・四国地方」に、広島に関連する資料として、「瀬戸内海と来島海峡大橋」「瀬戸内しまなみ海道でサイクリングを楽しむ人々」「世界遺産の厳島神社と宮島にある平清盛の像」「瀬戸の浦と仙酔島」「土砂災害のしくみを学ぶ小学生」「世界とつながる平和記念都市、広島」「平和記念式典と『平和への誓い』を読み上げる小学6年生」を掲載している。(計7点)</p> <p>○ ウェブコンテンツにアクセスできるように QR コードを49箇所掲載している。</p>	<p>○ ユニバーサルデザインへの配慮として、文字は黒色で、黒色を抑制してあり、資料の掲載部分は支障のない地色を用いている。</p> <p>○ 中項目「中国・四国地方」に、広島に関連する資料として、「瀬戸内海と来島海峡大橋」「瀬戸内しまなみ海道でサイクリングを楽しむ人々」「世界遺産の厳島神社と宮島にある平清盛の像」「瀬戸の浦と仙酔島」「土砂災害のしくみを学ぶ小学生」「世界とつながる平和記念都市、広島」「平和記念式典と『平和への誓い』を読み上げる小学6年生」を掲載している。(計8点)</p> <p>○ 41 件のウェブコンテンツにアクセスできるように QR コードを掲載している。また、対応する箇所には「デジタルマーク」を付している。</p>
<p>○ 「教科関連マーク」を付し、他教科の学習との関連を示している。</p> <p>○ 「分野関連マーク」を付し、社会科学の他分野との関連を示している。</p> <p>○ 「小学校の社会で習ったことば」を設け、小学校で学習した語句を掲載し、小学校の学習との関連を示している。</p> <p>○ 小項目「自然災害と防災・減災への取り組み」で、自然災害の種類、被災地への支援の方法、防災意識について説明している。また、特設ページ「震災から命を守る」を設け、震災から命を守る取り組みについて考える学習活動を設定している。</p>	<p>○ 「連携コーナー」で、社会科学の他分野との関連を示している。</p> <p>○ 「連携コーナー」で、小学校で学習した語句を掲載し、小学校の学習との関連を示している。</p> <p>○ 中項目「日本の地域的特色と地域区分」の小項目「災害にそなえるために」において、防災・減災のための取組を考える問いを設けている。</p>
<p>○ 「関連コーナー」マークを付し、社会科学の他分野との関連を示している。</p> <p>○ 特設ページ「小学校の社会科学の学習を振り返ろう」を設け、小学校で学習した語句を掲載し、小学校の学習との関連を示している。</p> <p>○ 小項目「自然災害に向き合う」で、自然災害の種類を掲載し、また、小項目「災害から身を守るために」で、災害予測や災害への支援の方法について掲載している。</p>	<p>○ 「小学校・歴史・公民と公民との関連」マークを付し、社会科学の他分野との関連を示している。</p> <p>○ 「小学校・歴史・公民との関連」マークを付し、小学校で学習した語句を掲載し、小学校の学習との関連を示している。</p> <p>○ 小項目「日本のさまざまな自然災害」で、自然災害の種類を掲載し、また、小項目「自然災害に対する備え」で、防災への工夫や災害への対応について掲載している。</p> <p>○ 「前の学習を振り返ろう」のページに「私たちとの関わり」を設け、日常生活と関連付けている。</p>

観点	視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本文教出版
観点5 言語活動の充実	⑤ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するために、特設ページ「資料から発見」を設け、地域に特徴的な資料を取り上げ、読み取ったり考えたりすることで、資料を読み取る力を身に付ける学習活動を設定している。また、「スキルアップ」では、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。 ○ 中項目「日本の諸地域」では、「なぜ」という発問により小単元を貫く「探究課題」を示し、見開きごとに「探究課題」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、教科書の内容の「チェック」と、その情報をもとに理由を考察したり、自分の言葉で説明したりする「トライ」の二段階に分けた活動を設定している。 ○ 大項目「地域の在り方」では、持続可能な開発目標(SDGs)を冒頭に示し、「課題を見つけ」、「構想テーマを決める」、「情報を集める」、「要因を考察する」、「対策を考える」、「発表する」の順に掲載し、身近な地域の特色や課題を、SDGsに関連付けながら考察する学習活動を設定している。 ○ 「まとめの活動」を設け、「ウェビングマップ」、「クラゲチャート」、「ランキング」などのシンキングツールを利用して、導入で示された「探究課題」について、考えたことを自分の言葉でまとめる学習活動を設定している。 ○ 「まとめの活動」の中に、「みんなでチャレンジ」を設け、グループで活動する課題や、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するために、コラム「地理の技」を設け、地図やグラフなどの扱い方を学習する活動を設定し、特設ページ「地理にアプローチ」では、人口ピラミッドのつくり方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。 ○ 中項目「日本の諸地域」では、「学習の視点」を示し、見開きごとに「学習の視点」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、「確認」と「表現」の二段階に分けた活動を設定している。 ○ 大項目「地域の在り方」では、農村や都市の課題やニュータウンを例に示し、「地域の課題をとらえる(1)(2)」、「地域の課題を調べる」、「地域に向けて発信する」の順に掲載し、身近な地域を観察し、調査テーマを決定し、集めた資料をもとに考察する学習活動を設定している。 ○ 「学習のまとめと表現」を設け、「表現しよう」で思考を整理し、「意見を交換しよう」では、導入で示された「学習の視点」について、考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するために、コラム「技能をみがく」を設け、地図帳の使い方等の基礎的な技能を身に付ける学習活動を設定している。また、「スキルアップ」では、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。 ○ 中項目「日本の諸地域」では、「草のねらい」と「第〇節の問い」という小単元を貫く課題を示し、見開きごとに「節の問い」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、本文や図版を確認する「確認しよう」と、その情報をもとに「学習課題」を解決するための「説明しよう」の二段階に分けた活動を設定している。 ○ 大項目「地域の在り方」では、持続可能な社会に向けて考えたことや、地球的課題を冒頭で示し、「課題を把握しよう」、「地域をとらえよう」、「課題の要因を考察しよう」、「課題の解決に向けて構想しよう」、「構想の成果を発信しよう」の順に掲載し、調査をして、考察する学習活動を掲載している。 ○ 「節の学習を振り返ろう」を設け、導入で示された「節の問い」について、ステップ1からステップ3で考えたことを、自分の言葉でまとめる活動を設定している。また、ステップ3ではグループで活動する課題を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するために、コーナー「スキルアップ」を設け、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。 ○ 中項目「日本の諸地域」では、「地域的な特色を追究するためのテーマ」という小単元を貫く課題を示し、見開きごとに「追究するテーマ」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、「確認」において自分の言葉で説明する活動を設定している。 ○ 大項目「地域の在り方」では、京都市を例に示し、「地域の課題と特色をつかもう」、「地域の課題の要因を考察しよう—自然と防災班—」、「地域の課題の要因を考察しよう—交通と観光班—」、「課題の解決に向けて構想しよう」、「まちづくり会議を開こう」の順に掲載し、調査結果を分析・考察し、地域の特色をまとめていく学習活動を掲載している。 ○ 「学習のまとめ」を設け、「ダイヤモンドラング」、「関係図づくり」、「PMI表づくり」などのシンキングツールを利用して、導入で示された「追究するテーマ」について、考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。

令和2年7月9日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科【社会】種目【歴史的分野】

代表者

川本尚樹



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科〔社会〕種目〔歴史的分野〕

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、人類史上最初の被爆都市であり、原爆ドームなど平和の原点となる場所や、古代から現代にいたる歴史的建造物や遺構などが多数存在し、身近な地域の調査や体験活動を通して、歴史を直接感じることができている地域である。
- 本市の生徒は、身近な地域に関する歴史的対象について興味・関心が高く、文献や絵図、統計などの歴史学習に関わる資料を読み取る力は身に付いているが、歴史的対象を多面的・多角的に考察する力や、歴史に見られる課題を把握し、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方
＜言語活動の充実＞	⑨ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書・研究報告書

1 教科 [社会] 種 目 [歴史的分野]

2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

		発 行 者				
		東 京 書 籍	教 育 出 版	帝 国 書 院	山 川 出 版 社	日 本 文 教 出 版
観 点	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○ 巻頭4ページで、「日本の国宝・重要文化財」の写真や、SDGsに関するテーマと写真、図を掲載している。 ○ 巻末3ページで、「各地の主な史跡」、「旧国名地図」等に関連する写真を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載している。また、朝鮮・中国・欧米の欄を設け、対応している時代区分を色で分けるとともに、関連する出来事とを示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文3行で説明し、さらに特設ページ「もった歴史」で「現代に生きる神話」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」、「重要文化財」、「無形文化遺産」の資料にマークを付している。	○ 巻頭2ページで、「江戸時代の産業と交通」、「甲の国と都道府県の対照図」、「世界地図の歴史」等に関連する写真を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事とを示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文5行で説明し、さらに特設ページ「歴史を探ろう」で「神話にみる古代の人々の信仰」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」、「重要文化財」の資料にマークを付している。	○ 巻頭3ページで、「日本の世界遺産」の写真と「日本列島のイラスト」を掲載している。 ○ 巻末2ページで、「現在の世界」として、「世界地図」を掲載している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文7行で説明し、さらにコラム「日本の神話」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付している。	○ 巻頭2ページで、「探してみよう！私たちが歴史とのつながり」に関連する写真や絵を掲載している。 ○ 巻末4ページで、「世界遺産」等に関連する写真と「主な原対照と五畿七道」、「主なできごとと・史跡・関係地」の地図を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事とを示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文4行で説明し、さらに特設ページ「歴史を探ろう」で「日本の神話」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付している。	○ 巻頭6ページで、「日本人の誕生物語」と「日本の美の形」に関連する写真を掲載している。 ○ 巻末4ページで、「日本列島・歴史の宝庫」等に関連する写真を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国・西洋の欄を設け、関連する出来事とを示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文4行で説明し、さらに特設ページ「歴史スームイン」で「神話に見るわが国誕生の物語」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付している。
観 点	② 国際社会で主体的に生きていくための基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「大陸の玄関口・福岡」を掲載している。また、「もった歴史」に、「東アジア世界の国々の交流と琉球文化」を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「第○章のまとめ」で、基礎的な語句の確認に表現活動や「大」で「確認」を設けている。また、「まとめの活動」で「探究課題」を解決する活動を設定している。 ○ 特設ページ「資料から発見」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるために、学習課題を設けている。 ○ コーナー「スキルアップ」を設け、系図やグラフの読み取り方等に関する学習課題を設けている。	○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を探ろう」を設け、「東アジアに開かれた窓口 博多」を掲載している。また、コラム「未来に向けて」に、「東アジアの美、磁器」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「第○章のまとめ」で、基礎的な語句の確認等を行い、「時代の特色を考察しよう」という活動を設定している。 ○ 特設ページ「歴史の技」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。	○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を探ろう」を設け、「アプローチ」を設け、「中国の記録に見る日本列島」、「東西ユーラシアの動き」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「第○章のまとめ」で、基礎的な語句の確認等を行い、「アクティビティ」で、時代の特色を考察する活動を設定している。 ○ コーナー「スキルアップ」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。	○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「このころ世界を駆け抜けろ」を設け、「ローマ帝国と日本の古墳時代」、「ヨーロッパ」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「第○章のまとめ」で、基礎的な語句の確認等を行い、「時代の特色を考察する活動」を設定している。 ○ コーナー「スキルアップ」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。	○ 巻頭2ページで、「探してみよう！私たちが歴史とのつながり」に関連する写真や絵を掲載している。 ○ 巻末4ページで、「世界遺産」等に関連する写真と「主な原対照と五畿七道」、「主なできごとと・史跡・関係地」の地図を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事とを示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文4行で説明し、さらに特設ページ「歴史を探ろう」で「日本の神話」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付している。
						○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「このころ世界を駆け抜けろ」を設け、「ローマ帝国と日本の古墳時代」、「ヨーロッパ」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「第○章のまとめ」で、基礎的な語句の確認等を行い、「時代の特色を考察する活動」を設定している。 ○ コーナー「スキルアップ」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。

発行者

観点	観点2 主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返つて次につなげたりするための工夫	東洋書籍	教育出版	帝國書院	山川出版社	日本文教出版	育麟社	学び舎	
	<p>○ 中項目の冒頭に、「導入の活動」を設け、「平城京が造られた背景にせまるよう」等のグループで話し合う課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。</p> <p>○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題とともに、各小項目の課題を「段階的に示す」している。</p> <p>○ 中項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、中項目の課題を「探究のステップ」とし、2～4ステップと示し、段階的に探究課題を解決するような学習活動を設定している。</p>	<p>○ 問題解決に必要な「見方・考え方」を、資料に付し、諸資料を有効に活用するための学習課題を掲載している。</p> <p>○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「スキルのアップ」を設け、「集める」、「読み取る」、「まとめる」を付している。</p> <p>○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、身近な地域の歴史について、テーマを決めて、資料を関連付けながら、調査する学習活動を設定している。</p>	<p>○ 中項目の冒頭に、「学習を始めよう」を設け、「社会はどのように変化したのか、予想してみよう」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。</p> <p>○ 学習の見通しを立てられるよう、対応する小項目の冒頭に、中項目の課題を示している。</p> <p>○ 中項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、語句等の確認を行い、文化について説明する活動や、時代の特色を振り返る学習活動を設定している。</p>	<p>○ 中項目の冒頭に、「タイムトラベル」を設け、「前の時代と比べて特色を考えよう」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。</p> <p>○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。</p> <p>○ 中項目の最後に、「まとめ」を設け、語句等の確認を行い、「まとめてみよう」、「調べてみよう」等の学習内容を振り返る学習活動を設定している。</p>	<p>○ 中項目の冒頭に、「地図で見る世界の動き」を設け、「地図を見比べてみよう」等のグループで話し合う課題を、写真、イラスト、年表などとともに掲載している。</p> <p>○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。</p> <p>○ 中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、ノートに記述することや、時代の特色を振り返る学習活動を設定している。</p>	<p>○ 中項目の冒頭に、「鳥の目で見る」、「虫の目で見る」を設け、「この絵から、どんなことが分かるかな？」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。</p> <p>○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。</p> <p>○ 中項目の最後に、「草をふりかえる」を設け、語句等の確認を行い、前の時代と比較しながら、時代の特色を振り返る学習活動を設定している。</p>	<p>○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「史料の読み方」等の学習内容に関連した情報を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史を体験する」を設け、「話しあいましよう」、「発ましましよう」等の発問により、課題を解決していく活動を設定している。</p>	<p>○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「スキルアップ」を設け、系図の見方などを掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史を振り返る」を設け、テーマを下げ、資料を関連付けて、資料を関連付けていながら、解決していく活動を掲載している。</p>	<p>○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、写真やグラフ、コラムなどに関連した課題を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史へのアプローチ」を設け、テーマについて、資料を関連付けていながら、解決していく活動を設定している。</p>	<p>○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために「資料活用」を付している。また、コラム「技能がみがかく」では基礎的な技能を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史を探ろう」を設け、疑問について、資料を関連付けていながら、解決していく活動を設定している。</p>

発行者						
東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育蘭社	学び舎
<p>⑤ 各時代区分のページ数 総ページ数 304 ページ 歴史との対話 12 ページ 古代 44 ページ 中世 36 ページ 近世 50 ページ 近代 102 ページ 現代 32 ページ その他 28 ページ</p> <p>○ 巻末の「人名さくいん」に 351 名の人物を掲載している。</p> <p>○ サイズ AB 判 重さ 約 606g</p>	<p>○ 各時代区分のページ数 総ページ数 310 ページ 歴史との対話 15 ページ 古代 42 ページ 中世 36 ページ 近世 50 ページ 近代 108 ページ 現代 36 ページ その他 23 ページ</p> <p>○ 巻末の「人名さくいん」に 388 名の人物を掲載している。</p> <p>○ サイズ AB 判 重さ 約 632g</p>	<p>○ 各時代区分のページ数 総ページ数 306 ページ 歴史との対話 13 ページ 古代 44 ページ 中世 36 ページ 近世 54 ページ 近代 108 ページ 現代 30 ページ その他 21 ページ</p> <p>○ 巻末の「人名さくいん」に 317 名の人物を掲載している。</p> <p>○ サイズ AB 判 重さ 約 624g</p>	<p>○ 各時代区分のページ数 総ページ数 294 ページ 歴史との対話 9 ページ 古代 48 ページ 中世 40 ページ 近世 52 ページ 近代 100 ページ 現代 30 ページ その他 15 ページ</p> <p>○ 巻末の「人名」に 375 名の人物を掲載している。</p> <p>○ サイズ AB 判 重さ 約 608g</p>	<p>○ 各時代区分のページ数 総ページ数 328 ページ 歴史との対話 8 ページ 古代 50 ページ 中世 42 ページ 近世 52 ページ 近代 102 ページ 現代 38 ページ その他 36 ページ</p> <p>○ 巻末の「人名」に 279 名の人物を掲載している。</p> <p>○ サイズ AB 判 重さ 約 666g</p>	<p>○ 各時代区分のページ数 総ページ数 314 ページ 歴史との対話 13 ページ 古代 50 ページ 中世 34 ページ 近世 52 ページ 近代 102 ページ 現代 33 ページ その他 30 ページ</p> <p>○ 巻末の「人名さくいん」に 437 名の人物を掲載している。</p> <p>○ サイズ AB 判 重さ 約 634g</p>	<p>○ 各時代区分のページ数 総ページ数 306 ページ 歴史との対話 6 ページ 古代 44 ページ 中世 32 ページ 近世 50 ページ 近代 110 ページ 現代 36 ページ その他 28 ページ</p> <p>○ 巻末の「索引」に 287 名の人物を掲載している。</p> <p>○ サイズ A4 判 重さ 約 716g</p>
<p>⑥ 特設ページ「もつと歴史」を設け、本文ページの学習内容を深めたり、異なる視点でとらえたりする課題を掲載している。また、「資料から発見！」を設け、各時代の特徴的な資料を基に、読み取ったり考えたりすること、その時代についての理解を深めるための発展的な課題を掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」の最後に、「ブラス」として、発展的な学習課題を掲載している。</p> <p>○ コラム「歴史にアクセス」では、関連する発展的な内容を掲載し、SGDs に関連しているものには、関連マークを付している。</p>	<p>○ 特設ページ「歴史を深める」を設け、具体的な事例・テーマをもとに、歴史学習を深める課題を掲載している。また、「身近な地域の歴史を調べよう」を設け、ペリスを調べ、「問い」として発展的な学習課題を掲載している。</p> <p>○ コラム「歴史の窓」では、学習から興味や関心を広げていく発展的なテーマを掲載している。</p>	<p>○ 特設ページ「歴史を探ろう」を設け、学習したこと、を、具体例を通じてさらに深める課題を掲載している。また、「技能をみがく」を設け、歴史の見方・考え方を働かせる上で、必要な基礎的な技能を習得するための発展的な学習課題を掲載している。</p> <p>○ コラム「地域史」では、中央とは違う地域の姿から、日本の社会や文化への理解を深める発展的なテーマを掲載している。</p>	<p>○ 特設ページ「歴史を振り返る」を設け、テーマを設け、歴史的に深く掘り下げて解説する発展的な学習活動を掲載している。また、「歴史を考えよう」を設け、「想像の見方」等の発展的な学習課題を掲載している。</p> <p>○ コラムでは、教科書の内容をより深めていくための発展的なテーマを掲載している。</p>	<p>○ 特設ページ「歴史を振り返る」を設け、現代の課題について、歴史を踏まえて考える発展的な課題を掲載している。また、「スキルアップ」を設け、「仏像の見方」等の発展的な学習課題を掲載している。</p> <p>○ コラム「先人に学ぶ」や「地域に学ぶ」では、先人の活動や、身近な地域から歴史を学ぶことのできる事例を掲載している。</p>	<p>○ 特設ページ「歴史ズームイン」を設け、歴史の学習を幅広く豊かにするためにふさわしい発展的なテーマを掲載している。また、「このころの世界」を設け、各時代の日本の歴史と関わり合いの深い外国の動きを掲載している。</p> <p>○ コラム「歴史ビュー」では、本文の内容に関連する発展的なテーマを掲載している。</p>	<p>○ 特設ページ「歴史への案内」を設け、地域の博物館を利用して調べる発展的なテーマを掲載している。</p> <p>○ コラム「フォーカス」では、本文の内容に関連する発展的なテーマを掲載している。</p>
<p>④ 発展的な学習に関する内容の配述の状況</p>						
<p>観点 3 内容の構成・配列・分量</p>						

発行者

東京書籍	教育出版	帝國書院	山川出版社	日本文教出版	育麟社	学び舎
<p>主として、古代・中世を取り上げて記載(同時代は日本が国家を形成し、発展させていく上で、特に東アジアとの深い関わりが見られた時代であるため)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真187点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「被爆後の広島(街)」「長崎に投下された原子爆弾」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「広島を調べよう」「広島市」を取り上げ、広島が復興した背景を追究するために、広島平和記念資料館での調査を基に、平和都市としての広島の問題を考え、将来の広島の問題解決について話し合う課題を設定している。 ○ 35件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。「Dマーク」を付している。 ○ 「教科関連マーク」を付し、他教科の学習との関連を示している。 ○ 「分野関連マーク」を付し、他分野との関連を示している。 ○ 「小学校の教科書で登場した人物には「小学校」マークを付している。 ○ 「小学校の社会で習ったことば」を、大項目の導入の年表中に示し、小学校で学習した語句を掲載し、振り返りの部分で関連付けている。 ○ 特設ページ「もつと歴史」を設け、身近な地域で起きた自然災害や、その後の取り組み等の日常生活に関する学習課題を設定している。 	<p>主として、古代・中世を取り上げて記載(同時代は日本が国家を形成し、発展させていく上で、特に東アジアとの深い関わりが見られた時代であるため)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真236点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「被爆後の広島(街)」「長崎に投下された原子爆弾」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「広島を調べよう」「広島市」を取り上げ、広島が復興した背景を追究するために、広島平和記念資料館での調査を基に、平和都市としての広島の問題を考え、将来の広島の問題解決について話し合う課題を設定している。 ○ 35件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。「Dマーク」を付している。 ○ 「教科関連マーク」を付し、他教科の学習との関連を示している。 ○ 「分野関連マーク」を付し、他分野との関連を示している。 ○ 「小学校の教科書で登場した人物には「小学校」マークを付している。 ○ 「小学校の社会で習ったことば」を、大項目の導入の年表中に示し、小学校で学習した語句を掲載し、振り返りの部分で関連付けている。 ○ 特設ページ「もつと歴史」を設け、身近な地域で起きた自然災害や、その後の取り組み等の日常生活に関する学習課題を設定している。 	<p>主として、平和発信に関するところなどを取り上げて記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原子爆弾による広島」「長崎に投下された原子爆弾」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「地域からのアプローチ」を設け、「広島」を取り上げ、原爆の被害や復興等に関する学習課題を8つ掲載している。 ○ 46件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「まなびリンク」を付している。 ○ 「小学校・地理・公民との関連」マークを付し、他分野との関連を示している。 ○ 小学校で学習した内容との関連を示す、「小学校・地理・公民との関連」マークを付している。また、導入部分に小学校での既習事項を掲載している。 ○ 特設ページ「多面的・多角的に構想する」を設け、「どのような社会を目指していくか」等の、日常生活に関連する学習課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真198点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「広島と長崎への原子爆弾の投下」、「広島への爆心地」、「原爆投下後の長崎」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「地域からのアプローチ」を設け、「広島」を取り上げ、原爆の被害や復興等に関する学習課題を8つ掲載している。 ○ 14件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真137点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原子爆弾投下2か月後の広島」、「長崎に落とされた原爆のきのこ雲」の写真を掲載している。 ○ 14件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。また、対応する箇所にはデジタルマークを付している。 ○ 「地理」「公民」「地図」マークを付し、他分野との関連を示している。 ○ 小学校で学習した内容との関連を示す、「小学校」マークを付している。 ○ 特設ページ「歴史との対話」を未来に活かす。その話「防災・被災に関するお話を過去から学びましよう」等の、日常生活に関連する学習課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真125点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原爆ドーム」上「原爆で破壊された浦上天主堂」の写真を掲載している。 ○ 14件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。また、対応する箇所にはデジタルマークを付している。 ○ 「地理」「公民」「地図」マークを付し、他分野との関連を示している。 ○ 小学校で学習した内容との関連を示す、「小学校」マークを付している。 ○ 特設ページ「歴史との対話」を未来に活かす。その話「防災・被災に関するお話を過去から学びましよう」等の、日常生活に関連する学習課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真190点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原爆で壊滅した広島市の爆心地付近/原爆ドーム(産業奨励館)」「原爆のきのこ雲」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「歴史を体験する」を設け、「火おこしに挑戦する」「地域の歴史を歩く」等の日常生活に関する学習課題を設定している。
<p>⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p>	<p>⑧ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方</p>					
<p>観点4 内容の表現・表記</p>						

令和2年7月9日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科【社会】種目【公民的分野】

代表者

川本尚樹



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [社会] 種 目 [公民的分野]

2 本市の実態や生徒の状況

○ 本市は、国や地方自治体の政治機関、全国規模の企業の支社・支店が集中し、中国地方の中心都市として、政治、商工業の中心的機能を果たしている。また、第一次産業から第三次産業まで様々な産業が見られ、現代生活全般を概観できる地域である。

○ 本市の生徒は、現代の社会的事象に対する興味・関心は高く、現代社会に見られる課題を把握し、資料を読み取り情報を収集する力は身に付いているが、課題解決に向けて、習得した知識を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察・構想したことを説明したり、論拠を基に自分の意見を説明、論述したりする力に課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 公民として現代社会の見方・考え方の基礎を培うための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方
＜言語活動の充実＞	⑨ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫

1 教科 [社会] 種 目 [公民的分野]
 2 調査・研究の観点及び教科用図書の特徴

観 点	発 行 者					
	東京書籍	教育出版	帝國書院	日本文教出版	自由社	
① 公民として現代社会の男方・考え方の基礎を築くための工夫	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文7ページにわたって説明し、部活動の今後の体育館の使い方を例に、2年前、1年前、現在のそれぞれ別の状況における解決策を考える学習課題を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「まよめの活動」を設け、中項目「現代社会を捉える枠組み」では、自転車の使用ルールを例に、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「まよめの活動」を設け、「みんなでチャレンジ」の中で、「効率」、「公正」の観点から考えさせる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 公民的な見方・考え方を活用して考察するための学習課題を随所に掲載している。</p> <p>○ 国旗・国歌について、本文5行で説明し、[国際連合本部の]に並ぶ加盟国の国旗の写真を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文5ページにわたって説明し、合唱コンクールの練習場所のトラブル、ごみ収集所の設置場所を例に、解決策を考える学習課題を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「まよめの活動」を設け、ロープレイングを取り入れながら、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 特設ページ「アクティブ公民」を設け、ロープレイングを取り入れながら、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「まよめの活動」を設け、「対立」、「合意」、「効率」、「公正」を例として、考えさせる学習課題を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文6ページにわたって説明し、合唱コンクールの練習スケジュールを例に、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「まよめの活動」を設け、「効率」、「公正」を例として、考えさせる学習課題を掲載している。</p> <p>○ 公民的な見方・考え方を活用するための手がかりとして「見方・考え方」マークを付している。</p> <p>○ 国旗・国歌について、本文8行で説明し、[平昌オリンピック]で入賞し、自国の国旗をかかげる選手、[試合前に国歌を斉唱するサッカー日本代表の選手]の写真を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「日本の領土をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「日本の領土をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、帰国した拉致被害者の写真と解説を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文4ページにわたって説明し、星休みのプログラムの使い方を例に、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 特設ページ「アクティブに深めよう」を設け、よりよきまちづくりの具体的な方策について考えるようにしている。</p> <p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「まよめの活動」を設け、「公正と効率」の観点から考えさせる学習課題を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文4ページにわたって説明し、星休みのプログラムの使い方を例に、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「まよめの活動」を設け、重要語句の確認の中に「対立・合意」、「効率・公正」を掲載している。</p>	<p>○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文4ページにわたって説明し、星休みのプログラムの使い方を例に、解決策を考えるようにしている。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、本文12行で説明し、「国旗・国歌法」、「国歌」が社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」及び「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」の写真を掲載している。また、「学習を深めよう」に、「国歌[君が代]の意味」を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、また、コラム「学習を深めよう」を設け、2ページにわたって掲載している。</p>
② 国際社会で主体的に生きていくための基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫	<p>○ 領域をめぐる問題については、「竹島問題の経緯と取り組み」、「尖閣諸島の対応」について、本文2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、帰国した拉致被害者の写真と解説を掲載している。</p>	<p>○ 領域をめぐる問題については、「日本の領土をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」の外交の今とこれから」の2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「日本の領土をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、帰国した拉致被害者の写真と解説を掲載している。</p>	<p>○ 国旗・国歌について、本文7行で説明し、「リオデジャネイロオリンピック閉会式」の写真を掲載している。また、特設ページ「国旗」と国家を考えてみよう」を設け、日華旗や君が代の意味等について、2ページにわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、また、コラム「もつと知りたい」を設け、2ページにわたって、「日本人拉致問題」について掲載している。</p>	<p>○ 国旗・国歌について、本文12行で説明し、「国旗・国歌法」、「国歌」が社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」及び「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」の写真を掲載している。また、「学習を深めよう」に、「国歌[君が代]の意味」を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、また、コラム「学習を深めよう」を設け、2ページにわたって掲載している。</p>	<p>○ 国旗・国歌について、本文12行で説明し、「国旗・国歌法」、「国歌」が社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」及び「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」の写真を掲載している。また、「学習を深めよう」に、「国歌[君が代]の意味」を掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 領域をめぐる問題については、「領土・領海をめぐる問題」において、本文2ページ、特設ページ「日本」にわたって掲載している。</p> <p>○ 拉致問題については、本文で説明し、また、コラム「学習を深めよう」を設け、2ページにわたって掲載している。</p>	

発行者

観点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本教出版	自由社	育蔵社
③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大大項目の冒頭に、関連する写真やイラストと、小学校の社会で習ったことばを掲載している。また、導入の活動として、関連する学習課題を掲載している。 ○ 大項目の学習課題を「探究課題」とし、中項目の学習課題を「探究のステップ」と示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。 ○ 各大大項目の最後に、「探究のステップの問いを解決しよう」を設け、シンキングツールを利用し、各中項目を振り返る学習活動を設定している。 ○ 各大大項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」を設け、言語活動を取り入れて語句の確認を行、「まとめの活動」では、「導入の活動」で示された課題と関連している新たな学習課題について、これまで学習してきた内容を、さまざまに見方・考え方を生かして取り組む学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大大項目の冒頭に、「学習の前提」を設け、イラストに関連する学習課題を掲載している。また、「小学校との関連」マークを付し、小学校で学習した内容を掲載している。 ○ 大項目の学習課題を文章中に示し、中項目の学習課題を、「節の問い」と示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大大項目の最後に、「単の学習を振り返ろう」を設け、語句の確認などを先行し、「節の問い」を3ステップで段階的に大項目の学習課題を解決する学習活動を設定している。また、「単の学習を振り返ろう」の最後に、「次単への準備」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大大項目の冒頭に、「学習の前提」を設け、漫画を掲載し、関連する学習課題を掲載している。 ○ 大項目の学習課題を文章中に示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大大項目の最後に、「学習のまとめと発展」を設け、「学習のまとめ」で、語句の確認などを行い、「学習の発展」では、複数ある課題の中から1つを選び、約400字でまとめる学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大大項目の冒頭に、関連する写真やイラストと、小学校で学習した関連する語句を掲載している。また、導入の活動として、関連する学習課題を掲載している。 ○ 大項目の学習課題を文章中に示している。また、小項目ごとに「課題」を掲載している。
④ 問題解決的な学習を体験するための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 主に資料に「見方・考え方」を付し、重視する観点を示し、関連する学習課題を掲載している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、複数のテーマの中から解決すべき課題を設定し、資料を集め、探究し、レポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として、「環境・エネルギー」、「人権・平和」、「伝統・文化」、「防災・安全」、「情報・技術」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 主に学習課題に「見方・考え方」を付している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、課題を設定し、資料を収集し、考察し、レポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として、「現代社会」、「政治」、「経済」、「国際」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 主に小項目の学習課題に「見方・考え方」を付している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、課題を設定し、資料を収集し、考察し、レポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として、「政治・経済」、「人権・平和」、「環境・科学・技術」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 主に小項目の学習課題に「見方・考え方」を付している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、課題を設定し、資料を収集し、考察し、レポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として、「伝統・文化」、「政治・経済」、「人権・平和」、「環境・科学・技術」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 主に小項目の学習課題に「見方・考え方」を付している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、課題を設定し、資料を収集し、考察し、レポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として、「現代社会」、「政治」、「経済」、「国際」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 小項目に「どのよう」、「どのよう」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 主に小項目の学習課題に「見方・考え方」を付している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、課題を設定し、資料を収集し、考察し、レポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として、「環境・エネルギー」、「人権・平和」、「伝統・文化」、「防災・安全」、「情報・技術」を示している。

発行者

観点	視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本教出版	自由社	育麟社
<p>観点3 内容の構成 配列・分量</p>	<p>④ 単元・題材や資料等の配列・分量</p>	<p>○ 巻末資料では、37ページにわたり、「現代社会の歩み」、「世界の現状」、「参考法令集」、「用語解説」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し4ページにわたり、「持続可能な社会の実現に向けて」、「公民学習の初めに」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し3ページにわたり、「日本の無形文化遺産」、「持続可能な社会の実現に向けて」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「広島市の平和記念式典」、「広島市の平和記念公園を訪問した、アメリカのオバマ大統領」、「インターネットでの調査の様子」、「バス会社を訪問したときの様子」、「30年後の福島の未来図」、「神辺本線でのボラントニアガイドの様子」、「再生する空き家」、「花田植」の写真(計9点)を掲載している。</p> <p>○ 「みんながチャレンジ」を設け、広島県福山市神辺町の中学生の取り組みを紹介し、関連する写真を4点掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、29ページにわたり、「日本国憲法」、「階級法令集」、「用語解説」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し6ページにわたり、「現代を生きる私たち」、「公民の学習を始めるにあたって」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し2ページにわたり、「持続可能な未来をみずす人々」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「瀬戸の港」、「予定されていた理め立てと築橋計画」、「地域の将来について話し合う吉和地域の住民」、「スピーチを行うオバマ大統領」、「原子爆弾が投下された後の広島市内」、「被爆して黒くこげた三輪車」の写真(計6点)を掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、23ページにわたり、「資料」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し2ページにわたり、「よりよい社会を目指して」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し3ページにわたり、「第二次世界大戦後の歩み」、「防災・減災を通じて社会参画（兵庫県神戸市）～阪神・淡路大震災の経験を生かす～」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「原爆投下直後の原爆ドーム」、「広島平和記念式典」の写真(計2点)を掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、36ページにわたり、「法令集」、「現代の世界の様子」、「日本の現代史年表」、「用語解説」、「類似用語集」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し4ページにわたり、「これから社会をどうな社会にしたいか?」、「地理・歴史とのつながり」、「公民を学ぶにあたって」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し3ページにわたり、「高校の公民科『公民』とのつながり」、「日本の人口を100人に縮めてみる」とを掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「熊野集」、「広島平和記念式典」、「被爆直後の原爆ドーム」、「被災地の視察」、「離島地域の医療」、「福山市の分業」、「外国人労働者」、「被爆者と抱擁するアメリカの大統領」、「平和首長会議」の写真(計10点)を掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、34ページにわたり、「法令集」、「現代社会の歩み」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し3ページにわたり、「すごい日本の技術は」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し2ページにわたり、「職人の技が生み出した日本の伝統的工芸品」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「広島市の原爆被害」、「2016年5月27日、アメリカのオバマ大統領、「熊野集」の写真(計3点)を掲載している。</p>	<p>○ 巻末資料では、39ページにわたり、「日本の伝統文化」、「戦後の日本と世界の主な出来事」、「法令集」、「用語解説」、「さくいん」を掲載している。</p> <p>○ 表見返し5ページにわたり、「持続可能な開発目標(SDGs)」、「なぜ『公民』を学ぶのか?」、「公民について」を掲載している。</p> <p>○ 裏見返し2ページにわたり、「持続可能な社会をめざして」を掲載している。</p> <p>○ 広島に関する資料として「原爆投下直後の原爆ドーム」、「広島市の平和記念公園で演説するアメリカのオバマ大統領」、「五穀豊穡や無病息災、先祖の冥福を祈る「原爆の法要おどろき」」、「神戸市に浮かぶかきいりかき」の写真(計4点)と「広島県と愛媛県上島諸島をつなぐ釜水橋」の地図(計1点)を掲載している。</p>
<p>⑤ 発展的な学習に関する内容の記述の状況</p>	<p>○ 特設ページ「もっと公民」を設け、本文ページの学習内容を深めるために、発展的な課題を9テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民にアクセス」では、本文の学習内容をくわしく説明したり、関連する内容を取り上げたりしているコーナーを掲載している。</p> <p>○ 特設ページ「18歳へのステップ」を設け、選挙権年齢や成年年齢の引き下げに関連する事項を掲載している。</p>	<p>○ サイズAB判 重さ 約514g</p> <p>○ 特設ページ「もっと公民」を設け、本文ページの学習内容を深めるために、発展的な課題を9テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民にアクセス」では、本文の学習内容をくわしく説明したり、関連する内容を取り上げたりしているコーナーを掲載している。</p>	<p>○ サイズAB判 重さ 約534g</p> <p>○ 特設ページ「読んで深く考えよう」を設け、資料を読み深めていくために、発展的な課題を6テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民の歳」、「クリップ」では、学習をさらに深めていくテーマを掲載している。</p>	<p>○ サイズAB判 重さ 約496g</p> <p>○ 特設ページ「アクティブ公民」を設け、学習した内容を深めるために、発展的な課題を10テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民プラス」では、学習内容に関連する実社会の動きを掲載している。また、「解説」では、本文中に記載されている分りにくい用語の解説を該当ページに掲載している。</p>	<p>○ サイズB判 重さ 約524g</p> <p>○ 特設ページ「チャレンジ公民」を設け、社会の課題について、考察・構想し深めるために、発展的な課題を4テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「公民+α」では、学習内容に関連する事項を掘り下げ、学習内容の理解を深めていくことができるテーマを掲載している。</p>	<p>○ サイズB判 重さ 約560g</p> <p>○ 特設ページ「もっと知りたい」を設け、重要な事項を深く理解するために、発展的な課題を21テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「ミニ知識」では、公民の重要な言葉や事例を学習するときにヒントになるテーマを掲載している。</p>	<p>○ サイズB判 重さ 約512g</p> <p>○ 特設ページ「へのこれから」を設け、その章で学習した内容を生かして取り組むために、発展的な課題を4テーマ掲載している。</p> <p>○ コラム「学習を深めよう」では、本文で学習したことに関連する情報を紹介するなど、学習を深めるテーマを掲載している。</p>

発行者

観点	東京書籍	教育出版	帝国書院	日本教出版	自由社	育麟社	
観点4 内容の表現・表記	<p>① 大項目「私たちが政治」における資料の種類と掲載数 絵図 55点 写真 122点 地図 3点 表・グラフ 53点 新聞 12点 年表 2点 文書資料 12点 合計 259点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、表見返し2ペー ジ、大項目「私たちが国際社会の 諸課題、特設ページ」を中心 に取り上げている。また、参考法 令集の中に「持続可能な開発のた めの2030アジェンダ」を取り上げ ている。さらに、関連する資料や コラム等には、SDGsに関連する 項目を示したマークを付してい る。</p> <p>○ 24件のウェブコンテンツにアク セスできるように、QRコードを掲 載している。また、対応する箇所 には「Dマーク」を付している。</p>	<p>○ 大項目「私たちが政治」におけ る資料の種類と掲載数 絵図 54点 写真 116点 地図 5点 表・グラフ 64点 新聞 5点 年表 3点 文書資料 8点 合計 255点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、特設ページ「公 民の学習を始めるにあたって、大 項目「私たちが国際社会の諸課 題、裏見返し2ページ」を中心 に取り上げている。また、各大項目の 最後に、「関連する主なSDGsの項 目」を示し、本文ページには「関 連するSDGs」のマークを付してい る。</p> <p>○ 38件のウェブコンテンツにアク セスできるように、QRコードを掲 載している。また、対応する箇所 には「まなびリンク」を付してい る。</p>	<p>○ 大項目「私たちが政治」におけ る資料の種類と掲載数 絵図 45点 写真 81点 地図 1点 表・グラフ 54点 新聞 7点 年表 2点 文書資料 4点 合計 194点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、大項目「私たち と国際社会の諸課題、特設ページ」 「よりよい社会を目指して」を中 心に取り上げておいて、関連する項 目にはマークを付している。また、 特設ページ「未来に向けて」を取 り、よりよい社会を形成するため に参考になる取り組みを掲載して いる。</p> <p>○ 23件のウェブコンテンツにアク セスできるように、QRコードを掲 載している。</p>	<p>○ 大項目「私たちが政治」におけ る資料の種類と掲載数 絵図 62点 写真 106点 地図 3点 表・グラフ 66点 新聞 10点 年表 1点 文書資料 14点 合計 262点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、表見返し2ペー ジ、大項目「私たちが国際社会の 諸課題」を中心に取り上げている。</p> <p>○ 15件のウェブコンテンツにアク セスできるように、QRコードを掲 載している。また、対応する箇所 には「デジタルマーク」を付して いる。</p>	<p>○ 大項目「私たちが政治」におけ る資料の種類と掲載数 絵図 22点 写真 77点 地図 1点 表・グラフ 16点 新聞 4点 年表 0点 文書資料 2点 合計 122点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、大項目「私たち と国際社会の諸課題」を中心 に取り上げている。</p>	<p>○ 大項目「私たちが政治」におけ る資料の種類と掲載数 絵図 43点 写真 105点 地図 3点 表・グラフ 36点 新聞 17点 年表 1点 文書資料 37点 合計 242点</p> <p>○ 持続可能な開発目標(SDGs)に 関連する資料を、表見返し2ペー ジ、大項目「私たちが国際社会の 諸課題、特設ページ」「国際社会の これから」、裏見返し2ページを中 心に取り上げている。</p>	
② 他教科や他分野・日常生活などの関連の示し方	<p>○ 「教科関連マーク」を付し、他 教科の学習との関連を示してい る。</p> <p>○ 「分野関連マーク」を付し、社 会科の他分野との関連を示してい る。</p> <p>○ 「小学校の社会で習ったことば」 を取上げ、小学校で学習した語句を 掲載し、小学校の学習との関連を 示している。</p> <p>○ 私たちが日常生活の中でしてい る、消費活動を挙げよう、「私 たちが日常生活の中で使ってい る、支那の方法を挙げよう」等 の学習課題を設定し、日常生活 との関連を示している。</p>	<p>○ 「身のまわりのメディアを実際 に検証してみよう」、「クラスでの 昼食の時間のあり方について改善 できることがないかどうか」等 の学習課題を設定し、日常生活 との関連を示している。</p>	<p>○ 「小学校・地理・歴史との関連」 マークを付し、社会科の他分野と の関連を示している。</p> <p>○ 「小学校・地理・歴史との関連」 マークを付し、小学校で学習した 語句を掲載し、小学校の学習との 関連を示している。</p> <p>○ 「あなたの住むまちで、最近で きたルールがあるか調べてみよう」 等の学習課題を設定し、日常生活 との関連を示している。</p>	<p>○ 「連携コーナー」で社会科の他 分野との関連を示している。</p> <p>○ 大項目の冒頭に「小学校」マー クを付し、小学校で学習した事項 を掲載し、小学校の学習との関連 を示している。</p> <p>○ 「まちのパブリックアリア」を探そ う、「ネット社会とつき合う方法」 等の学習課題を設定し、日常生 活との関連を示している。</p>	<p>○ 「通称コーナー」で社会科の他 分野との関連を示している。</p> <p>○ 大項目の冒頭に「小学校」マー クを付し、小学校で学習した事項 を掲載し、小学校の学習との関連 を示している。</p> <p>○ 「あなたの住むまちで、最近で きたルールがあるか調べてみよう」 等の学習課題を設定し、日常生 活との関連を示している。</p>	<p>○ 「あなたの住む地域の議会ではど のような条例が制定されてい るか」等の学習課題を設定し、日常 生活との関連を示している。</p>	<p>○ 他分野との関連を示す内容に、 「地理」マーク、「歴史」マークを 付している。</p> <p>○ 大項目の冒頭で、小学校で学習 した関連内容を掲載している。</p> <p>○ 「自立した消費者になるには、 「あなたの住む地域の議会ではど のような条例が制定されてい るか」等の学習課題を設定し、日常 生活との関連を示している。</p>

発行者					
東京書籍	教育出版	帝国書院	日本教出版	自由社	青騰社
<p>◎ コラム「スキルアップ」を設け、公民の学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付ける学習課題を掲載している。</p> <p>◎ 小項目の「トライ」で、学習内容について、「～を考えよう」や「～を説明しよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>◎ 「導入の活動」と「まとめの活動」に「みんながでチャレンジ」を設け、グループで協力し、意見交換する学習活動を設定している。</p> <p>◎ 「みんながでチャレンジ」を随所に設け、政治参加や模擬裁判等の意見交換する学習課題を掲載している。</p>	<p>◎ コラム「公民の技」で個人やグループでの活動を通じて、公民の学習で身に付けたい技能や表現力を身に付ける学習課題を掲載している。</p> <p>◎ 小項目の「表現」で、学習内容について、「自分の考えを説明しよう」や「意見を交換し合ってみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>◎ 特設ページ「言葉で伝え合おう」を設け、表現活動を中心とした、テーマ学習を行うことができるような学習活動を設定している。</p>	<p>◎ 特設ページ「技能をみがく」で、ディベートやKJ法などの分析を深めるための方法を身に付ける学習課題を掲載している。</p> <p>◎ 小項目の「説明しよう」で、学習内容について、「～を説明してみよう」や「～を考察してみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>◎ 「単の学習を振り返ろう」では、「見方・考え方を働かせて考えよう」のステップ2で、意見交換する学習活動を設定している。</p>	<p>◎ 特設ページ「情報スキルアップ」を設け、情報の読み取りや、活用する時に必要な知識・技能を身に付ける学習課題を掲載している。</p> <p>◎ 小項目の「確認」で、学習内容について、「～を覚えてみよう」や「～を説明してみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>◎ コラム「アクティブティ」で、主体的・対話的な問いを設け、意見交換したりする学習活動を設定している。</p>	<p>◎ 小項目の「やってみよう」で、学習内容について、「～について調べてみよう」や「話し合ってみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>◎ 特設ページ「アクティブに深めよう」を設け、意見を出し合う等の、意見交換したりする学習活動を設定している。</p>	<p>◎ 小項目の学習のまとめとして、「～について説明しよう」や「話し合ってみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。</p> <p>◎ コラム「やってみよう」を設け、「裁判員になって判決を考えよう」等の、意見交換する学習活動を設定している。</p>
<p>◎ 様々な資料を適切に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫</p>					
<p>観点5 学習活動の充実</p>					

令和2年7月9日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科 [社会] 種目 [地図]

代表者

(1) 本尚樹



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科〔社会〕種目〔地図〕

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、山や川、豊かな自然環境に恵まれるとともに、太田川のデルタ地形に位置し、自然災害等の発生しやすい地域である。また、古代遺跡等の歴史的資源も豊富であり、第一次産業から第三次産業まで様々な産業が見られるため、地理的・歴史的分野における地域調査や体験活動を行うのにも適している。
- 本市の生徒は、地図に対する興味・関心が高く、読図や作図などの技能は身に付いているが、社会的事象を形成している背景や理由について、地図や諸資料を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする方に課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 学び方・調べ方の題材やその手順の示し方
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量
＜内容の表現・表記＞	⑥ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑦ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方
＜言語活動の充実＞	⑧ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫

1 教科 [社会] 種 目 [地図]

2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	発行者	帝国書院
<p>① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p>	<p>東京書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページで「日本列島」の地図を、次の見開き2ページで「南西諸島と各群島・列島等」の地図を順に掲載している。 (縮尺：日本列島・南西諸島 550 万分の1、沖縄島 50 万分の1、各群島・列島等 100 万分の1) ○ 「日本の周辺」の地図で、日本の東西南北の最端を地図と写真で示し、竹島と尖閣諸島も地図と写真で示している。また、竹島の地図を「中国・四国地方」、北方領土を含む千島列島の地図を「北海道地方」のページで拡大して掲載している。 ○ 「日本と朝鮮半島との歴史的なつながり」について、朝鮮半島・日本で発掘された遺物を比較する写真を掲載している。 ○ 「九州地方」で、「歴史の舞台・九州地方」として、九州地方が古代から近代にかけて歴史の舞台となったことを示す地図・写真等の資料を掲載している。 ○ 「近畿地方」で、近畿地方のテーマ資料として「江戸時代の大阪」の地図や京都・奈良・神戸の「主な文化財と観光地」の地図を掲載している。 ○ 「東北地方」で、東北地方のテーマ資料として「東日本大震災による被害」について、写真と浸水城を示した地図を掲載している。 ○ 「日本と世界との関係（古代～近世）」について、歴史的な視点からの地図・古図・絵画・写真等の資料を掲載している。 ○ 「日本の自然環境（災害・環境問題）」の2ページで、ハザードマップ例と自然災害の状況を示す写真を掲載している。 ○ 「日本」の各地方地図に、等高線彩図を用いている。 ○ 巻末に「旧国名 1868（明治元）年」の地図を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 折込見開き3ページで「南西諸島と各群島・列島等」の地図を、次の3ページで「日本列島」の地図を順に掲載している。 (縮尺：日本列島・南西諸島 400 万分の1、沖縄島・各群島・列島等 100 万分の1) また、そのうち1ページ分で、「南西諸島を中心とした日本列島周辺図」、「沖縄島の土地利用図」、「那覇市中心部地図」を掲載している。 ○ 「日本の領土とその周りの国々」の地図で、日本の東西南北の最端を地図と写真で示している。また、尖閣諸島・竹島・国後島の写真を「日本列島」の折込地図に掲載している。また、竹島の地図を「中国・四国地方」、北方領土を含む千島列島の地図を「北海道地方」のページで拡大して掲載している。 ○ 「北海道地方」のページでは、「北方領土」の問題にかかわる日本とロシア・ソ連の国境の変遷を示す地図を掲載している。 ○ 東アジアと日本の交流の歴史のページを設け、大陸から見た日本の地図を示し、交流の様子を写真とイラストで掲載している。 ○ 「九州地方」で、「火山災害への備えー島原半島ー」の鳥瞰図を「防災」に係る資料として掲載している。 ○ 「近畿地方」で、「江戸時代の大阪」の地図や京都・奈良・大阪の文化財や観光地の地図・写真を掲載している。さらに明日香村周辺の写真と斑鳩の文化財等を示した地図を掲載している。 ○ 「東北地方」で、東北地方の資料として「震災の被害と復興」について、震災前・震災直後・復興中の様式図を掲載している。 ○ 「大阪湾周辺の地形～地形と歴史・防災」、「東京都周辺の地形～水と人との関わり・防災～」、「本州中央部と五街道」、「江戸」等、歴史的な視点から地図・年表・グラフ等の資料を掲載している。 ○ 「日本の自然災害・防災」の2ページで、ハザードマップ例と自然災害に対する備えの様式図を掲載している。 ○ 「日本」の各地方地図に、等高線彩図に加えて主な尾根線を描いている。 ○ 巻末に「旧国名 1868（明治元）年」の地図を掲載している。
<p>② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の現代的な諸課題として「環境・資源・エネルギー」「人口・貧困問題」「紛争・難民問題」について、6ページにわたって関連する地図・写真・グラフ等の資料を掲載している。また、「世界の生活文化」について、4ページにわたって関連する地図・写真・イラストを掲載している。 ○ 「世界の資源・エネルギー」「世界の工業と貿易」「世界の農林水産業」「世界の交通・通信網」など、世界の産業と日本との関わりに関する資料を、テーマごとに見開き2ページ、計8ページにわたって掲載している。 ○ 「世界と日本の結びつき」について、関連する地図とグラフを見開き2ページで掲載している。 ○ 「ピクアップ TOKYO」のページで、東京オリムピックを取り上げ、首都機能を示した地図・写真を掲載している。また、「日本の生活と文化」の1ページで、ご当地キャラクターや伝統料理を写真やイラストで掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界の環境問題」について、「世界のおもな環境問題」と「持続可能な社会への取り組み」を2ページにわたって掲載し、また関連する地図・写真・イラストを掲載している。さらに、「世界の生活文化」について、4ページにわたって関連する地図・写真・イラストを掲載している。 ○ 「世界と日本の人口」「世界と日本の経済資源」「世界と日本の交通・通信」など、世界と日本の資料を、テーマごとに見開き2ページ、計6ページにわたって掲載している。 ○ 世界の各州のページで「日本との結びつき」について、関連する地図・グラフ・写真・イラストを掲載している。 ○ 「観光・スポーツ」、「日本の歴史遺産」のページを設け、観光客の推移やオリムピック、世界文化遺産について地図・グラフ・写真・古図等を掲載している。また、「日本の生活文化」の2ページでは、各地の祭り・行事や伝統料理を写真やイラストで掲載している。

発行 者	
	帝国書院
観 点	東京書籍
観 点 2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ アジア州、ヨーロッパ州、北アメリカ州で、海洋を含む鳥瞰図を掲載している。 ○ 日本の各地方の基本資料として、各地方の地図と一部拡大地図に続いて、「基礎資料」として生活・産業などのイラストを配した鳥瞰図（自然環境）と2点間の断面図、土地利用・降水量を示した地図を掲載している。さらに「テーマ資料」として、各地方の特徴となるテーマを設定した資料を掲載している。 ○ 世界の各州で、その州に位置する国の国旗を掲載している。 ○ 「世界の資源・エネルギー」で「夜の地球」の画像を掲載している。 ○ 巻末に「都道府県の産品と各所・お国自慢など」を都道府県章とともに掲載している。
観 点	帝国書院
③ 興味・関心をもたせ、風通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の各州で、生活・産業・著名な建築物などのイラストを配した鳥瞰図を掲載している。 ○ 「日本」の各地方で、各地方の地図と一部拡大地図に続いて、「資料」として自然についての地図と2点間の断面図、降水量・人口分布・農業・工業、交通を同じ形式で掲載している。また、地方ごとの特色を示す地図と防災にかかわる地図資料を掲載している。 ○ 世界の各州の地図に、同縮尺・同緯度・同経度の日本を示している。 ○ 世界の各州で、その州に位置する国の国旗を掲載している。 ○ 「世界と日本の鉱産資源」で「宇宙から見た夜の日本列島付近」の画像を掲載している。 ○ 「日本の生活・文化」のページに、各地方の特色のある祭りや、日本の伝統的な料理を掲載している。
④ 学び方・調べ方の題材やその手順の示し方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「この地図帳の地図記号」、「この地図帳の活用方法」で、3ページにわたり地図記号や地図、資料の見方を説明している。 ○ 資料の読み取りのポイントや見方・考え方（考察の視点）を示すためにキャラクターを設定し、吹き出しにより課題を提示している。 ○ 別ページにある、関連する資料に、「ジャンプ」というマークを付している。 ○ 世界と日本を分けた「世界の地名」、「日本の地名」と「資料さくいん」を設けている。また、「資料さくいん」には「歴史」の項目を設けている。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「この地図帳の凡例」、「地図帳の使い方(1) (2)」、「国土地理院の地形図」で、5ページにわたり地図記号や地図、資料の見方、地形図の主な記号について説明している。 ○ 地図活用の技能を身に付けるための「地図活用」のコーナーを設定し、課題を提示している。さらに、さまざまな所に、資料図を見るときに着眼点を示した「学習課題」のコーナーを設定している。 ○ 別ページにある、関連する資料のページ数を、マークで示している。 ○ 世界と日本を分けた「さくいん」を設け、さくいんの引き方について説明するコーナーを設けている。

発行 者	
帝国書院	
観 点 観 点 3 内容の構成・配列・分量	東京書籍 <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の各州に関連する地図や資料を 56 ページにわたり掲載している。 ○ 日本の各地方に関連する地図や資料を 59 ページにわたり掲載している。 ○ 巻末で、10 ページにわたり「世界と日本の統計資料」を掲載している。 ○ サイズ AB 判 重さ 約 578g
観 点 観 点 4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方について、「九州地方の自然環境」、「九州地方の土地利用」、「九州地方の降水量」、「台風や土砂災害の被害を受けやすい地域」、「九州地方の火山と温泉・地熱発電所」、「原子爆弾投下時の長崎」、「水俣病の市町村ごとの認定患者数」、「環境都市を目指す北九州市」の資料を掲載している。 ○ D マークを付したページでは、インターネットを使った学習ができるようにしてある。国土地理院のデジタル地図「地理院地図」へのリンクや一般図の白地図がダウンロードできるようにしている。
観 点 観 点 5 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の様々な地域に関連する地図や資料を 71 ページにわたり掲載している。 ○ 日本の様々な地域に関連する地図や資料を 88 ページにわたり掲載している。 ○ 巻末で、9 ページにわたり「自然の統計」「世界の統計」「日本の統計」を掲載している。 ○ サイズ A4 判 重さ 約 518g
観 点 観 点 6 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方について、「自然」、「降水量」、「人口分布」、「農業」、「工業・交通」、「阿蘇・くじゅうの産業」、「宮崎平野の野菜づくり」、「福岡市中心部」、「長崎市」、「北九州工業地帯の変化」、「シラスの分布と畜産」、「火山災害への備え—島原半島—」の資料を掲載している。 ○ QR コードを付したページでは、コードを読み取ると学習を深める資料やクイズなどのコンテンツを見ることができるようになっている。
観 点 観 点 7 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災」「環境」「日本との結びつき」のマークが付いている資料は、それぞれに関連がある資料となっている。 ○ 「日本の自然災害・防災」で、さまざまな自然災害やそれに対する備えなど、身近な災害について掲載している。また、「大匠湾周辺の地形—地形—歴史・防災—」で、その地域で起こりやすい自然災害とその対策、地形と人との関わりについて扱っている。
観 点 観 点 8 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題・図のマークが付いている資料は、歴史や公民の学習に役立つ資料となっている。 ○ 「日本の自然環境（災害・環境問題）」で、さまざまな自然災害やそれに対する備えなど、身近な災害について掲載している。また、「東北地方のテーマ資料」の「東日本大震災による被害」で、東北地方の被害や津波の浸水域について扱っている。
観 点 観 点 9 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科や他分野、日常生活等との関連の仕方

発行 者	
	帝国書院
視点	④ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫
観点	観点 5 言語活動の充実
	東京書籍
	<p>○ 「キャラクターの吹き出し」により、学習内容を深める活動を掲載している。</p> <p>○ 「日本の人口」のページでは、「人口が増えている所にはどんな特徴があるのかな。」「この見開きページにある資料をあわせて読んで読んでいくかを考えよう。」を「キャラクターの吹き出し」で示している。</p> <p>○ 「現代的な諸課題④人口・貧困問題」のページで、「キャラクターの吹き出し」として「カロリー摂取量の少ない地域はどの辺りに広がっているのかな。」を示している。</p>
	帝国書院
	<p>○ 「学習課題」と「地図活用」のマークがある箇所の問いにより、学習内容を深める活動を掲載し、「地図活用」のコナーでは、基礎的な知識・技能を確認する問いや、「クラスで発表しよう」、「説明しよう」等の言語活動を含む学習課題を掲載している。</p> <p>○ 「世界と日本の人口」のページで、「世界の人口増加率の図で人口増加が著しいアフリカの国々の人口構成の特徴を、おもな国の人口ピラミッド・世界の老年人口の割合の図から考えよう。」「日本の人口増加率の図で人口が増えている都道府県は、老年人口の割合にどのような特徴がみられるか、老年人口の割合の図を参考にして考えよう。」を「地図活用」として示している。</p> <p>○ 「世界と日本の人口」のページでは、「学習課題」として「世界と日本の人口分布にはどのような特徴があり、今後どのように推移していくだろうか。」を示している。</p>

令和2年7月16日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科, [数学] 種目 [数学]

代表者

手賀 剛



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について (報告)

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [数学] 種 目 [数学]

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、自然環境に恵まれるとともに、第一次産業から第三次産業まで様々な産業が見られ、現代生活全般を概観できるため、数学の学習において、数学的な見方・考え方をはたらかせる機会を意図的に設定するための題材が身近に多くある地域である。
- 平成30年度、平成31年度の全国学力・学習状況調査によると、本市の生徒の実態としては、数量や図形などの知識・理解についてはおおむね定着しているが、事象を数学的に解釈し、図表やグラフなどを適切に用いて論理的に考えたり、数学的な表現を用いて説明したりする力に課題がある。また、正答率30%未満の生徒の割合が高く、基礎・基本の定着のための手立てが必要である。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の目標を達成させるための工夫 ② 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	<ul style="list-style-type: none"> ③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量
＜内容の表現・表記＞	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 他教科や日常生活との関連の示し方 ⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫
＜言語活動の充実＞	⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを表現し伝え合う学習活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科〔数学〕種目〔数学〕

2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

		発行者				
		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	新興出版社啓林館
観点	① 単元の目標を達成させるための工夫	<p>○ 基本的な内容の定着を確保した上で問題演習に取り組めるよう、「例」と同様の問題をすぐ後の「問」で取り上げるとともに、「例」と似た問題に◆マークを付けて示している。</p> <p>例：第1学年「方程式」 $5(x+4)-3x=10$ 問 $5(x+1)-2x=11$</p> <p>○ 多く見られる誤答の取り上げ方については、「正しいか？」や「正しいか？」として示し、どこが間違っているか説明したり正しく直したりする活動を促している。</p>	<p>○ 基本的な内容の定着を確保した上で問題演習に取り組めるよう、「例」と同様の問題をすぐ後の「問」で取り上げている。</p> <p>例：第1学年「方程式」 $5x-2(x-1)=14$ 活動 $7x-3(x-2)=18$</p> <p>○ 多く見られる誤答の取り上げ方については、「正しいか？」や「正しいか？」として示し、どこが間違っているか説明したり正しく直したりする活動を促している。</p>	<p>○ 基本的な内容の定着を確保した上で問題演習に取り組めるよう、「例」と同様の問題をすぐ後の「問」で取り上げている。</p> <p>例：第1学年「方程式」 $5x-13=-2(x-4)$ たしかめ $7x-16=-3(x-8)$</p> <p>○ 多く見られる誤答の取り上げ方については、「正しいか？」として示し、どこが間違っているか説明したり正しく直したりする活動を促している。</p>	<p>○ 基本的な内容の定着を確保した上で問題演習に取り組めるよう、「例」と同様の問題をすぐ後の「問」で取り上げている。</p> <p>例：第1学年「方程式」 $7(x-5)=9x+1$ 問 $4x+1=3(x+2)$</p> <p>○ 多く見られる誤答の取り上げ方については、「誤答例」として示し、間違っている理由を説明したりいか話し合ったりする活動を促している。</p>	<p>○ 基本的な内容の定着を確保した上で問題演習に取り組めるよう、「例」と同様の問題をすぐ後の「問」で取り上げている。</p> <p>例：第1学年「方程式」 $5x-14=2(x-1)$ 問 $3(2x-1)=5x$</p> <p>○ 多く見られる誤答の取り上げ方については、登場する生徒の考えとして示し、正しいかどうか確かめたり、間違っている理由を説明したりする活動を促している。</p>
観点	② 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫	<p>○ 関連付けたり振り返りたりするための既習事項の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目次に「これまでの学習」の欄を設けている。 ・ 側注に「思い出そう」の欄を設けている。 ・ 巻末の「学びのつながり」で、既習事項のまとめを掲載している。 <p>○ 基本的な学習内容の定着を確認する評価問題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各節末に「基本の問題」を設けるとともに、関連ページと例の番号を示している。 ・ 各章末に「○章をふり返ろう」を設けている。 	<p>○ 関連付けたり振り返りたりするための既習事項の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目次に「○○で学んだこと」の欄を設けている。 ・ 側注に「ふりかえり」の欄を設けている。 ・ 各領域の「ふりかえり」の欄を設けている。 ・ 第1学年の巻末の「小学校の計算」や第2学年「○年の計算」で、既習事項に関する問題を掲載している。 <p>○ 基本的な学習内容の定着を確認する評価問題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各節末に「確かめよう」を設けるとともに、関連ページの例や問の番号を示している。 ・ 各章末に「○章のまとめの問題」を設けている。 	<p>○ 関連付けたり振り返りたりするための既習事項の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目次に「ふりかえり」の欄を設けている。 ・ 側注に「ふりかえり」の欄を設けている。 ・ 第1学年の巻末の「算数」や第2学年「○年の計算」で、既習事項に関する問題を掲載している。 <p>○ 基本的な学習内容の定着を確認する評価問題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各節末に「練習問題」を設けている。 ・ 各章末に「学びをたしかめよう」を設けるとともに、関連ページを指示している。 	<p>○ 関連付けたり振り返りたりするための既習事項の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目次に「ふりかえり」の欄を設けている。 ・ 側注に「ふりかえり」の欄を設けている。 ・ 各章の「ふりかえり」の欄を設けている。 ・ 第1学年の巻末の「算数」や第2学年「○年の計算」で、既習事項に関する問題を掲載している。 <p>○ 基本的な学習内容の定着を確認する評価問題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各節末に「確認問題」を設けるとともに、関連ページを指示している。 ・ 各章末に「○章の問題」を設けている。 	<p>○ 関連付けたり振り返りたりするための既習事項の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目次に「これまでの学習」の欄を設けている。 ・ 側注に「思い出そう」の欄を設けている。 ・ 巻末の「学びのつながり」で、既習事項のまとめを掲載している。 <p>○ 基本的な学習内容の定着を確認する評価問題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各節末に「基本の問題」を設けるとともに、関連ページと例の番号を示している。 ・ 各章末に「○章をふり返ろう」を設けている。

発行者

観点	観点	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	新興出版社啓林館	数研出版	日本文教出版
観点	観点	<p>○ 巻末の「補充の問題」で、基本的な内容の補充問題を掲載し、関連ページの例や間の番号を示している。また、少し難しい問題に「★」マークを付けている。</p> <p>○ 興味・関心を持たせるために、日常生活や社会と関連する題材を各章の導入で扱っている。</p> <p><題材例> 第1学年 「データの分析と活用」 過去と現在のサッカーチームの選手の体力</p> <p>第2学年 「データの比較」 花見時期とその直前時期のコンビニエンスストアのスタック菓子販売数</p> <p>第3学年 「標本調査」 卒業ソングラウンギング</p>	<p>○ 巻末の「補充問題」で、基本的な内容の補充問題を掲載し、関連ページの例や間の番号を示している。</p> <p>○ 興味・関心を持たせるために、日常生活や社会と関連する題材を各章の導入で扱っている。</p> <p><題材例> 第1学年 「データの分析」 2人の10cmの長さの感覚</p> <p>第2学年 「データの比較と箱ひげ図」 2002年と2014年の岐阜市の平均気温</p> <p>第3学年 「標本調査」 青少年のインターネット利用に関する調査、多摩市の世帯調査</p>	<p>○ 巻末の「○年の復習」で、基本的な内容の補充問題を掲載している。また、「基礎・基本」となる問題には「J」マークを付けている。</p> <p>○ 興味・関心を持たせるために、日常生活や社会と関連する題材を各章の導入で扱っている。</p> <p><題材例> 第1学年 「データの活用」 A組とB組のルーラーキーチャッチの記録</p> <p>第2学年 「データの分布」 6都市の降水量</p> <p>第3学年 「標本調査」 テレビの視聴率、新体力テスト、川の水質調査、飛行機の手荷物検査、学校の歯科検診、米の品質検査</p> <p>○ 本文中の「おしえて！」の欄で、学習の中で生徒が感じる疑問を取り上げ、その後のページの内容にも触れながら解説している。</p> <p>○ 各内容の導入の発問の後、学習の目標を示し、枠で囲み鍵穴マークを付けている。</p> <p>○ 学習の区切りに「どんなことがわかったかな」や各章末に「○章◇◇◇を学んで」のコーナーを設け、学習を振り返ることができるようにしている。また、次の内容につなげる疑問を「次の課題へ!」で示している。</p> <p>○ ノートの書き方例の中で、「まとめ」や「感想」の書き方例を示している。</p>	<p>○ 巻末の「補充問題」で、基本的な内容の補充問題を掲載し、関連ページの番号を示している。</p> <p>○ 興味・関心を持たせるために、日常生活や社会と関連する題材を各章の導入で扱っている。</p> <p><題材例> 第1学年 「データの分析」 2つのバスルートの所要時間</p> <p>第2学年 「データの分析」 7月と8月の最高気温</p> <p>第3学年 「標本調査」 テレビの視聴率、湖の水質検査、空港の手荷物検査、学校の歯科検診、米の品質検査</p>	<p>○ 巻末の「力をつけよう」で、基本的な内容の補充問題を掲載している。</p> <p>○ 興味・関心を持たせるために、日常生活や社会と関連する題材を各章の導入で扱っている。</p> <p><題材例> 第1学年 「データの活用」 紙吹雪の形や大きさを変えたときの滞空時間</p> <p>第2学年 「箱ひげ図とデータの活用」 4社のインターネットの通信速度</p> <p>第3学年 「標本調査」 都道府県別の睡眠時間ランキング</p>	<p>○ 巻末の「ぐんぐんのばそうチャレンジ編」で、基本的な内容の補充問題を掲載し、関連ページを示している。</p> <p>○ 興味・関心を持たせるために、日常生活や社会と関連する題材を各章の導入で扱っている。</p> <p><題材例> 第1学年 「データの活用」 居住地別の国内旅行の行き先</p> <p>第2学年 「データの活用」 小中学生の全国体力テストの結果</p> <p>第3学年 「標本調査」 缶詰工場の出荷前の検査</p>	<p>○ 巻末の「補充問題」で、基本的な内容の補充問題を掲載し、関連ページの例や間の番号を示している。</p> <p>○ 興味・関心を持たせるために、日常生活や社会と関連する題材を各章の導入で扱っている。</p> <p><題材例> 第1学年 「データの活用」 高知市の3月の平均気温</p> <p>第2学年 「データの分析と強率」 3都市の猛暑日</p> <p>第3学年 「標本調査」 国勢調査、学校の歯科検診、テレビの視聴率、米の品質調査、飛行機の手荷物検査</p>
③	③	<p>興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫</p>						

観点	④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
親点	
東京書籍	<p>○ 各章の「～の利用」の節等で、学習したことを活用し、身近な問題を解決する活動を取り扱っており、問題解決の過程を示すとともに、過程に沿った問を設けている。また、巻頭の「大切にしたい数学の学び方」で、問題解決の過程について説明している。</p> <p>例：第2学年「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題をつかむ」 ・ 「見通しをたてる」(「自分で考えてみよう」) ・ 「友達の考えを知ろう」 ・ 「問題を解決する」(「話し合ってみよう」) ・ 「ふり返る」 ・ 「深める」 <p>○ 巻末の「数学の自由研究」に、各章で学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 巻末の「数学の世界へようこそ」で、各領域で見方・考え方を働かせる例を示している。</p> <p>○ 巻頭の「数学の世界へようこそ」で、問題解決の過程に沿った問を設けている。また、巻頭の「この教科書を使った数学の学び方」を、使った数学の学び方について説明している。</p> <p>例：第2学年「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題を見いだそう」 ・ 「解決のしかたを察そう」 ・ 「解決しよう」 ・ 「深めよう」 <p>○ 巻末の「もっと数学へ」に、各領域で学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 巻末の「さならなる数学へ」に、学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 巻末に、SDGsの特設ページを設け、複数の課題を分析し、国際的な課題を見いだし、自分たちができること、何を考える活動を設定している。また、学習の最後に自己評価表を掲載し、1年間の学習を振り返ることができようとしている。</p> <p>○ 側注の「!見方・考え方の欄で、どのような数学的な見方・考え方を働かせるかを示している。また、巻末の「見方・考え方をまとめよう」で、導入の「Q」で扱った問題を取り上げ、どのような見方・考え方を働かせたか添えて示している。</p>
大日本図書	<p>○ 各章の「～の利用」の節等で、学習したことを活用し、身近な問題を解決する活動を取り扱っており、問題解決の過程を示すとともに、過程に沿った問を設けている。また、巻頭の「この教科書を使った数学の学び方」を、使った数学の学び方について説明している。</p> <p>例：第2学年「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題を見つけたら」 ・ 「実践をしよう」 ・ 「説明しよう」 ・ 「式に表して考えよう」 ・ 「新たな問題を見つけてみよう」 ・ 「時間と水温の関係を調べよう」 <p>○ 巻末の「もっと数学へ」に、各領域で学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 巻末の「さならなる数学へ」に、学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 巻末に、SDGsの特設ページを設け、複数の課題を分析し、国際的な課題を見いだし、自分たちができること、何を考える活動を設定している。また、学習の最後に自己評価表を掲載し、1年間の学習を振り返ることができようとしている。</p> <p>○ 側注の「!見方・考え方の欄で、どのような数学的な見方・考え方を働かせるかを示している。また、巻末の「見方・考え方をまとめよう」で、導入の「Q」で扱った問題を取り上げ、どのような見方・考え方を働かせたか添えて示している。</p>
学校図書	<p>○ 各章の「～の利用」の節等で、学習したことを活用し、身近な問題を解決する活動を取り扱っており、問題解決の過程を示すとともに、過程に沿った問を設けている。また、巻頭の「この教科書を使った数学の学び方」を、使った数学の学び方について説明している。</p> <p>例：第2学年「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題をつかもう」 ・ 「自分の考えをもとう」 ・ 「みんなで話し合おう」 ・ 「ふり返ろう」 ・ 「深めよう」 <p>○ 巻末の「学んだことを活用しよう」に、各章で学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 側注の「!見方・考え方の欄で、どのような数学的な見方・考え方を働かせるかを示している。また、巻末の「見方・考え方をまとめよう」で、導入の「Q」で扱った問題を取り上げ、どのような見方・考え方を働かせたか添えて示している。</p>
教育出版	<p>○ 各章の「～の利用」の節等で、学習したことを活用し、身近な問題を解決する活動を取り扱っており、問題解決の過程を示すとともに、過程に沿った問を設けている。また、巻頭の「みんなが学んでいる」で、問題解決の過程について、例示して説明している。</p> <p>例：第2学年「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題をつかもう」 ・ 「自分の考えをもとう」 ・ 「みんなで話し合おう」 ・ 「ふり返ろう」 ・ 「深めよう」 <p>○ 巻末の「学んだことを活用しよう」に、各章で学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 側注の「!見方・考え方の欄で、どのような数学的な見方・考え方を働かせるかを示している。また、巻末の「見方・考え方をまとめよう」で、導入の「Q」で扱った問題を取り上げ、どのような見方・考え方を働かせたか添えて示している。</p>
新興出版社啓林館	<p>○ 各章の「～の利用」の節等で、学習したことを活用し、身近な問題を解決する活動を取り扱っており、問題解決の過程を示すとともに、過程に沿った問を設けている。また、巻頭の「みんなが学んでいる」で、問題解決の過程について、例示して説明している。</p> <p>例：第2学年「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題をつかもう」 ・ 「自分の考えをもとう」 ・ 「みんなで話し合おう」 ・ 「ふり返ろう」 ・ 「深めよう」 <p>○ 巻末の「学んだことを活用しよう」に、各章で学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 側注の「!見方・考え方の欄で、どのような数学的な見方・考え方を働かせるかを示している。また、巻末の「見方・考え方をまとめよう」で、導入の「Q」で扱った問題を取り上げ、どのような見方・考え方を働かせたか添えて示している。</p>
教研出版	<p>○ 各章の「～の利用」の節等で、学習したことを活用し、身近な問題を解決する活動を取り扱っており、問題解決の過程を示すとともに、過程に沿った問を設けている。また、巻頭の「みんなが学んでいる」で、問題解決の過程について、例示して説明している。</p> <p>例：第2学年「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題をつかもう」 ・ 「自分の考えをもとう」 ・ 「みんなで話し合おう」 ・ 「ふり返ろう」 ・ 「深めよう」 <p>○ 巻末の「学んだことを活用しよう」に、各章で学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 側注の「!見方・考え方の欄で、どのような数学的な見方・考え方を働かせるかを示している。また、巻末の「見方・考え方をまとめよう」で、導入の「Q」で扱った問題を取り上げ、どのような見方・考え方を働かせたか添えて示している。</p>
日本文芸出版	<p>○ 各章の「～の利用」の節等で、学習したことを活用し、身近な問題を解決する活動を取り扱っており、問題解決の過程を示すとともに、過程に沿った問を設けている。また、巻頭の「みんなが学んでいる」で、問題解決の過程について、例示して説明している。</p> <p>例：第2学年「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題をつかもう」 ・ 「自分の考えをもとう」 ・ 「みんなで話し合おう」 ・ 「ふり返ろう」 ・ 「深めよう」 <p>○ 巻末の「学んだことを活用しよう」に、各章で学んだことを活用する問題掲載している。</p> <p>○ 側注の「!見方・考え方の欄で、どのような数学的な見方・考え方を働かせるかを示している。また、巻末の「見方・考え方をまとめよう」で、導入の「Q」で扱った問題を取り上げ、どのような見方・考え方を働かせたか添えて示している。</p>

観点	東京書籍	大日本図書	学校図書	新興出版社啓林館	教研出版	日本文教出版
⑧ 文字の大きさや配色の工夫	<p>ウェブコンテンツを利用できるよう、巻頭にURLとQRコードを掲載している。また、対応する箇所には、「Dマーク」を付けている。</p> <p>○ 巻末に付録として、切り取って使う教材がある。</p> <p>例：第1学年の空間図形に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正四面体 ・ 正六面体 ・ 正八面体 ・ 正十二面体 ・ 正二十面体 	<p>ウェブコンテンツを利用できるよう、巻頭にURLとQRコードを掲載している。また、対応する箇所には、「WEBマーク」を付けている。</p> <p>○ 巻末に付録として、切り取って使う教材がある。</p> <p>例：第1学年の空間図形に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正十二面体 ・ 正二十面体 	<p>ウェブコンテンツを利用できるよう、巻頭にURLとQRコードを掲載している。また、対応する箇所には、「まなびリンクマーク」を付けている。</p> <p>○ 巻末に付録として、切り取って使う教材がある。</p> <p>例：第1学年の空間図形に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正四面体 ・ 正六面体 ・ 正八面体 ・ 正十二面体 ・ 正二十面体 ・ 3個の正四面体を組み合わせてできる正四角柱 	<p>ウェブコンテンツを利用できるよう、巻頭にURLとQRコードを掲載している。また、対応する箇所にもQRコードを付けている。</p> <p>○ 巻末に付録として、切り取って使う教材がある。</p> <p>例：第1学年の空間図形に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立方体を平面で切ったときの三角錐と七面体 	<p>ウェブコンテンツを利用できるよう、巻頭にURLとQRコードを掲載している。また、対応する箇所には、「リンクマーク」を付けている。</p> <p>○ 巻末に付録として、切り取って使う教材がある。</p> <p>例：第1学年の空間図形に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな立体を作るための正三角形、二等辺三角形、正方形、長方形 ・ 正八面体 ・ 正十二面体 ・ 正二十面体 	<p>ウェブコンテンツを利用できるよう、巻頭にURLとQRコードを掲載している。また、「Webマーク」を付けている。</p> <p>○ 巻末に付録として、切り取って使う教材がある。</p> <p>例：第1学年の空間図形に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正四面体 ・ 正八面体 ・ 正十二面体 ・ 正二十面体
⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを表現し伝え合う学習活動の工夫	<p>○ 巻頭の「大切にしたい数学の学び方」で、話し合うときのポイントを提示している。</p> <p>○ 話し合いを促す表現や、説明したり証明したりする場面の数</p> <p>例：第3学年「多項式」</p> <p>話し合い 1か所 説明 4か所 証明 5か所</p> <p>○ 巻頭の「ノートのつくり方」で、ノートの書き方のポイントを示すとともに、最初の章の章末の「数学マイノート」で例を示している。</p> <p>○ 巻末の「レポートにまとめよう」で、レポートの書き方のポイントを例を示している。</p>	<p>○ 巻頭の「数学の世界へようこそ」で、説明や考えを伝え合うポイントを提示している。</p> <p>○ 話し合いを促す表現や、説明したり証明したりする場面の数</p> <p>例：第3学年「多項式」</p> <p>話し合い 0か所 説明 7か所 証明 6か所</p> <p>○ 巻頭の「ノートの作り方」で、ノートの書き方のポイントを例を示している。</p> <p>○ 題材に関連する章末の「レポートを書こう」で、レポートの書き方のポイントと例を示している。</p>	<p>○ 巻頭の「表現する力に身につけよう」で、発表や、グループで話し合う際に活用できるアイデアボードを付けている。</p> <p>○ 話し合いを促す表現や、説明したり証明したりする場面の数</p> <p>例：第3学年「式の計算」</p> <p>話し合い 4か所 説明 2か所 証明 11か所</p> <p>○ 巻頭の「ノートの使い方」で、ノートの書き方のポイントと例を示している。</p> <p>○ 巻末の「表現する力に身につけよう」で、レポートの書き方のポイントと例を示している。</p>	<p>○ 巻頭の「表現する力を身につけよう」で、話すときに、聞くときのポイントを提示している。</p> <p>○ 話し合いを促す表現や、説明したり証明したりする場面の数</p> <p>例：第3学年「式の展開と因数分解」</p> <p>話し合い 3か所 説明 2か所 証明 7か所</p> <p>○ 巻頭の「レポート例」で、レポートの書き方のポイントと例を示している。</p>	<p>○ 巻頭の「学習の進め方」で、発表するときやグループで話し合うときのポイントを提示している。</p> <p>○ 話し合いを促す表現や、説明したり証明したりする場面の数</p> <p>例：第3学年「式の計算」</p> <p>話し合い 1か所 説明 1か所 証明 6か所</p> <p>○ 巻頭の「ノートのつくり方」で、ノートの書き方のポイントと例を示している。</p> <p>○ 巻頭の「レポート例」で、レポートの書き方のポイントと例を示している。</p>	<p>○ 巻頭の「数学の学習を始めよう」で、話し合うときのポイントを提示している。また、巻末に該当箇所を活用できる対話シートを付けている。</p> <p>○ 話し合いを促す表現や、説明したり証明したりする場面の数</p> <p>例：第3学年「式の展開と因数分解」</p> <p>話し合い 2か所 説明 1か所 証明 6か所</p> <p>○ 巻頭の「ノートの工夫」で、ノートの書き方のポイントと例を示している。</p> <p>○ 巻末の「数学レポートをかこう」で、レポートの書き方のポイントと例を示している。</p>

令和2年7月15日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科 [理科] 種目 [理科]

代表者

福本隆寿



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [理科] 種 目 [理科]

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、中心部に商工業地域が多く、マンションや大規模な商業店舗も増えてきている。近郊には、こども文化科学館、安佐動物公園、植物公園、江波山気象館等の施設があり、様々な分野の施設が整っている地域である。周辺部は、山や川など自然に恵まれ、比較的自然的な環境から直接学ぶことができる。また、大雨による土砂災害等の自然災害も多く発生しており、自然災害と人間との関わり方についての認識を深めさせることが必要な地域でもある。
- 生徒は、平成30年度の全国学力・学習状況調査によると、本市の生徒の学力の実態として、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てたり、自分の考えをまわりの人に説明しようとしたりする意識は高いものの、科学的な概念を活用して分析・解釈することや、基礎となる知識及び技能の習得に課題が見られる。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 知識や概念の定着を図り、知識を深めるための工夫 ② 観察・実験の技能を習得させるための工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返り次につなげたりするための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	④ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑤ 単元ごとの章立て
＜内容の表現・表記＞	⑥ 他教科や日常生活との関連の示し方 ⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
＜言語活動の充実＞	⑧ 科学的な概念を活用して分析・解釈したり、説明したりする学習活動の工夫

1 教科 [理科] 種 目 [理科]
 2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	視点	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	新興出版社啓林館
① 知識や概念の定着を図り、知識を深めるための工夫 観点1 基礎・基本の定着	① 知識や概念の定着を図り、知識を深めるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部や本文の側面に、既習事項の確認のため、「これまで学んだこと」の欄を設けている。 ○ 各単元に、学習内容を確認するため、問題演習をする「章末」を設けている。また、各単元に、基本事項を確認する「学習内容の整理」と問題演習をする「確かめと応用」を設けている。 ○ つまずきやすい内容には、「例題」、「解説」、「練習」の欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部や本文の側面に、既習事項の確認のため、「これまで学んだこと」、「思い出そう」の欄を設けている。 ○ 各単元に、学習内容を達成できたか振り返る「Can-Do List」を設けている。また、各単元に、学習内容と日常生活を関連付けて習得させる「学びを日常にいかしたら」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部や本文の側面に、既習事項の確認のため、「思い出そう」の欄を設けている。 ○ 各単元に、学習内容を振り返る「要点的チェック」を設けている。また、各単元に、基本事項を確認する「要点と重要用語の整理」と問題演習をする「基本問題」を設けている。さらに、各単元の巻末に、問題演習をする「学年末総合問題」を設けている。 ○ つまずきやすい内容には、「例題」、「練習」の欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部や本文の中に、既習事項の確認のため、「それぞれ「つながらず」の学問、「思い出そう」の欄を設けている。 ○ 各単元に、学習内容を確認するため、問題演習をする「基本のチェック」を設けている。また、各単元に、基本事項を確認する「学習のまとめ」と問題演習をする「力のため」を設けている。さらに、各単元の巻末に、問題演習をする「学年末総合問題」を設けている。そして、3単元の巻末に、問題演習をする「中学校総合問題」を設けている。 ○ つまずきやすい内容には、「例題」、「解説」、「練習」の欄を設けている。 ○ 学習内容を広げたり深めたりするための参考として、「なるほど」の欄を設けている。 	
	② 観察・実験の技能を習得させるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の巻頭に、「理科室の決まり」として、安全に実験を行うために、実験前、実験中、実験後の注意事項の説明をチェックリストにしている。また、事故が起きた場合の応急処置の方法と、実験中に地震が起きたときの対応を紹介している。さらに、1枚のイラストから10個見つける活動が仕組まれている。 ○ 第1学年の「基礎操作」に、グラフの引き方を示し、グラフの利点と誤差について触れている。 ○ 第2学年の「基礎操作」に、顕微鏡の各部の名称や操作手順を示している。また、試料が見づらい事例を写真で4例紹介し、対処の仕方を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の巻頭に、「実験室を使うコツ」として、安全に実験を行うために、実験前、実験中、実験後の注意事項の説明がある。また、事故が起きた場合の応急処置の方法や燃焼性のある薬品や酸液、廃棄物の扱いを説明している。 ○ 第1学年の「基本操作」に、グラフの引き方を示し、グラフの利点と誤差について触れている。 ○ 第2学年の「基本操作」に、顕微鏡の各部の名称や操作手順を示している。また、試料が見づらい事例を写真で3例紹介し、対処の仕方を説明している。さらに、倍率の求め方を具体的に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察・実験の説明では、手順のまともなことに見出しを付けるとともに、実験操作のコツや注意事項にマークを付けて示している。注意事項等は、5種類のマークで示している。 ○ 第1学年の「基礎技能」で、安全に実験を行うために、実験前、実験後の注意事項の説明がある。また、事故が起きた場合の応急処置の方法を紹介している。さらに、可燃性のある薬品や酸液、加熱した金属類の扱いを説明している。 ○ 第1学年の「基礎技能」に、グラフの引き方を示し、グラフの利点と誤差について触れている。 ○ 第2学年の「基礎技能」に、顕微鏡の各部の名称や操作手順を示している。また、倍率の求め方を具体的に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察・実験の説明では、手順のまともなことに見出しを付けるとともに、実験操作のコツや注意事項にマークを付けて示している。注意事項等は、9種類のマークで示している。 ○ 第1学年の「サイエンス資料」で、安全に実験を行うために、実験前、実験中、実験後の注意事項の説明をチェックリストにしている。また、事故が起きた場合の応急処置の方法と、実験中に地震が起きたときの対応を紹介している。さらに、燃焼性のある薬品や酸液、加熱した金属類の扱いを説明している。 ○ 第1学年の「サイエンス資料」に、グラフの引き方を示し、グラフの利点と誤差について触れている。 ○ 第2学年の「サイエンス資料」に、顕微鏡の各部の名称や操作手順を示している。また、倍率の求め方を具体的に説明している。さらに、高倍率で観察したい場合のポイントを合わせる方法を説明している。 	

発行着		東京書籍		大日本図書		学校図書		教育出版		新興出版社啓林館	
観点	観点2 主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味関心を持たせ、見直しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫	○ 各単元のはじめに、「この単元で学ぶこと」として各章の内容を紹介している。また、各節は「問題発見」「課題」「結論の表現」「活用」の流れが徹底されており、ページ下部には、生徒がどの段階を学習しているかがわかるフローチャートを設けている。	○ 各単元のはじめに、章立てを紹介している。また、「これから学習すること」として、各章の内容を紹介している。	○ 各学年の巻頭に、「理科で何を学ぶの?」として、各単元の内容を紹介している。	○ 各単元のはじめに、「学んでいくこと」として、各章の内容を紹介している。	○ 各単元のはじめに、「学んでいくこと」として、各章の内容を紹介している。	○ 各単元のはじめに、「学んでいくこと」として、各章の内容を紹介している。	○ 各単元のはじめに、「学んでいくこと」として、各章の内容を紹介している。	○ 各単元のはじめに、「学んでいくこと」として、各章の内容を紹介している。	○ 各単元のはじめに、「学んでいくこと」として、各章の内容を紹介している。
観点	観点3 内容の構成・配列・分量	④ 単元・題材や資料等の配列・分量	○ 学習を振り返って、次につなげたりすることができるよう、「ふり返り」探究をふり返ろう」や「活用」学びをいかして考えよう」の欄を設けている。また、各章のはじめと終わりに、「Before & After」を位置づけ、その章を学ぶ前後で、自分の考えがどのように変わったか、振り返るようになっている。	○ 学習を振り返って、次につなげたりすることができるよう、「ふり返り」の欄を設けている。また、各単元のはじめに「学びのあしあと」として、単元を学ぶ前後で、自分の考えがどのように変わったか振り返るようになっている。さらに、各章のはじめに、「Can-Do List」として、できるようにしたい目標を設定し、各章の終わりに自己チェックさせるようになっている。	○ 学習を振り返って、次につなげたりすることができるよう、「活用しよう」の欄を設けている。また、各章のはじめと終わりに、「学習前の私」、「学習後の私」を位置づけ、学習した内容を説明するようになっている。	○ 学習を振り返って、次につなげたりすることができるよう、「活用しよう」の欄を設けている。また、各章のはじめと終わりに、「学習前の私」、「学習後の私」を位置づけ、学習した内容を説明するようになっている。	○ 各学年の巻末に、生徒の自主的、自発的な学習を促すために、自由研究のテーママ例を計24例紹介するとともに、具体的な実験方法を説明している。	○ 各学年の巻末に、生徒の自主的、自発的な学習を促すために、自由研究のテーママ例を計14例紹介するとともに、具体的な実験方法を説明している。	○ 各学年の巻末に、生徒の自主的、自発的な学習を促すために、自由研究のテーママ例を計15例紹介するとともに、具体的な実験方法を説明している。	○ 各学年の巻末に、生徒の自主的、自発的な学習を促すために、自由研究のテーママ例を計15例紹介するとともに、具体的な実験方法を説明している。	
			○ 目次は各単元と各章の他、「基礎操作」やその他の資料などを示している。(第1学年では見開きで60項目)	○ 目次は各単元と各章の他、「基本操作」やその他の資料などを示している。(第1学年では見開きで85項目)	○ 目次は各単元と各章の他、「探究活動」やその他の資料などを示している。(第1学年では見開きで65項目)	○ 目次は各単元と各章の他、「その他の資料」やその他の資料などを示している。(第1学年では見開きで46項目)	○ 目次は各単元と各章の他、「その他の資料」やその他の資料などを示している。(第1学年では見開きで27項目)	○ 目次は各単元と各章の他、「その他の資料」やその他の資料などを示している。(第1学年では見開きで119項目)	○ 目次は各単元と各章の他、「観察・実験」などの技能、「発展」、「科学コラム」、「アイエンス資料」、その他の資料などを示している。(第1学年では見開きで119項目)	○ 目次は各単元と各章の他、「観察・実験」などの技能、「発展」、「科学コラム」、「アイエンス資料」、その他の資料などを示している。(第1学年では見開きで119項目)	
			○ 広島県に関連した資料や記述が全学年を通して1箇所ある。うち、本市に関連した資料が1箇所あり、市内の水産碑を、写真をつけて掲載している。	○ 広島県に関連した資料や記述が全学年を通して2箇所ある。うち、本市に関連した資料が1箇所あり、安佐動物公園を、写真をつけて掲載している。	○ 広島県に関連した資料や記述が全学年を通して2箇所ある。うち、本市に関連した資料が1箇所あり、三角州を説明する資料として、写真を付けて掲載されている。	○ 広島県に関連した資料や記述が全学年を通して6箇所ある。うち本市に関連した資料が2箇所あり、三角州を説明する資料と健康科学館を、写真を付けて掲載している。	○ 広島県に関連した資料や記述が全学年を通して9箇所ある。うち本市に関連した資料が5箇所あり、霧峰の様子、雨瀬補強がされた校舎、マーチングバンドの演奏、柱状図を説明する資料、本市における「スマートフォンコミュニケーションの取組」を、写真や図を付けて掲載している。	○ 広島県に関連した資料や記述が全学年を通して9箇所ある。うち本市に関連した資料が5箇所あり、霧峰の様子、雨瀬補強がされた校舎、マーチングバンドの演奏、柱状図を説明する資料、本市における「スマートフォンコミュニケーションの取組」を、写真や図を付けて掲載している。	○ 広島県に関連した資料や記述が全学年を通して9箇所ある。うち本市に関連した資料が5箇所あり、霧峰の様子、雨瀬補強がされた校舎、マーチングバンドの演奏、柱状図を説明する資料、本市における「スマートフォンコミュニケーションの取組」を、写真や図を付けて掲載している。	○ 広島県に関連した資料や記述が全学年を通して9箇所ある。うち本市に関連した資料が5箇所あり、霧峰の様子、雨瀬補強がされた校舎、マーチングバンドの演奏、柱状図を説明する資料、本市における「スマートフォンコミュニケーションの取組」を、写真や図を付けて掲載している。	
			○ 観察、実験を「観察」、「実験」、「実習」、「調査」として85箇所を設定している。	○ 観察、実験を「観察」、「実験」、「実習」、「調査」として76箇所を設定している。	○ 観察、実験を「観察」、「実験」、「実習」、「調査」として74箇所を設定している。	○ 観察、実験を「観察」、「実験」、「実習」、「調査」として71箇所を設定している。	○ 観察、実験を「観察」、「実験」、「実習」、「調査」として70箇所を設定している。	○ 観察、実験を「観察」、「実験」、「実習」、「調査」として70箇所を設定している。	○ 観察、実験を「観察」、「実験」、「実習」、「調査」として70箇所を設定している。	○ 観察、実験を「観察」、「実験」、「実習」、「調査」として70箇所を設定している。	
			○ カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用し、重要語句は黒色太字で示している。	○ カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用し、重要語句は黒色太字で示している。	○ カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用し、重要語句は黒色太字で示している。	○ カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用し、重要語句は黒色太字で示している。	○ カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用し、重要語句は黒色太字で示している。	○ カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用し、重要語句は黒色太字で示している。	○ カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用し、重要語句は黒色太字で示している。	○ カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使用し、重要語句は黒色太字で示している。	
			○ 各学年の巻末に、切り取って使える資料を付録としている。(第1学年では世界の活火山・震源分布)	○ 各学年の巻末に、ホワイトボードとして使えるように工夫している。	○ 各学年の巻末に、切り取って使える資料を付録としている。(第1学年では生物カード)	○ 各学年の巻末に、切り取って使える資料を付録としている。(第1学年では生物カード)	○ 各学年の巻末に、切り取って使える資料を付録としている。(第1学年では生物カード)	○ 各学年の巻末に、切り取って使える資料を付録としている。(第1学年では生物カード)	○ 各学年の巻末に、切り取って使える資料を付録としている。(第1学年では生物カード)	○ 各学年の巻末に、切り取って使える資料を付録としている。(第1学年では生物カード)	
			○ サイズ A4 スリム判 第1学年 270ページ (約544g) 第2学年 318ページ (約636g) 第3学年 334ページ (約671g)	○ サイズ B5判 第1学年 294ページ (約531g) 第2学年 318ページ (約565g) 第3学年 374ページ (約662g)	○ サイズ AB判 第1学年 272ページ (約539g) 第2学年 288ページ (約567g) 第3学年 280ページ (約556g)	○ サイズ AB判 第1学年 314ページ (約691g) 第2学年 334ページ (約712g) 第3学年 370ページ (約793g)	○ サイズ AB判 第1学年 300ページ (約625g) 第2学年 316ページ (約653g) 第3学年 348ページ (約715g)	○ サイズ AB判 第1学年 300ページ (約625g) 第2学年 316ページ (約653g) 第3学年 348ページ (約715g)	○ サイズ AB判 第1学年 300ページ (約625g) 第2学年 316ページ (約653g) 第3学年 348ページ (約715g)	○ サイズ AB判 第1学年 300ページ (約625g) 第2学年 316ページ (約653g) 第3学年 348ページ (約715g)	

観点	視点	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	新興出版社啓林館
	⑤ 単元との関連	<p>○ 観察・実験の季節的要因や生徒の科学的概念の形成に配慮した単元の配列で構成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 生物3章、化学4章、物理3章、地学3章 ○ 第2学年 化学5章、生物4章、地学3章、物理3章 ○ 第3学年 化学3章、生物3章、物理3章、地学3章、自然と科学技術4章 <p>○ 各単元のタイトルを、それぞれの学年で主に学習する内容から設定している。</p> <p>○ 他教科との関連を図る部分として、本文側注に「教科関連マーク」がある。</p>	<p>○ 観察・実験の季節的要因や生徒の科学的概念の形成に配慮した単元の配列で構成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 生物3章、化学4章、物理3章、地学4章 ○ 第2学年 化学4章、生物3章、物理3章、地学4章 ○ 第3学年 物理4章、生物3章、自然2章、化学3章、地学3章、科学技術3章 <p>○ 各単元のタイトルを、それぞれの学年で主に学習する内容から設定している。</p> <p>○ 他教科との関連を図る部分として、本文側注に「つながる」がある。また、各学年の巻末に「理科の学習と算数・数学」がある。</p>	<p>○ 観察・実験の季節的要因や生徒の科学的概念の形成に配慮した単元の配列で構成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 生物3章、化学3章、物理3章、地学3章 ○ 第2学年 化学3章、生物3章、物理3章、地学3章 ○ 第3学年 物理3章、生物3章、化学3章、地学3章、自然と科学技術1章 <p>○ 各単元のタイトルを、それぞれの学年で主に学習する内容から設定している。</p>	<p>○ 観察・実験の季節的要因や生徒の科学的概念の形成に配慮した単元の配列で構成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 生物4章、化学4章、地学5章、物理3章 ○ 第2学年 化学3章、生物3章、地学5章、物理3章 ○ 第3学年 化学3章、生物4章、地学4章、物理4章、自然と科学技術6章 <p>○ 各単元のタイトルを、それぞれの学年で主に学習する内容から設定している。</p> <p>○ 他教科との関連を図る部分として、本文側注に「プリッジ算数・数学」がある。また、各学年の巻末に「理科で使う算数・数学」がある。</p> <p>○ 日常生活との関連を図った読み物として、「なぜ理科を学ぶの?」、「問題発見」、「サイエンスカフェ」、「学び続ける理科マスタワー!」がある。</p>	<p>○ 各校の実情にあわせて学習順序を組み替えられるよう、単元は全学年同じ配列になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 生物2章、地学4章、化学4章、物理3章 ○ 第2学年 生物4章、地学4章、化学4章、物理3章 ○ 第3学年 生物3章、地学3章、化学3章、物理5章、自然と科学技術5章 <p>○ 各単元のタイトルを、「生命」、「地球」、「物質」、「エネルギー」等と設定している。</p> <p>○ 他教科との関連を図る部分として、本文側注に「○○(教科名)と関連」がある。また、各学年の巻末に「理科でよく使う算数・数学」がある。</p> <p>○ 日常生活との関連を図った読み物として、「部活ラボ」、「お料理ラボ」、「防災減災ラボ」、「お仕事ラボ」、「探めるラボ」、「ひろがる世界」、「なるほど」がある。</p> <p>○ 第2学年で、「梅雨期・秋雨期の停滞前線の発達」ともなう豪雨による災害や、夏から秋の台風にもなう暴風雨による災害もある。(中略) また、あたたかくて湿度が大気の流れなどによる積乱雲の急速な発達、短時間にせまい竜巻で局地的大雨を生じて被害をおよぼしたり竜巻などの突風による災害を起したりすることがある。」と説明し、平成30年豪雨災害での広島県内の土砂災害の様子を写真付きで紹介している。</p> <p>○ 第3学年で、「自然が人間の生活におよぼす影響」として章を設定し、「私たちが生活している地域で、これまでに発生した自然災害を調べる。」との活動を設定している。また、別表に「大雨注意報」、「大雨警報・大雨特別警報」を緊急度別に紹介している。</p>
観点4 内容の表現・表記	⑥ 他教科や日常生活との関連の示し方	<p>○ 第2学年で、「日本列島の大部分は温帯に属しており(中略)とときに大きな災害をもたらすことある。」と説明し、平成20年から平成30年までに起こった気象災害を表に紹介している。また、側注に「注意報」、「警報」、「特別警報」を緊急度別に紹介している。</p> <p>○ 第3学年で、「自分たちの住む地域に過去に起こった自然災害について調べよう。」との活動を設定し、レポート例に本市にある災害神について調査した結果を掲載している。</p>	<p>○ 第2学年で、「大雨が降ると、土砂災害、洪水、泥水などのさまざまな被害をもたらす。」と説明している。</p> <p>○ 第3学年で、「地域の自然災害」の章を設定し、気象災害及び地震や火山などの災害について説明している。</p>	<p>○ 日常生活との関連を図った読み物として、「つながる科学」、「特設ページ」、「From Japan 世界につながる科学」がある。</p> <p>○ 第2学年で、「大雨は、河川の氾濫や崖崩れなどをもたらす。建物や田畑への浸水、住居や道路の埋没などを引き起こすことがある。」と説明している。</p> <p>○ 第3学年で、「自然災害と私たち」として章を設定し、「身近な地域で起こった過去の自然災害と現在の対策を調べてみよう。」との活動を設定している。</p>	<p>○ 日常生活との関連を図った読み物として、「なぜ理科を学ぶの?」、「問題発見」、「サイエンスカフェ」、「学び続ける理科マスタワー!」がある。</p> <p>○ 第2学年で、「大雨は、河川の氾濫や崖崩れなどをもたらす。建物や田畑への浸水、住居や道路の埋没などを引き起こすことがある。」と説明している。</p> <p>○ 第3学年で、「自然災害と私たち」として章を設定し、「身近な地域で起こった過去の自然災害と現在の対策を調べてみよう。」との活動を設定している。</p>	

観 点	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	新興出版社啓林館
<p>視 点</p> <p>④ 科学的な概念を活用して分析・解説したり、説明したりする学習活動の工夫</p> <p>視 点：言語活動の充実</p>	<p>○ 教師や生徒のキャラクターを使って、考える視点を示している。</p> <p>○ 各単元の扉ページに、内容と関連付けられた写真やイラストを掲載するなど、生徒の興味・関心を引く工夫が随所にある。</p> <p>○ 各単元の目次のページから、ウェブコンテンツはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツが一覧となったページを利用して、関連するコンテンツにアクセスできる。QRコードを掲載している。</p> <p>○ 歴史的な発明や、科学者を「科学の歴史」として、漫画で紹介している。</p> <p>○ 各単元の巻頭に、「探究の流れ」として、探究の過程を8段階で示し、考察の後に、課題に対する結論を表現するようにしている。</p>	<p>○ 動物や生徒のキャラクターを使って、考える視点を示している。</p> <p>○ 各単元の扉ページに、見開きで内容と関連付けられた写真やイラストを掲載するなど、生徒の興味・関心を引く工夫が随所にある。</p> <p>○ 各単元の目次のページから、ウェブコンテンツはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツが一覧となったページを利用して、関連するコンテンツにアクセスできる。QRコードを掲載している。</p> <p>○ 歴史的な発明や、科学者を「科学のあしあと」として、紹介している。</p> <p>○ 第1学年の巻末に、「探究の進め方」として、探究の過程を8段階で示し、考察の後に、調べたことをまとめ、発表するようにしている。</p>	<p>○ 教師や生徒のキャラクターを使って、考える視点を示している。</p> <p>○ 各単元の扉ページに、見開きで内容と関連付けられた写真やイラストを掲載するなど、生徒の興味・関心を引く工夫が随所にある。</p> <p>○ 各単元の目次のページから、ウェブコンテンツはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツが一覧となったページを利用して、関連するコンテンツにアクセスできる。QRコードを掲載している。</p> <p>○ 歴史的な発明や、科学者を「サイエンスカフェ」として、紹介している。</p> <p>○ 各単元の巻頭に、「理科のトリセツ」として、探究の進め方を10段階で示し、振り返りの後に、レポートや発表で他の人に考えを伝えるようにしている。</p>	<p>○ アニメや生徒のキャラクターを使って、考える視点を示している。</p> <p>○ 各単元の扉ページに、見開きで内容と関連付けられた写真やイラストを掲載するなど、生徒の興味・関心を引く工夫が随所にある。</p> <p>○ 各単元の目次のページから、ウェブコンテンツはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツが一覧となったページを利用して、関連するコンテンツにアクセスできる。QRコードを掲載している。</p> <p>○ 歴史的な発明や、科学者を「ハローサイエンス」として、紹介している。</p> <p>○ 各単元の巻頭に、「探究の進め方」として、探究の過程を7段階で示し、実験によって得られた結果を考察し、結論を出すようにしている。</p>	<p>○ 実験器具や生徒のキャラクターを使って、考える視点を示している。</p> <p>○ 各単元の扉ページに、見開きで内容と関連付けられた写真やイラストを掲載するなど、生徒の興味・関心を引く工夫が随所にある。</p> <p>○ 各単元の目次のページから、ウェブコンテンツはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツが一覧となったページを利用して、関連するコンテンツにアクセスできる。QRコードを掲載している。</p> <p>○ 歴史的な発明や、科学者を「科学史」として、紹介している。</p> <p>○ 各単元の巻頭に、「探究の過程」として、探究の過程を8段階で示し、考察の後に、レポートや口頭発表などで表現するようにしている。また、その8段階を「課題の把握」、「課題の追究」、「課題の解決」の3つの活動に大別している。さらに、各単元の巻末に、「探究の流れ」として、探究の過程を8段階で示し、考察の後に、振り返りの後に、レポートや発表で他の人に考えを伝えるようにしている。</p> <p>○ 各単元の各節のはじめに、「課題」として、疑問を投げかけるようにしており、各節の終わりに、結論を考えさせるようにしている。</p> <p>○ 各単元の4～5箇所を「探究レベルアップ」として位置づけ、探究の過程に沿って疑問を解決する活動としている。</p> <p>○ 各単元の巻頭に、「伝わる言葉」を掲載し、発表のしかた」として、生徒同士で話し合う学習活動の手順の説明がある。</p>
			<p>○ 各単元の各節のはじめに、「Cam-Do List」として、各章の終わりに、自己チェックとまとめさせようとしている。</p> <p>○ 観察・実験を「探究」として位置づけ、探究の過程に沿って疑問を解決する活動としている。</p>	<p>○ 各単元の1～2箇所を「疑問から探究してみよう」として位置づけ、探究の過程に沿って疑問を解決する活動としている。</p>	<p>○ 各単元にある実験のうち、1つを「探Q実験」として位置づけ、探究の過程に沿って疑問を解決する活動としている。さらに、各単元の終わりに、「みんな探Qクラブ」を設定し、習得した知識・技能を統合し、探究の過程に沿って疑問を解決する活動をしている。</p> <p>○ 第1学年と第2学年の巻末に、「理科における話し合いと発表」として、生徒同士で話し合う学習活動の手順の説明がある。また、対話の方法の例として、ブレインストーミングとジグソー法についての紹介がある。</p> <p>○ 言語活動の充実のため、学習内容を活用し、対話を通じて生活の中での「何げない疑問」の解決を図る「みんな探Q」を設けている。</p>

令和2年7月/6日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科【音楽】種目【一般】

代表者

大片美保子



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [音楽] 種 目 [一般]

2 本市の実態や生徒の状況

○ 本市は、市内中心部に大ホールを併設した文化施設を有するとともに、各区に区民文化センターを設置しており、広島交響楽団による西洋音楽をはじめとし、能や民謡等様々なジャンルの音楽に触れる機会に恵まれた地域である。

○ 本市の生徒は、ネット環境、情報機器の充実により、音楽に関する情報を得やすく、日常生活で音楽に親しんでいる生徒が多いが、興味を示す音楽に偏りがあり、様々な音楽について、よさを感じ取ったり、理解したりすることに課題がある。また、文化祭等において表現活動の学習成果を発表する機会があり、協働して表現活動に取り組むことができているが、生徒一人一人が音楽を知覚したことで感受したことを関連付けて、適切な言葉で表現することに課題が見られる。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 表現の基礎・基本の定着を図るための工夫 ② 鑑賞の基礎・基本の定着を図るための工夫 ③ 共通事項との関連を図るための工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	④ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ⑤ 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わるための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑥ 題材や資料等の配列・分量 ⑦ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	⑧ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
＜言語活動の充実＞	⑨ 表現・鑑賞領域における言語活動につなげる工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [音楽] 種目 [一般]

2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	発行者	教育芸術社
<p>① 表現の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <p>② 鑑賞の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <p>③ 共通事項との関連を図るための工夫</p>	<p>教育出版</p> <p>○ 各学年の「Let's Sing!」というコーナーで、歌唱に関わる基礎的な事項を示している。</p> <p>○ 第1学年、第2・3学年上「Let's Try!」のコーナーで指揮をする際の基本的なポイントを文と図で示している。</p> <p>○ 創作活動において、「音のスケッチ」で、活動の進め方を活動①、活動②、活動③・・・と順に示し、短い文で説明している。</p> <p>○ 鑑賞の教材ごとに、聴くポイントを簡潔に示すとともに、音楽の背景や楽曲・作曲者について解説している。</p> <p>○ 第2・3学年下の音楽史年表「日本と西洋の音楽の歩み」では、日本や西洋の歴史と音楽文化、作曲家との関連を示し、その時代に関連する音楽を鑑賞するように促している。</p> <p>○ 巻頭の学習内容を示した「学びのユニット」で、教材ごとの「学びの手掛かりとなるヒント」として音楽を形づくっている要素を示している。</p> <p>○ 巻末の「楽典」に、用語や記号などを示している。</p> <p>○ 音楽を形づくっている要素について、巻末の「どんな特徴があるかな?」のページを設け、音楽を形づくっている要素と感じ取ったことを関連付ける活動を例示している。</p>	<p>○ 各学年の「My voice!」というコーナーで、歌唱に関わる基礎的な事項を示している。</p> <p>○ 各学年の「指揮をしてみよう」のコーナーで、指揮をする際の基本的なポイントを文と図で示すとともに、指揮者からのメッセージを掲載している。</p> <p>○ 創作活動において、「My Melody」[Let's Create!]で、活動の進め方を①、②、③・・・と順に示し、文章で説明している。</p> <p>○ 鑑賞の教材ごとに、聴くポイントを簡潔に示すとともに、音楽の背景や楽曲・作曲者について解説している。</p> <p>○ 第2・3学年下の音楽史年表「耳でたどる音楽史」では、日本や西洋の歴史と音楽文化、作曲家との関連を示し、その時代に関連する音楽を鑑賞するように促している。</p> <p>○ 巻頭の学習内容を示した「学習内容」で、教材ごとに関連する音楽を形づくっている要素を示している。</p> <p>○ 教材ごとに、関連する音楽を形づくっている要素を、見開きページの左側注に、アイコンで示している。また、学習したことをもとに考える際の参考として、「注目するポイント」を示している。</p> <p>○ 巻末の「音楽の約束」で、用語や記号などを示している。</p> <p>○ 音楽を形づくっている要素について、巻末に「音楽を形づくっている要素」のページを設け、1年間で学習した音楽を形づくっている要素を関連教材のページを付して、振り返るよう示している。</p> <p>○ 第1学年、第2・3学年上で、「リズムゲーム」、「リズムアンサンブル」、「リズムチャレンジ」のページを設け、ゲーム感覚で、簡単なリズムの読み書きを定着させたり、リズム感覚を身に付けさせたりできる場を設定している。</p>

観点	発行者	教育芸術社
観点2	<p>主體的に学習に取り組む工夫</p>	<p>○ 巻頭で3ページにわたり、「A Message for You」(共通教材)、「作者の思いにふれる」で作曲者や作詞者の言葉を紹介している。</p> <p>○ 「目次」では、領域を色分けして示すとともに、創作、鑑賞教材にはアイコンを付している。また、「比べよう」「深めよう」等の活動に関わるアイコンを示している。</p> <p>○ 「学びのユニット」で学びのねらい、学習する曲や活動、学習を生かして比べる曲、学びの手掛かりとなるヒント、学びを深めるための曲や活動を示している。</p> <p>○ 教材ごとに学びのポイントを示し、ページ数を付した「比べてみよう」「深めてみよう」のアイコンが付されている。</p> <p>○ 各学年、活動の手順や課題を示した部分に、考えを深められるよう、大人や子どものイラストとともに、セリフを掲載している。</p>
観点4	<p>④ 興味・関心をもたせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次に必要なたりするための工夫</p>	<p>○ 巻頭で4ページにわたり、現代の音楽に関わる人物を紹介し、「音楽って何だろう?」で演奏者・作詞者の言葉を紹介している。</p> <p>○ 歌唱教材に、作者からの言葉、鑑賞教材に演奏者からの言葉を掲載している。</p> <p>○ 「目次」では、領域を色分けして示すとともに、創作、鑑賞教材には、アイコンを付している。</p> <p>○ 「学習内容」で、三つの質・能力とそれに対応する学習内容や教材を図示し、学習内容と各教材の関連の大小を色の濃さで示している。</p> <p>○ 教材ごとに学習目標と音楽を形づくっている要素を示すとともに、学習のポイントが示されている。学習目標は、教材同士に関連付けて捉えることができる目標となっている。</p> <p>○ 各学年、活動の手順や課題を示した部分に、考えを深められるよう、大人や子どものイラストとともに、セリフを掲載している。</p>
観点5	<p>⑤ 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わるための工夫</p>	<p>○ 我が国や郷土の伝統音楽を鑑賞する教材の後に、関連する楽器や歌唱方法を体験する教材を配置している。</p> <p>○ 我が国や郷土の伝統音楽については、総論や文化語、唱歌について掲載し、唱歌を歌う場面を設定している。</p> <p>【発問の具体例】</p> <p>第2・3学年上「唱歌(しょうが)を用いて『越天楽』を体験しよう」では、打ちものや舞楽(ひらりき)の唱歌の楽譜を掲載し、「音源の演奏を感じながら唱歌で合わせてみよう」、「拍やリズム、舞楽の旋律の特徴を感じ取ろう」、「打ちもの(打楽器)や舞楽は、どのようにすると合うかな」と示し、「膝の打ち方」を付して、歌う活動を促している。</p> <p>○ 第1学年「郷土のさまざまな民謡」、「日本とアジアの声によるさまざまな音楽・芸能」、「日本とアジアをつなぐ音」、第2・3学年上「郷土の音楽や芸能」、「各地のさまざまな音楽・芸能」の中で、人々のくらしと音楽の結びつきについて紹介している。</p> <p>○ 創作活動で、日本語のリズムや拍、擬音語、日本語の音階を題材としたり、CMソングをつくる活動を設定したりするなど、我が国の音楽、生活や社会の中の音楽と関連付ける教材を設定している。</p> <p>○ 第2・3学年上「私たちのくらしと音楽」では、音楽著作権について例を示したり、QA形式で場面を設定したりしている。第2・3学年下「私たちのくらしと音楽」でアウトリーチ・教育活動・音楽療法について掲載している。また、第2・3学年下「コンピュターと音楽」では、コンピュターと音楽の関わりについて、紹介している。</p> <p>○ 第2・3学年上「ポピュラー音楽図鑑」で、4ページにわたり、ポピュラー音楽の起源や種類について、それぞれの音楽の違いや代表的な演奏家や作曲家について、イラストを付して紹介している。</p>

発行者		教育芸術社																																	
視 点	視 点 3	<p>各学年の教材については、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>歌唱</th> <th>創作</th> <th>鑑賞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>25</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>第2・3学年上</td> <td>21</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>第2・3学年下</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 第1学年は、歌唱教材、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌の順で配列しており、創作については、関連する歌唱教材及び鑑賞教材の後に配列している。第2・3学年は、歌唱教材、創作、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌の順で配列している。</p> <p>○ 3年間ですべての歌唱共通教材を掲載するとともに、我が国や郷土の伝統音楽を扱った鑑賞教材を3年間で7教材掲載している。</p> <p>○ 第1学年 分量 約210g、98ページ サイズ A4変型判 第2・3学年上 分量 約210g、98ページ サイズ A4変型判 第2・3学年下 分量 約210g、98ページ サイズ A4変型判</p>	学年	歌唱	創作	鑑賞	第1学年	25	2	7	第2・3学年上	21	2	6	第2・3学年下	18	2	6	<p>各学年の教材については、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>歌唱</th> <th>創作</th> <th>鑑賞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>19</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>第2・3学年上</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>第2・3学年下</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 各学年とも歌唱教材、創作、鑑賞教材の順で配列している。続いて「深めてみよう」に、歌唱教材、鑑賞教材、合唱曲集、国歌、楽典、資料の順で配列している。</p> <p>○ 3年間ですべての歌唱共通教材を掲載するとともに、我が国や郷土の伝統音楽を扱った鑑賞教材を3年間で11教材掲載している。</p> <p>○ 第1学年 分量 約200g、86ページ サイズ A4変型判 第2・3学年上 分量 約200g、86ページ サイズ A4変型判 第2・3学年下 分量 約200g、86ページ サイズ A4変型判</p>	学年	歌唱	創作	鑑賞	第1学年	19	2	10	第2・3学年上	16	2	11	第2・3学年下	18	2	9
	学年	歌唱	創作	鑑賞																															
第1学年	25	2	7																																
第2・3学年上	21	2	6																																
第2・3学年下	18	2	6																																
学年	歌唱	創作	鑑賞																																
第1学年	19	2	10																																
第2・3学年上	16	2	11																																
第2・3学年下	18	2	9																																
視 点 4	<p>⑦ 発展的な学習に 関する内容の記述 の状況</p>	<p>○ 「発展」のコーナーを設け、第1学年では、「音」について、「音」の三要素 PART-1」で、音の物理的な性質を解説している。また、第2・3学年下では、「音の三要素 PART-2」で、「音高」、「音色」の物理的な性質についてその原理を解説している。</p> <p>○ 「Let's Try!」というコーナーで、声や身近な楽器を取り入れた活動のページを設けている。</p>	<p>○ 鑑賞活動で、「Challenge!!」というコーナーを設け、教材に関連した曲を聴き、考えを深めることや、調べ学習を行うなどの活動を設定している。</p> <p>○ 鑑賞活動で、「+α」というコーナーを設け、「この頃、日本では…!？」を記載し、教材の作曲家が活躍した同時代に、日本で起きていた出来事について示している。</p> <p>○ 各学年、「年表で確かめよう」というコーナーを設け、日本音楽に関する事象や活躍した作曲家について、鑑賞教材で扱われている作曲家の活躍した時代とともに、年表で示している。</p>																																
視 点 3	<p>⑥ 題材や資料等の配列・分量</p>	<p>○ 各学年、共通教材に関連する写真を見開き2ページ、または1ページで掲載している。</p> <p>○ 歌唱、創作、鑑賞の領域ごとに色を設定し、目次、学習内容、教材のページをそれぞれ色分けして示している。</p> <p>○ 我が国や郷土の伝統音楽について、楽器や楽譜、実際の場面の写真を掲載したり、図や文で説明したりしている。</p> <p>○ 学習に関連する音源や映像などの資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、「まなびリンク」のアイコンを付している。巻頭のQRコードまたはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツが一覧となったページを利用できるようにしている。</p>	<p>○ 各学年、共通教材に関連する写真を見開き2ページ、または1ページで掲載している。</p> <p>○ 歌唱、創作、鑑賞の領域ごとに色を設定し、目次、学習内容、教材のページをそれぞれ色分けして示している。</p> <p>○ 我が国や郷土の伝統音楽について、楽器や楽譜、実際の場面の写真を掲載したり、図や文で説明したりしている。</p> <p>○ 学習に関連する音源や映像などの資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、QRコードを付している。各教材のQRコードから、教材ごとに関連するウェブコンテンツを利用できるようにしている。</p>																																
視 点 4	<p>⑧ 本文の記述・内容と適切な 写真・ウェブコンテンツ等の 示し方</p>	<p>○ 各学年、共通教材に関連する写真を見開き2ページ、または1ページで掲載している。</p> <p>○ 歌唱、創作、鑑賞の領域ごとに色を設定し、目次、学習内容、教材のページをそれぞれ色分けして示している。</p> <p>○ 我が国や郷土の伝統音楽について、楽器や楽譜、実際の場面の写真を掲載したり、図や文で説明したりしている。</p> <p>○ 学習に関連する音源や映像などの資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、「まなびリンク」のアイコンを付している。巻頭のQRコードまたはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツが一覧となったページを利用できるようにしている。</p>	<p>○ 各学年、共通教材に関連する写真を見開き2ページ、または1ページで掲載している。</p> <p>○ 歌唱、創作、鑑賞の領域ごとに色を設定し、目次、学習内容、教材のページをそれぞれ色分けして示している。</p> <p>○ 我が国や郷土の伝統音楽について、楽器や楽譜、実際の場面の写真を掲載したり、図や文で説明したりしている。</p> <p>○ 学習に関連する音源や映像などの資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、QRコードを付している。各教材のQRコードから、教材ごとに関連するウェブコンテンツを利用できるようにしている。</p>																																

発行 者	
<p>観 点</p> <p>観 点 5 言語活動の充実</p>	<p>教育出版</p> <p>○ 各学年で扱っている「進んで学び合おう ACTIVE！」において、歌唱教材では、聴き取ったことや感じ取ったこと、曲のよさや面白さについて、表現の工夫について、鑑賞教材では、聴き取ったことや感じ取ったこと、曲のよさや面白さについて、生徒が直接書き入れる部分を設けたり、友達と話し合う活動を促したりしている。</p> <p>○ 第2・3学年上、第2・3学年下の創作教材で、つくった作品をもとに、友達と交流する活動を設定している。</p> <p>○ 各学年の創作教材で、生徒が直接書き入れて創作活動を行うよう促している。</p> <p>○ 各学年の「何が同じで、何が違う？」では、様々な音楽について共通性や固有性を考え、特徴を理解することができるよう、表に整理し、話し合う活動を設定している。</p>
<p>観 点</p> <p>④ 表現・鑑賞領域における言語活動につなげる工夫</p>	<p>教育芸術社</p> <p>○ 各学年で扱っている「深めよう！音楽」において、歌唱教材では、聴き取ったことや感じ取ったこと、表現の工夫について、鑑賞教材では、聴き取ったことや感じ取ったこと、曲のよさや面白さについて、生徒が直接書き入れる部分を設けたり、友達と話し合う活動を促したりしている。生徒が直接書き入れる部分は、表の形式になっている。</p> <p>○ 各学年の創作教材で、つくった作品について友達と意見交流する活動を設定している。また、創作の過程で、中間発表を設定し、話し合いを促している。</p> <p>○ 各学年の創作教材で、生徒が直接書き入れる部分を「ワークシート」と示し、創作活動と工夫したことをまとめよう促している。</p> <p>○ 第2・3学年下の巻末、「曲のよさをプレゼンしよう」のコーナーを設け、自分で選んだ曲について、その曲の音楽的な特徴や感じ取ったことをもとに、曲のよさや聴きどころを伝え合う活動を設定している。また、プレゼンする曲について、直接書き込む部分を設けている。</p>

令和2年7月16日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科 [音楽] 種目 [器楽合奏]

代表者 大片美保子



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [音楽] 種 目 [器楽合奏]

2 本市の実態や生徒の状況

○ 本市は、市内中心部に大ホールを併設した文化施設を有するとともに、各区に区民文化センターを設置しており、広島交響楽団による西洋音楽をはじめとし、能や民謡等様々なジャンルの音楽に触れる機会に恵まれた地域である。

○ 本市の生徒は、ネット環境、情報機器の充実により、音楽に関する情報を得やすく、日常生活で音楽に親しんでいる生徒が多いが、興味を示す音楽に偏りがあり、様々な音楽について、よさを感じ取ったり、理解したりすることに課題がある。また、文化祭等において表現活動の学習成果を発表する機会があり、協働して表現活動に取り組むことができているが、生徒一人一人が音楽を知覚したことと関連付け、適切な言葉で表現することに課題が見られる。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫 ② 共通事項との関連を図るための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わるための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
<内容の表現・表記>	⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
<言語活動の充実>	⑧ 器楽領域における言語活動につなげる工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科〔音楽〕種目〔器楽合奏〕
2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	発行者	
	教育出版	教育芸術社
視点 ① 器楽の基礎・基本を 図るための工夫	<p>○ 楽器（リコーダー・ギター・箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八）の各部の名称、姿勢と構造的な奏法を、写真やイラストを用いて解説している。</p> <p>○ リコーダーの基礎的な奏法を身に付けるためのポイントを文で示している。</p> <p>○ ギターの奏法として、アポヤンド奏法、アル アイレ奏法を掲載している。</p> <p>○ ギターのタブ譜について、タブ譜を付した楽譜を掲載し、説明している。</p> <p>○ 創作活動として、お雛子を題材とした活動を設定している。</p> <p>○ 巻末に、「リコーダー運指表」と「ギター&キーボードコード表」を掲載している。</p> <p>○ 音楽を形づくっている要素について、「Let's Play!」や「Let's Try!」のページで、関連する学習のポイントを文章で示している。</p>	<p>○ 楽器（リコーダー・ギター・箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八・打楽器）の各部の名称、姿勢と構造的な奏法を、写真やイラストを用いて解説している。</p> <p>○ リコーダーの基礎的な奏法を身に付けるためのポイントを文やQ&A方式で示している。</p> <p>○ ギターの奏法として、ストローク奏法、アポヤンド奏法、アル アイレ奏法を掲載している。</p> <p>○ ギターのタブ譜について、「バンドのスコア（楽譜）」を見てみよう!」で、タブ譜を付した楽譜を掲載し、説明している。</p> <p>○ 創作活動として、箏を用いた活動を設定している。</p> <p>○ 巻末に、「リコーダーの運指表」と「ギター&キーボードコード表」を掲載している。</p> <p>○ 音楽を形づくっている要素について、「アンサンブル」のページで、関連する学習のポイントを文章で示し、「アンサンブルセミナー」のページで左側に注にアイコンで示している。</p>
② 共通事項 との関連を 図るための 工夫	<p>○ 巻頭の「さまざまな音色や響きと奏法」で、様々な楽器の演奏時の写真を掲載している。</p> <p>○ 著名な演奏者の言葉を、巻頭の「With My Heart」、各楽器のページに掲載している。</p> <p>○ 「目次」で、各楽器を色分けして示し、構成を「演奏の仕方を身に付けよう!」、「合わせて演奏しよう!」に分けて示している。</p> <p>○ 各楽器のページでは、見開きごとに目標を示し、教材ごとに学習のポイントを示している。</p> <p>○ 巻末の「Let's Play!」、「Let's Try!」で練習曲や合奏曲を掲載し、「名曲旋律集」では、表現・鑑賞領域で扱う楽曲の旋律を掲載している。</p> <p>○ 創作活動「音のスケッチ」で、活動①、②、③の順で一連の学習過程を示している。</p> <p>○ 各楽器の種類や特徴について写真や言葉で示している。</p>	<p>○ 巻末の「楽器の図鑑」で、様々な楽器を整理し、写真を掲載している。</p> <p>○ 著名な演奏者の言葉を、巻頭4ページ、各楽器のページに掲載している。</p> <p>○ 「目次」で、各楽器を色分けして示し、構成をアンサンブルのコーナーと各楽器のコーナーに分けて示している。</p> <p>○ 「学習内容」で、三つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材を図示し、学習内容と各教材との関連の大小を色の濃さで示している。</p> <p>○ 各楽器のページでは、教材ごとに学習目標と音楽を形づくっている要素、学習のポイントを示している。</p> <p>○ 巻末の「アンサンブル」、「楽器でMelody」で練習曲や合奏曲を掲載している。</p> <p>○ 創作活動「My Melody」で、①、②、③の順で一連の学習過程を示している。</p> <p>○ 各楽器の種類や特徴について写真や言葉で示し、「日本音楽の楽器編成」では、和楽器と我が国の音楽の関係を表で示している。</p>
③ 興味・関心を持たせ、具現しを立てたり、 学習を振り返って次につなげたりする ための工夫	<p>○ 各楽器の始めのページで、楽器の起源や発展について紹介している。</p> <p>○ 和楽器の学習において、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八のページで、続譜や文化譜、唱歌について掲載し、日本の音楽文化について紹介しているとともに、唱歌を唱え、楽器を演奏するように促している。</p>	<p>○ 各楽器の紹介ページで、楽器の起源や発展について紹介している。</p> <p>○ 和楽器の学習において、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八のページで、続譜や文化譜、唱歌について掲載し、日本の音楽文化について紹介するとともに、唱歌を唱え、楽器を演奏するように促している。その際、練習の手順や練習のポイントを文で示している。</p> <p>○ 巻末の「楽しもう!和楽器の音楽」で、部活動を通して和楽器の合奏に取り組んでいる中学生を紹介するとともに、裏表紙「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」で、中学生が伝統芸能に関わっている写真を掲載している。</p>
④ 生活や社会の中の 関わるための工夫		

○ 各学年の教材については、次のとおりである。

リコーダー 曲	ギター曲	箏曲	三味線 曲	太鼓曲	篠笛曲	尺八曲	アンサンブル、 合奏曲
20曲	2曲	6曲	2曲	1曲	4曲	1曲	18曲

- リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八について、「〇〇の演奏を聴こう」のコーナーを設け、それぞれの楽器ごとに鑑賞曲を2～3曲示している。
- アンサンブルセミナー、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器、アンサンブル・合奏、楽器でMelody、資料で構成している。
- 器楽を用いた創作活動「My Melody」を1教材設定している。
- 分量 約230g、106ページ サイズ A4変型判
- 「Challenge!」のコーナーを設け、演奏の仕方について、例を示し工夫を促している。

○ 各学年の教材については、次のとおりである。

リコーダー 曲	ギター曲	箏曲	三味線 曲	太鼓曲	篠笛曲	尺八曲	アンサンブル、 合奏曲
29曲	5曲	6曲	2曲	※	5曲	1曲	23曲

- ※ 太鼓の教材は「アンサンブル」に1曲有り
- リコーダー、箏、三味線のページで、「聴いてみよう」のコーナーを設け、鑑賞教材を4曲示している。
 - リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓、アンサンブル・合奏、名曲旋律集、資料で構成している。
 - 器楽を用いた創作活動「音のスケッチ」を4教材設定している。
 - 分量 約220g、99ページ サイズ A4変型判
 - 「発展」のコーナーを設け、世界の諸民族の楽器について調べる活動を促している。

- リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器、それぞれのページで、演奏している写真と構え方や奏法の写真を掲載している。
- 本文中に、キャラクターを登場させ、セリフとして、考えるポイントや工夫したい点を示したり、活動を促したりしている。
- 学習に関連する音源や映像などの資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、QRコードを付している。各教材のQRコードから、教材ごとに関連するウェブコンテンツを利用できるようにになっている。

- リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓それぞれのページで、演奏している写真と構え方や奏法の写真を掲載している。
- 本文中に、キャラクターを登場させ、セリフとして、解説を補ったり、活動を促したりしている。
- 学習に関連する音源や映像などの資料を掲載したウェブコンテンツを利用できる教材には、「まなびリンク」のアイコンを付している。巻頭のQRコードまたはサイトのアドレスから、ウェブコンテンツがご覧となったページを利用できるようにになっている。

- 「アンサンブルセミナー」に掲載された教材全てに「深めよう！音楽」を設定し、示された譜例や吹き出しを活用しながら友達と交流し、グループで表現を工夫したり、パートの役割を話し合ったりする活動を促している。

- 「何が同じで何が違う？」で、楽器の共通点・相違点について表にまとめ、交流し友達に紹介する活動を促している。また、発展として楽器の背景となる文化や伝統を調べ、記入する欄を設けている。

観点
観点3 内容の構成・配列・分量

⑤ 題材や資料等の配列・分量

⑥ 体系的な学習に関する内容の記述の状況

観点4 内容の表現・表記

⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方

観点5 言語活動の充実

⑧ 音楽領域における言語活動につなげる工夫

令和2年7月15日

広島市教科用図書採択審議会会長様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科【美術】種目【美術】

代表者 橋本忍



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [美術] 種 目 [美術]

2 本市の実態や生徒の状況

○	本市は、美術作品等に直接触れることができる文化的施設が多い市街地を持つ地域である。また、山林を主体とした自然豊かな地域や、瀬戸内海に面した風光明媚な沿岸部など、変化に富んだ様々な環境が見られる地域もある。
○	生徒は、美術への関心・意欲が比較的高く、学習に意欲的に取り組む生徒が多い。一方で、主題に対して豊かに発想し構想を練る力や、表現において意見を述べ合ったり、鑑賞において自分の価値意識をもって批評し合ったりする力に課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 造形的な視点を豊かにするために必要な知識 ② 日本の伝統や文化に関する内容
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 生活や社会の中の美術や美術文化との関わりを考えさせるための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発想し構想することに関する内容
<内容の表現・表記>	⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
<言語活動の充実>	⑧ 意見を述べ合ったり、批評し合ったりするなどの学習活動の示し方と具体例

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [美術] 種 目 [美術]

2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	視点	発行者	日本文芸出版
観点1	① 造形的な視点と必要知識を豊かにする	開隆堂出版	日本文芸出版
観点1	基礎・基本の定着	開隆堂出版	日本文芸出版
観点2	主体的に学習に取り組む工夫	開隆堂出版	日本文芸出版
観点2	興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返るために必要な知識	開隆堂出版	日本文芸出版
観点2	日本の伝統や文化に関する内容	開隆堂出版	日本文芸出版
観点2	興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返るために必要な知識	開隆堂出版	日本文芸出版
観点2	主体的に学習に取り組む工夫	開隆堂出版	日本文芸出版

観点	観点	発行者	日本文教出版
	<p>④ 生活や社会の中の美術や美術文化との関わりを考えさせるための工夫</p>	<p>開隆堂出版</p> <p>○ 第1学年、第2・3学年の「デザインや工芸など」の各題材では、身近な物の写真等を活用し、生活や社会と美術との関わりを考えながら学習するようにしている。</p> <p>○ 第1学年巻末に、「美術館を楽しむ」を3ページで掲載し、社会の中の美術文化との関わりを示している。</p> <p>○ 第2・3学年「暮らしに生きる美術」、「場と形の響き合い」、「リノベーション」、「使い続ける工夫」、「私たちの社会と美術」の特集や題材では、社会の中の美術文化との関わりを示している。</p> <p>○ ページ下に「道徳」、「教科名」、「特別活動」として、道徳科や他教科との関連を示している。(第1学年：30箇所、第2・3学年：77箇所)</p>	<p>光村図書出版</p> <p>○ 鑑賞の版画や絵巻物・漫画の題材では、それぞれ2作品について和紙の風合いをもつ紙を使用して掲載している。</p> <p>第1学年 「星空をペガサスと牛が飛んでいく」(生徒作品)、 「瀬戸内海集 帆船(朝)」</p> <p>第2・3学年 「鳥獣人物戯画」、「火の鳥」</p> <p>○ 第2・3学年、鑑賞の「最後の晚餐」では、トレーニングペーパーを挟み、かき込みができるようになっている。</p> <p>○ 第1学年、第2・3学年の「デザインや工芸など」の各題材では、身近な物の写真等を活用し、生活や社会と美術との関わりを考えながら学習するようにしている。</p> <p>○ 第1学年巻末に、「美術館を楽しむ」、「美術鑑賞を楽しむ手がかり」を3ページで掲載し、社会の中の美術文化との関わりを示している。</p> <p>○ 第2・3学年「環境とともに生きる彫刻」、「地域の魅力を伝える」、「地域と美術とのつながり」の題材や特集では、社会の中の美術文化との関わりを示している。</p> <p>○ ページ下に「道徳科とのつながり」として、道徳科との関連を示している。(第1学年：7箇所、第2・3学年：15箇所) また、他教科と関連する内容を、コーナーを設けて示している。</p> <p>○ 第1学年の巻頭に、「うつくしい!」として、全国の中学生が撮影した「うつくしい」と感じた瞬間や風景などの身の回りの写真を掲載し、生活と美術のつながりを示している。</p>
<p>観点3 内容の構成・配列・分量</p>	<p>○ 全2冊で、第1学年、第2・3学年としている。</p> <p>○ 第1学年が全67ページ、第2・3学年が全123ページである。</p> <p>○ 題材等を「発見と創造・探求と継承」、「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「学びの資料」の順に掲載している。ページ左上のインデックスで、分野と活動を示している。</p> <p>○ 1つの題材を2～4ページで掲載している。</p> <p>○ 各学年の題材の数は、以下の通りである。</p> <p>第1学年 : 絵や彫刻など 6題材 デザインや工芸など 6題材 鑑賞 5題材</p> <p>第2・3学年 : 絵や彫刻など 9題材 デザインや工芸など 12題材 鑑賞 18題材</p>	<p>○ 全3冊で、第1学年、第2・3学年上、第2・3学年下としている。</p> <p>○ 第1学年が全75ページ、第2・3学年上が全65ページ、第2・3学年下が全61ページである。</p> <p>○ 題材等を「オリエンテーション」、「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「学びを支える資料」の順に掲載している。ページ左上のインデックスで、分野と活動を示している。</p> <p>○ 1つの題材を2～6ページで掲載している。</p> <p>○ 各学年の題材の数は、以下の通りである。</p> <p>第1学年 : 絵や彫刻など 7題材 デザインや工芸など 7題材 鑑賞 5題材</p> <p>第2・3学年上 : 絵や彫刻など 6題材 デザインや工芸など 6題材 鑑賞 5題材</p> <p>第2・3学年下 : 絵や彫刻など 6題材 デザインや工芸など 6題材 鑑賞 5題材</p>	<p>○ 第1学年、第2・3学年上、下の「デザインや工芸など」の各題材では、身近な物の写真等を活用し、生活や社会と美術との関わりを考えながら学習するようにしている。</p> <p>○ 第1学年巻末に、「美術館へ行こう」を2ページで掲載し、社会の中の美術文化との関わりを示している。</p> <p>○ 第2・3学年下「さまざまなアートに触れよう」、「日本の中の美術文化遺産」、「社会に生きる美術の力」の特集では、社会の中の美術文化との関わりを示している。</p> <p>○ ページ下に、道徳科との関連を示している。(第1学年：7箇所、第2・3学年上：9箇所、第2・3学年下：9箇所)</p> <p>○ 第2・3学年上の「あなたの美を見つけよう」では、全国の中学生が撮影した「私の見つけた美」を掲載し、生活と美術のつながりを示している。</p>

観点	閉巻堂出版	発行所 光村図書出版	日本文教出版
観点	<p>○ 第1学年の鑑賞題材は、「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」の表現領域の題材と共に掲載されている。第2・3学年の鑑賞題材は、18題材中10題材が「鑑賞で学ぶこと」として、表現領域から独立しており、4教材が巻末に「まとめ」として掲載されている。</p> <p>○ 第1学年 サイズ A4ワイド判 重さ 約266g 第2・3学年 サイズ A4ワイド判 重さ 約462g</p> <p>○ 発想や構想の方法などを示すコーナーを設け、第1学年では4題材、第2・3学年では7題材で、発想や構想を助ける内容を掲載している。</p> <p>○ 生徒や作家の作品と共に「作者の言葉」を掲載している。作家の言葉は16題材で紹介されている。 (例) 第1学年 エドガー・ドガなど</p> <p>○ 生徒のアイデアスケッチやレポートが3題材で紹介されている。 (例) 第2・3学年 「ボスターで伝える『ゲリラ豪雨展』」など</p> <p>○ 第2・3学年では、思考ツール「マッピング」を紹介している。</p>	<p>○ 各学年の鑑賞題材は、「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」の表現領域の題材と共に掲載されている。</p> <p>○ 第1学年 サイズ A4判 重さ 約312g 第2・3学年 サイズ A4判 重さ 約390g</p> <p>○ 「みんなの工夫」というコーナーを設け、第1学年では4題材、第2・3学年では4題材で、中学生の制作や発想の様子を詳しく掲載している。また、各題材は、鑑賞→表現の流れで学習を進めることで、鑑賞したことを表現に生かすことができ、発想や構想を助ける構成になっている。</p> <p>○ 生徒や作家の作品と共に「作者の言葉」を掲載している。作家の言葉は5題材で紹介されている。 (例) 第1学年 須田悦弘など</p> <p>○ 生徒のアイデアスケッチやレポートが13題材で紹介されている。 (例) 第1学年 「印象に残るシンボルマーク『I'm fine』」など</p> <p>○ 第2・3学年では、思考ツール「マッピング」、「9マスの図」、「ペーパー」を紹介している。</p> <p>○ 第2・3学年では、発想や構想を助ける特集ページ「発想を広げる」を設けている。</p> <p>○ 作家の作品の解説としては、作品名、素材、大きさ、制作年、所蔵先、作者名を掲載している。</p> <p>○ 生徒の作品の解説としては、作品名、素材、大きさ、作者の言葉を掲載している。</p> <p>○ ウェブコンテンツを利用できる題材には、QRコードを付している。QRコードから、教材ごとに関連するウェブコンテンツを利用できるようになっている。</p> <p>(第1学年20箇所、第2・3学年25箇所 計45箇所)</p>	<p>○ 各学年の鑑賞題材は、「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」の表現領域の題材と共に掲載されている。</p> <p>○ 第1学年 サイズ A4ワイド判 重さ 約338g 第2・3学年上 サイズ A4ワイド判 重さ 約294g 第2・3学年下 サイズ A4ワイド判 重さ 約274g</p> <p>○ 発想や構想の方法などを示すコーナーを設け、第1学年では3題材、第2・3学年上では2題材、第2・3学年下では2題材で、発想や構想を助ける内容を掲載している。</p> <p>○ 生徒や作家の作品と共に「作者の言葉」を掲載している。作家の言葉は10題材で紹介されている。 (例) 第2・3学年下 池田学など</p> <p>○ 生徒のアイデアスケッチやレポートが14題材で紹介されている。 (例) 第2・3学年下 「イメージを追い求めて『人生』」など</p> <p>○ 第1学年では、思考ツール「マッピング」を紹介している。</p> <p>○ 第1学年では、発想や構想を助ける特集ページ「発想・構想の手立て」を設けている。</p> <p>○ 作家の作品の解説としては、作品名、素材、大きさ、制作年、所蔵先、作者名を掲載している。</p> <p>○ 生徒の作品の解説としては、作品名、素材、大きさ、作者の言葉を掲載している。</p> <p>○ ウェブコンテンツを利用できる題材には、QRコードを付している。QRコードから、ウェブコンテンツが一覧となったページを利用できるようになっている。</p> <p>(第1学年10箇所、第2・3学年上9箇所、第2・3学年下7箇所 計26箇所)</p>
観点	<p>⑥ 発想し構想することに関する内容</p>		
観点	<p>⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p> <p>観点4 内容の表現・表記</p>		

観点	発行者			
観点5 言語活動の充実	⑤意見を述べ合ったり、批評し合ったりするなどの学習活動の示し方と具体例	開隆堂出版	光村図書出版	日本文教出版
	<p>○ 発想・構想の場面で意見を述べ合ったり、鑑賞の場面で自分の価値意識をもって批評し合ったりする学習活動を設定している。</p> <p>【発想・構想の場面】</p> <p>(例) 第1学年「形と色彩のメッセージ」など</p> <p>(例) 第2・3学年「ピクトグラムとサイン計画」など</p> <p>【鑑賞の場面】</p> <p>(例) 第1学年「機能と美しさの調和」など</p> <p>(例) 第2・3学年「美術で世界と向き合う」など</p> <p>○ 友達と意見交換しながら、作品を制作したり、話し合ったりする言語活動場面を、写真を付けて示している。</p> <p>第1学年 7箇所</p> <p>第2・3学年 2箇所</p> <p>○ 生徒作品の観察レポート、商品企画書やアイデアスケッチ等、言語活動例を示している。</p> <p>第1学年 2箇所</p> <p>第2・3学年 3箇所</p>	<p>○ 発想・構想の場面で意見を述べ合ったり、鑑賞の場面で自分の価値意識をもって批評し合ったりする学習活動を設定している。</p> <p>【発想・構想の場面】</p> <p>(例) 第1学年「生活をいろどる文様」など</p> <p>(例) 第2・3学年「あれ? どうなっているの」など</p> <p>【鑑賞の場面】</p> <p>(例) 第1学年「世界の仮面と出会う」など</p> <p>(例) 第2・3学年「グルニカ、明日への願い」など</p> <p>○ 友達と意見交換しながら、作品を制作したり、話し合ったりする言語活動場面を、写真を付けて示している。</p> <p>第1学年 7箇所</p> <p>第2・3学年 6箇所</p> <p>○ 生徒作品の観察レポート、商品企画書やアイデアスケッチ等、言語活動例を示している。</p> <p>第1学年 6箇所</p> <p>第2・3学年 18箇所</p> <p>○ 第2・3学年「学習を支えるための資料」に、特集「発想を広げる」を設け、言語活動を行う際の方法や手順を示している。</p>	<p>○ 発想・構想の場面で意見を述べ合ったり、鑑賞の場面で自分の価値意識をもって批評し合ったりする学習活動を設定している。</p> <p>【発想・構想の場面】</p> <p>(例) 第1学年「広がる模様の世界」など</p> <p>(例) 第2・3学年「魅力を伝えるパッケージ」など</p> <p>【鑑賞の場面】</p> <p>(例) 第1学年「自然の美しさから生まれた」など</p> <p>(例) 第2・3学年「あの日を忘れない」など</p> <p>○ 友達と意見交換しながら、作品を制作したり、話し合ったりする言語活動場面を、写真で示している。</p> <p>第1学年 7箇所</p> <p>第2・3学年上 4箇所</p> <p>第2・3学年下 11箇所</p> <p>○ 生徒作品の観察レポート、商品企画書やアイデアスケッチ等、言語活動例を示している。</p> <p>第1学年 5箇所</p> <p>第2・3学年上 3箇所</p> <p>第2・3学年下 4箇所</p>	

令和2年7月16日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科【保健体育】種目【保健体育】

代表者

芝山 雅一郎



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [保健体育] 種 目 [保健体育]

2 本市の実態や生徒の状況

○ 本市は、各区にスポーツセンターが設置されているとともに、全国大会を開催することができる陸上競技場や体育館等の施設が充実しており、プロをはじめ、トップレベルのスポーツチームが数多くあることから、優れたプレーを間近に観戦できる地域である。また、近年は「平成30年7月豪雨」をはじめと、自然災害が多く発生していることから、災害への知識と備えが必要な地域でもある。

○ 平成31年度の「全国体力・運動能力・運動習慣調査」によると、本市の生徒の体力の実態は、同調査の全国平均及び平成21年度の本市平均と比較すると、筋持久力、柔軟性、敏捷性などに改善が見られるが、筋力、全身持久力に課題が見られる。また、運動することが好きな生徒が多い一方、習得した知識や技能を活用して課題解決することや、学習したことを相手に分かりやすく伝えようとすることが課題である。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 運動や健康・安全に関する知識・技能の定着を図るための工夫 ② 他の小単元や分野等と関連付けて、基礎知識を深めるための工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 習得した知識や技能を活用して課題解決につなげるための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
＜言語活動の充実＞	⑧ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫

1 教科 [保健体育] 種 目 [保健体育]
 2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	発行者			
	東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
① 運動や健康、安全に関する知識・技能の定着を図るための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。また、巻末で「キーワードの解説」として用語の説明を示している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、見開き両端にその説明を掲載している。 ○ 各章末の「確認の問題」で、知識・技能の習得を確認する問題を設けている。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「ポイントマーク」を付している。また、「読み物」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」の章末資料で、体力の要素を体力を高める運動例と、行う目安との関係で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の右下に示すとともに、本文中に太文字で強調している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、星印と数字のルビを振り、本文下にその説明を掲載している。 ○ 各章末の「学習のまとめ」で、学習内容を整理して示している。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「よみ取るマーク」を付している。また、「コラム」、「事例」、「ほり下げる」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 「運動やスポーツの体と心への効果」の特設ページ「クローズアップ」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、体力向上のための計画を立てる学習活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の右上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。また、巻末で「用語の解説」として用語の説明を示している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、丸番号のルビを振り、本文近くにその説明を掲載している。 ○ 各章末の「章のまとめ」で、知識・技能の習得を確認する「知識・技能の確認問題」を設けている。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、資料を読みとるためのポイントとして、「よみ取るマーク」を付している。また、「コラム」、「事例」、「ほり下げる」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 「運動やスポーツの体と心への効果」の特設ページ「クローズアップ」で、体力の要素を体づくり運動との関係で示すとともに、体力向上のための計画を立てる学習活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各小単元の左上に示すとともに、本文中に太文字で強調している。 ○ 説明が必要な本文の用語に、四角番号のルビを振り、各ページ右側にその説明を掲載している。 ○ 各章末の「確かめよう」で、知識・技能の習得を確認する問題を設けている。 ○ 各小単元で学習内容に関連した「資料」が示されており、また、「コラム」、「情報サプリ」で学習内容に関連した話題や読み物資料を示している。 ○ 巻末資料で体力の測定とその活用例を示している。
② 他の小単元や分野等と関連付けて、基礎知識を深めるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の小単元や分野等と関連がある学習内容について、「リンクマーク」、「他教科マーク」で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の小単元や分野等と関連がある学習内容について、「リンクマーク」、「他教科マーク」で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の小単元や分野等と関連がある学習内容について、「関連マーク」、「他教科マーク」で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の小単元や分野等と関連がある学習内容について、「関連マーク」で示している。また、巻末で「キーワードで見える保健体育の学習内容」として、他の小単元や分野等との関連を整理している。

観点	視点	発行者	大修館書店	学研教育みらい
<p>観点 2 主体的に学習に取り組む工夫</p>	<p>③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫</p> <p>④ 習得した知識や技能を活用して課題解決につなげるための工夫</p>	<p>大日本図書</p> <p>○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を12ページにわたり掲載している。</p> <p>○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、目次、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。</p> <p>○ 学習の流れを「学習のねらい」、「つかもう」、本文、「やってみよう」、(話し合ってみよう)、(調べてみよう)、「活用して深めよう」として、見通しを持たせよう示している。</p>	<p>大修館書店</p> <p>○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を8ページにわたり掲載している。</p> <p>○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、目次、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。</p> <p>○ 学習の流れを「きょうの学習」、「課題をつかむ(意見を出そう)」、「(やってみよう)」、「(振り返ろう)」、「(考えよう)」、「(話しあおう)」、本文、「学習のまとめ(確認しよう)」、「(発表しよう)」、「(生かそう)」、「(話しあおう)」として、見通しを持たせよう示している。</p> <p>○ 各章末の「章のまとめ」に、学習を振り返って自己評価をするための「学習の振り返り」を設けている。</p>	<p>学研教育みらい</p> <p>○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を10ページにわたり掲載している。</p> <p>○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、小学校と高等学校で関連する学習内容を示している。</p> <p>○ 学習の流れを「学習の目標」、「課題をつかむ」、本文、「考える・調べる」、「まとめる・深める」として、見通しを持たせよう示している。</p> <p>○ 各章末の「章のまとめ」に、学習した内容を振り返り、自己評価をするための「振り返ろう」を設けている。</p> <p>○ 各小単元の「まとめる・深める」で、学習のまとめとして目標を立てたり、人に伝えたり、さらに考えたりするなどして深め、実生活につなげることができる活動を示している。</p> <p>○ 各章末に、習得した知識や技能を活用して考える「生かそう」を設けるとともに、日常生活に生かしたいことを記述するための「生活への活用」を設けている。また、興味や関心などに応じて学習するための「もっと広げる深める」を5箇所に表示している。</p> <p>○ 「心肺蘇生法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を9箇所示している。</p> <p>○ 小単元「自然災害に備えて、特設ページ」もっと広げる深める、「探究しよう!」で、自然災害による被害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、自然災害発生時の避難行動などを取り上げている。</p>
	<p>東京書籍</p> <p>○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を8ページにわたり掲載している。</p> <p>○ 各章扉の「この章で学習すること」で、学習内容、目次、小学校及び高等学校で関連する学習内容を示している。</p> <p>○ 学習の流れを「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、本文、「発問」、「活用する」、「広げる」として、見通しを持たせよう示している。</p>	<p>大修館書店</p> <p>○ 口絵に、今日的な話題に関わる写真を10箇所示している。</p> <p>○ 小単元「自然災害による被害の防止」について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、避難所生活、地域安全マップの作成などを取り上げている。</p> <p>○ 小単元「災害と環境」で、生活に伴う廃棄物の衛生的管理について示すとともに、災害による衛生環境の悪化や災害に関する情報の活用などを取り上げている。</p>	<p>学研教育みらい</p> <p>○ 「心肺蘇生の方法」等、日常生活で活用するために必要な、実習の具体例を7箇所示している。</p> <p>○ 小単元「自然災害による危険」、「自然災害による被害の防止」、発展「共に生きる」、章末資料で、自然災害による被害の防止について示すとともに、二次災害、緊急地震速報、ハザードマップ、災害伝言ダイヤル、警戒レベル、避難所生活、地域安全マップの作成などを取り上げている。</p>	

		発行者			
観点	視点	東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
観点 3	内容の構成・配列・分量	<p>○ 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、保健編、体育編の順で配列している。</p> <p>○ サイズ AB判 重さ 約410g</p> <p>○ 広島に関連する写真として、「豪雨により川の上に流れる道路(広島市)」、「広島市民球場」を掲載している。</p>	<p>○ 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。</p> <p>○ サイズ AB変形判 重さ 約434g</p>	<p>○ 小単元を、2ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。</p> <p>○ サイズ AB判 重さ 約428g</p> <p>○ 広島に関連する写真として、「カープ菊池選手」、「元サンフレッチェ浅野選手」、「自転車道(福山市)」を掲載している。</p>	<p>○ 小単元を、2ページまたは4ページで構成し、体育編、保健編の順で配列している。</p> <p>○ サイズ AB判 重さ 約420g</p> <p>○ 広島に関連する写真として、「広島市健康科学館」、「大雨(広島市)」、「織田幹夫」、「災害支援(呉市)」を掲載している。</p>
	⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況	<p>○ 「草末資料」、「読み物」等で、「さまざまな自然災害の危険と安全な避難」、「熱中症の予防と手当」など、発展的な内容の資料を18箇所示している。</p>	<p>○ 「トビックス」、「資料」、「(やってみよう)」、「(話してみよう)」、「(調べてみよう)」、「活用して深めよう」のマークを付している。</p>	<p>○ 「特集資料」、「コラム」等で、「気候変動への対策」、「熱中症の予防と応急手当」など、発展的な内容の資料を18箇所示している。</p>	<p>○ 「草末資料」、「コラム」等で、「急な大雨や雷・竜巻から身を守るために」、「熱中症を疑ったときの対応」など、発展的な内容の資料を18箇所示している。</p>
観点 4	内容の表現・表記	<p>○ 各小単元で、本文の記述・内容との関連付けがなされた、「学習課題」、「発問」、「活用する」のマークを付している。</p> <p>○ 「この教科書の使い方」でマークの活用方法を示しており、「キーワード」、「ポイント」、「Dマーク」等、14種類のマークを付している。</p> <p>○ 50件のウェブコンテンツにアクセスできるよう、巻頭にQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「Dマーク」を付している。</p>	<p>○ 各小単元で、本文の記述・内容との関連付けがなされた、「つかもう」、「(やってみよう)」、「(話してみよう)」、「(調べてみよう)」、「活用して深めよう」のマークを付している。</p> <p>○ 「この教科書の使い方」でマークの活用方法を示しており、「資料」、「トビックス」、「WEBマーク」等、17種類のマークを付している。</p> <p>○ 36件のウェブコンテンツにアクセスできるよう、巻頭にQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「WEBマーク」を付している。</p>	<p>○ 各小単元で、本文の記述・内容との関連付けがなされた、「課題をつかむ(意見を出そう)」、「(やってみよう)」、「(振り返ろう)」、「(考えよう)」、「(話しあおう)」、「(生かそう)」、「(話しあおう)」のマークを付している。</p> <p>○ 「この教科書の使い方」で、マークの活用方法を示しており、「キーワード」、「よみ取る」、「WEB保体情報館マーク」等、19種類のマークを付している。</p> <p>○ 30件のウェブコンテンツにアクセスできるよう、巻頭にQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「WEB保体情報館マーク」を付している。</p>	<p>○ 各小単元で、本文の記述・内容との関連付けがなされた、「課題をつかむ」、「考える・調べる」、「まとめる・深める」のマークを付している。</p> <p>○ 「この教科書の使い方」で、マークの活用方法を示しており、「キーワード」、「技能」、「教科書サイトマーク」等、19種類のマークを付している。</p> <p>○ 31件のウェブコンテンツにアクセスできるよう、巻頭にQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「教科書サイトマーク」を付している。</p>

発行者

観点	視点	東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
観点5 言語活動の充実	⑤ コミュニケーション能力や論理的思考力を高めるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「保健体育の学習方法」で、「事例などを用いたディスカッション」、「ブレインストーミング」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「活用する」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」、「ロールプレイング」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」、「ディスカッション」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「課題をつかむ（意見を出そう）」、「やってみよう」、「振り返ろう」、「考えよう」、「話しあおう」；「学習のまとめ（確認しよう）」、「発表しよう」、「生かそう」、「話しあおう」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。 ○ 特設ページ「特集資料」で、自身の経験等を基に話し合ったり、解決方法を考えたりする学習活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「さまざまな学習方法」で、「事例を用いたディスカッション」、「ブレインストーミング」等の言語活動例を、イラストを交えて示している。 ○ 各単元の「考える・調べる」、「まとめる・深める」で、事例を基に、運動や健康・安全に関する課題や解決方法をまとめる学習活動を示している。 ○ 特設ページ「もっと広げる深める」、「探究しようよ！」で、自身の経験等を基に話し合ったり、解決方法を考えたりする学習活動を示している。

令和2年7月20日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科 [技術・家庭] 種目 [技術分野]

代表者 和泉秀夫



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書

- 1 教科 [技術・家庭] 種 目 [技術分野]
 2 本市の実態や生徒の状況

○ 本市は、鉄道や都市高速道路などの交通網が発達し、大型商業施設が誘致され、自動車産業や重工業に関連した多くの工場が立地する中国地方の経済・産業の拠点となっている地域である。
 ○ 生徒は、都市型の生活環境にあつて、世の中の技術に触れる機会が多く、技術分野の学習への関心は高いが、年々、ものづくり体験は少なく、生活体験は個人差が大きくなってきているため、技術と生活や社会、環境との関係について理解し、知的財産を尊重しながら創意・工夫したり、問題解決学習を行ったりする力には課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫 ② 目標や振り返りの示し方の工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 学習過程の工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 題材や資料等の配列・分量 ⑥ 実践的・体験的な学習に関する内容
＜内容の表現・表記＞	⑦ 他教科や日常生活、社会との関連の示し方 ⑧ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
＜言語活動の充実＞	⑨ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫

1 教科 [技術・家庭] 種 目 [技術分野]
 2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

発行 者	
東京書籍	開隆堂出版
<p>① 基本的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。 ○ 基礎的・基本的な技能について、「ラックラボ」として工程ごとに示すとともに、内容「D情報の技術」においては、巻末資料として「コンピュータの基本操作」、「プログラミング」を18ページで掲載している。 ○ 基礎的・基本的な技能のポイントを、「ポイント」マークを付して62箇所掲載している。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況を確認するために、各内容の「学習のまとめ」に「1 学習したことを確かめよう」を設けている。 ○ 学習の参考となる資料や解説を、「資料」マークを付して42箇所掲載している。 【掲載例】 ・ 鋼の熱処理 ・ 天然の水産資源を守るための工夫 ・ 新幹線の技術 ・ 無線 LAN にご用心</p>	<p>○ 基本的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。 ○ 基礎的・基本的な技能について、製作過程に沿って概要を示し、別冊の「技術ハンドブック」として工程ごとに掲載するとともに、内容「D情報の技術」においては、別冊に8ページで掲載している。 ○ 基礎的・基本的な技能のポイントを、「基礎技能」マークを付して42箇所掲載している。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況を確認するために、各内容の「編のまとめ」に評価問題を設けている。 ○ 学習の参考となる資料や解説を、「もっと知ろう」マークを付して39箇所（うち、技術ハンドブック4箇所）掲載している。 【掲載例】 ・ 地震への対応 ・ 乳牛の飼育実習 ・ 生活の中にある機械の動作の例 ・ 写真からならぬ、撮影場所がわかるのか？</p>
<p>② 学習の目標を「目標」で示すとともに、「キーワード」で関連する語句を示している。また、「まとめよう」や「生活に生かそう」で学習の振り返りを行い、6段階で自己評価できる欄を設けている。 ・ 目標の数 100個 ・ キーワードの数 133個 ・ 振り返りの数 56個</p>	<p>○ 学習の目標を「学習の目標」で示すとともに、各内容の終わりの「学習のまとめ」で「科学的原理・法則」として関連する語句をまとめられている。また、「振り返り」で学習の振り返りを行い、3段階で自己評価できるチェック欄を設けている。 ・ 目標の数 99個 ・ キーワードの数 113個 ・ 振り返りの数 54個</p>

観点	観点	発行者	開隆堂出版
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫	<p>東京書籍</p> <p>○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、「技術の天祥」マークを付して、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 学習内容と関わりのある話題を「技術の匠」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。</p> <p>○ 問題解決の具体例に、「問題の発見」、「課題の設定」、「問題の発見」、「部品の表」、「製作の手順」、「私の工夫」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。</p> <p>【リモコンラックの例】</p> <p><問題の発見> 部屋の中でリモコンを紛失してしまふ。</p> <p><課題の設定> リモコンを立てかけて置いておくラックによって、決められた場所に取り納できるようにする。</p>	<p>○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、「トレードオフ」マークを付して、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 学習内容と関わりのある話題を「探究」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。</p> <p>○ 問題解決の具体例に、「問題の発見」、「課題の設定」、「設計・製作」、「評価・改善」、「構想図」、「部品の表」、「さまざまな課題解決の方法例」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。また、「問題の発見」に「社会とのつながり」を併せて示すことで、生徒が自らの問題を見出す際の、社会とのつながりの考え方を例示している。</p> <p>【安全性を重視したふみ台の例】</p> <p><問題の発見> 幼い家族は洗面台に届かないので、以前使っていたいすの上に乗って顔を洗っていましたが、高さがあっておらず危険です。また、いすが壊れそうです。</p> <p><社会とのつながり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児が安全に使用できる。【安全性の追求】 ・ 幼児が持ち運びやすい。【利便性の追求】 ・ 幼児が乗りやすい。【機能性の追求】 <p><課題の設定> 安全に使えるふみ台を製作して、顔を洗えるようにしよう。</p> <p><振り返りの視点> (評価・改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に使えるふみ台となったか。 ・ 持ち運びやすい作りになっているか。 ・ 乗りやすいか。
観点3 学習過程の工夫	④ 学習過程の工夫	<p>教育図書</p> <p>○ 技術の見方・考え方に気付いたり、働かせたりしながら学習を進めることができるように、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 学習内容と関わりのある話題を「技ピット」、「センパイ」に聞いてみよう」のコーナーに掲載し、学習に生かせるようにしている。</p> <p>○ 問題解決の具体例に、「問題を発見する」、「目的や条件をもとに構想を考える」、「構想を具体化する」、「設計をまとめる」を示し、生徒が問題解決を行う際の見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりすることについて例示している。</p> <p>【ショベルカーのモデルの例】</p> <p><問題を見出す> 効率よくものを拾って運ぶためには、どのような装置にするとよいかな。</p> <p><目的や条件をもとに構想を考える> 今回は、コンローラを使ってロボットを動かそう。また、4速ギヤボックスを使った構想を考えてみよう。</p> <p>○ 各内容とも「やってみよう」、「編のまとめ」の項目で学習を振り返り、これからの技術について考える内容を設けている。</p> <p>○ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、内容A～Dとは別に巨編「夢をかなええる技術」を設け、統合的な問題解決の学習について具体的に例示している。</p>	<p>○ 技術分野の学習過程の要素である「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3つ全てを巻頭「技術分野の学習の流れ」において示し、各要素について4コマ漫画を使って説明するとともに、学習の流れのイメージ図を掲載している。</p> <p>○ 社会での問題解決の例を、学習の流れのイメージ図と同じ形式で示している。</p> <p>○ 各内容とも「学習を振り返ろう」の項目で学習した課題解決と生活や社会とのつながりについて考える内容を設けている。</p> <p>○ 第3学年で扱う統合的な問題解決については、内容「D情報の技術」の中に、内容「B生物育成の技術」との統合実習例を掲載し、統合的な問題解決の学習について具体的に例示している。</p> <p>○ 内容A～Dを学習した後に「技術分野の学習をふり返り、私たちの未来へつなげよう」を掲載し、技術の学習を振り返るとともに、持続可能な社会の構築に向けて、主体的に技術に関わる態度や、技術を工夫し創造する態度について確認できるようにしている。</p>

観点	観点	発行者	発行
観点3 内容の構成・配列・分量	<p>⑤ 題材や資料等の配列・分量</p> <p>○ 総ページ数 306ページ 「生活や社会を支える技術」に関する分量 80ページ 「技術による問題解決」に関する分量 137ページ</p> <p>○ 「社会の発展と技術」に関する分量 30ページ 「知的財産の活用・創造」を掲載し、技術と知的財産について具体例を示している。</p> <p>○ 広島に関連する写真を1点扱っている。</p> <p>【写真】 ・ 創造アイデアロボットコンテスト広島県代表</p> <p>○ サイズ AB判 重さ 約610g</p>	<p>教育図書</p> <p>○ 総ページ数 352ページ (うち技術ハンドブック 42ページ) 「生活や社会を支える技術」に関する分量 100ページ 「技術による問題解決」に関する分量 164ページ (うち技術ハンドブック 38ページ)</p> <p>○ 「社会の発展と技術」に関する分量 16ページ</p> <p>○ 広島に関連する情報を1点扱っている。</p> <p>【情報】 ・ 巻末資料「博物館に行ってみよう！」で名称を紹介している (広島平和記念資料館) と「広島大学総合博物館」</p> <p>○ (本紙) サイズ A4変型 (204×264mm) 重さ 約625g (別冊) サイズ A4変型 (193×264mm) 重さ 約110g</p>	<p>開隆堂出版</p> <p>○ 総ページ数 302ページ 「生活や社会を支える技術」に関する分量 118ページ 「技術による問題解決」に関する分量 114ページ</p> <p>○ 「社会の発展と技術」に関する分量 16ページ 各内容の終わりにコラムを掲載し、技術と知的財産や倫理について具体例を示している。</p> <p>○ 広島に関連する写真を2点、資料を1点扱っている。</p> <p>【写真】 ・ 参考資料「世界最大規模の製鉄所 (福山市) の工場の様子」 ・ 巻末資料「日本各地の伝統的な技・材料・工夫Map」の「広島編」</p> <p>【資料】 ・ 参考資料「世界最大規模の製鉄所 (福山市)」 サイズ AB判 重さ 約570g</p>
観点 実践的・体験的な学習に関する内容	<p>⑥ 実践的・体験的な学習の具体例の合計 (39)</p> <p>【内容「A材料と加工の技術」の具体例の数 (8)】 ・ リモコンラック ・ トラッシュボックス ・ 飾り棚 ・ プリント整理箱 ・ ロッカー整理棚 ・ タブレットスタンド ・ 絵本ラック</p> <p>【内容「B生物育成の技術」の具体例の数 (8)】 ・ ナス ・ ジャガイモ ・ ダイコン ・ イネ ・ ラッカセイ ・ リーフレタス ・ パンジー ・ イチゴ</p> <p>【内容「Cエネルギー変換の技術」の具体例の数 (5)】 ・ 携帯型扇風機 ・ 冷蔵庫開けっ放し報知器 ・ 自動点灯LEDライト ・ 自動車の乗降装置 ・ さくらんぼ収穫ロボット</p> <p>【内容「D情報の技術」の具体例の数 (12)】 ネットワークを利用した双方向性のある問題の解決 (6) ・ 地域紹介翻訳システム ・ 防災マップ ・ クラス伝言板システム ・ 学校内チャットシステム ・ 施設確認システム ・ 中学校物知り博士</p> <p>計測・制御のプログラミングによる問題の解決 (6) ・ 熱中症予防システム ・ 音笛システム ・ ロボット掃除機のモデル ・ 冷蔵庫開閉チャェンカー ・ 福祉車両のモデル ・ さくらんぼ自動収穫ロボット</p> <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (6)】 ・ 忘れ物防止システム ・ 地震時避難誘導システム ・ 自動車サポートシステム ・ ドローン配送システム ・ トラック物流システム ・ 自動かん水システム</p>	<p>実践的・体験的な学習の具体例の合計 (32)</p> <p>【内容「A材料と加工の技術」の具体例の数 (9)】 ・ 不思議な本立て ・ バンチングメタルスタンド ・ 調味料ホルダー ・ 便利なプランターラック ・ ハーフエクスマホスタンド ・ リモコンスタンドつき本立て ・ 小物ボックス ・ 2列小物スタンド ・ 2段小物ラック</p> <p>【内容「B生物育成の技術」の具体例の数 (6)】 ・ ペピーリーフ ・ ミニダイコン ・ ミニトマト ・ コマツナナの鉢栽培 ・ キュウリのプランター栽培 ・ 低温処理によるチャェンリーフとパンジーの寄せ植え</p> <p>【内容「Cエネルギー変換の技術」の具体例の数 (6)】 ・ カンタンライト ・ ばくばくカム ・ ショベルカーのモデル ・ 災害時に役立つライト ・ コロコロコースター ・ ライトつきメモゲネスタンド</p> <p>【内容「D情報の技術」の具体例の数 (9)】 ・ 追いかけてゲーム ・ 数当てゲーム ネットワークを利用した双方向性のある問題の解決 (4) ・ 簡単チャットのプログラミング ・ 単車チャット ・ PTAバザーの案内マップ ・ 両方向性の蓄積クイズ</p> <p>計測・制御のプログラミングによる問題の解決 (8) ・ 自動点灯・消灯ライト ・ 自動かん水機 ・ いろいろ問題解決</p> <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (2)】 ・ 2足歩行ロボット ・ パッテリチャェンジャー</p>	<p>実践的・体験的な学習の具体例の合計 (29)</p> <p>【内容「A材料と加工の技術」の具体例の数 (7)】 ・ 一枚の板で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック ・ 規格材で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック ・ 安全性を重視したふみ台 ・ 調理スペースが広がる調味料ラック ・ 見ばえよく植物を収納する鉢入れ ・ 機能性を重視したカレンダーつきメモホルダー</p> <p>【内容「B生物育成の技術」の具体例の数 (8)】 ・ 甘みのあるミニトマトの栽培 ・ リーフレタスの葉栽培 ・ ラディッシュの容器栽培 ・ チャェンリーの促成栽培 ・ ドジョウの養殖 (水産生物の栽培) の具体例 ・ スギ人工林の育成</p> <p>【内容「Cエネルギー変換の技術」の具体例の数 (5)】 ・ 非常時に光る防災用ライト ・ 介助用ロボット・コンテスタを考えた設計 ・ 持ち運べるLEDライトスタンド ・ お手軽クリナー ・ 音声増幅器</p> <p>【内容「D情報の技術」の具体例の数 (8)】 ネットワークを利用した双方向性のある問題の解決 (5) ・ コンテンツのプログラミングによる問題の解決 ・ 安心して使えるメッセージ交換アプリ ・ ネット対戦型タイピング練習 ・ 防災地図アプリ ・ ルート検索アプリ ・ 英単語の発音チェックアプリ</p> <p>計測・制御のプログラミングによる問題の解決 (3) ・ 立ち入り禁止エリアを判断する金属回収ロボット ・ 自宅のセキュリティ対策・モニタリングによる防犯 ・ 自分の動きを計測するトレーニング補助装置</p> <p>【統合的な問題解決の具体例の数 (1)】 ・ ミニ植物工場 (生物育成と数の統合) - コマツナナの苗の育成</p> <p>※ 内容「D情報の技術」の問題解決として位置づいている。</p>

観点	東京書籍	教育図書	開隆堂出版
視点	⑦ 他教科や日常生活、社会との関連の示し方	⑧ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方	
観点	<p>○ 小学校で学習した内容や、中学校の他教科で学習する内容との関連については、その記載があるページに小学校マークや他教科マーク、リンクマーク、Dリンクマークを付すとともに、教科、学年、単元を示している。</p> <p>【関連が示されている教科等の数】</p> <p><小学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会 (2) ・算数 (1) ・理科 (5) ・図画工作 (1) <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語 (1) ・社会 (1) ・数学 (4) ・理科 (23) ・保健体育 (1) ・家庭 (4) ・道徳 (5) <p>○ 各内容の最初のページに、「他教科とのつながり」として、小学校や中学校他教科の学習内容との関連を示している。</p> <p>○ 日常生活における身近な物や、社会にある物を写真で示している。</p> <p>【掲載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒机 ・消しゴム ・ビニルハウス ・植物工場 ・ドライヤー ・扇風機 ・信号機 ・スマートフォン 	<p>○ 小学校で学習した内容や、中学校の他教科で学習する内容との関連については、各章の最初にリンクマークを付すとともに、校種、教科を示している。</p> <p>【関連が示されている教科等の数】</p> <p><小学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語 (1) ・社会 (2) ・算数 (2) ・理科 (4) ・生活 (1) ・図画工作 (2) ・総合 (1) <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語 (1) ・社会 (7) ・数学 (1) ・理科 (8) ・音楽 (1) ・美術 (1) ・保健体育 (3) ・家庭 (2) ・道徳 (2) ・総合 (1) <p>○ 日常生活における身近な物や、社会にある物を写真で示している。</p> <p>【掲載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁当箱 ・ペットボトル ・ビニルハウス ・扇風機 ・自転車 ・スマートフォン ・ノートパソコン 	<p>○ 小学校で学習した内容や、中学校の他教科で学習する内容との関連については、その記載があるページに小学校マークや他教科マークを付すとともに、教科、学年、単元を示している。</p> <p>【関連が示されている教科等の数】</p> <p><小学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会 (2) ・算数 (2) ・理科 (4) ・外国語 (1) ・プログラミング (1) <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語 (1) ・社会 (3) ・数学 (1) ・理科 (9) ・美術 (1) <p>○ 各内容の最初のページに、「小学校との関連」、「中学校他教科との関連」として、小学校や中学校他教科の学習内容との関連を示している。</p> <p>○ 日常生活における身近な物や、社会にある物を写真で示している。</p> <p>【掲載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和り箸 ・ペットボトル ・ビニルハウス ・植物工場 ・掃除機 ・自転車 ・スマートフォン ・エアコン
視点	<p>○ キヤラクターや吹き出しを使い、学習を進める際のポイントやヒントを示している。</p> <p>○ 作業等で安全や衛生に気を付ける箇所について、「安全」マークを25箇所、「衛生」マークを13箇所に付している。</p> <p>○ 環境に配慮することに関連する学習内容について、「環境」マークを12箇所示している。</p> <p>○ 災害に備えることに関連する学習内容について、「防災」マークを11箇所示している。</p> <p>○ 各内容の最初のページと巻末の「Dマークコンテンツ一覧」の右上に掲載しているQRコード(5箇所)を読み取ることで、学習内容と関連する動画や資料などがまとめられたウェブコンテンツの目次ページにアクセスできる。</p> <p>○ 工具や作業の説明において、生徒の視線に近い視点で撮影された写真を掲載している。</p>	<p>○ キヤラクターや吹き出しを使い、学習を進める際のポイントやヒントを示している。</p> <p>○ 作業等で安全や衛生に気を付ける箇所について、「安全」マークを45箇所(うち、技術ハンドブック20箇所)、「衛生」マークを8箇所(うち、技術ハンドブック1箇所)に付している。</p> <p>○ 環境に配慮することに関連する学習内容について、「環境」マークを8箇所示している。</p> <p>○ 災害に備えることに関連する学習内容について、「防災」マークを2箇所示している。</p> <p>○ 各内容の題材例や、技術ハンドブックの基礎技能のページの右上に掲載しているQRコード(58箇所、うち技術ハンドブック15箇所)を読み取ることで、その各内容と関連する動画や画像などがまとめられたウェブコンテンツにアクセスできる。</p> <p>○ 工具や作業の説明において、生徒の視線に近い視点で撮影された写真を掲載している。</p>	<p>○ キヤラクターや吹き出しを使い、学習を進める際のポイントやヒントを示している。</p> <p>○ 作業等で安全に気を付ける箇所について、「安全」マークを23箇所に付している。</p> <p>○ 環境や資源、エネルギーに配慮することに関連する学習内容について、「環境」マークを22箇所示している。</p> <p>○ 災害に備えることに関連する学習内容について、「防災」マークを8箇所示している。</p> <p>○ それぞれのページの右下に掲載しているQRコード(56箇所)を読み取ることで、各項目の学習内容と関連する動画や資料などが掲載されたウェブコンテンツに直接アクセスできる。</p> <p>○ 工具や作業の説明において、生徒の視線に近い視点で撮影された写真を掲載している。</p>

発行者

東京書籍

教育図書

開隆堂出版

視点
観点

⑤ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫
観点5 言語活動の充実

○ 「活動」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「語し合ってみよう」のマークを付し、言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動を促している。
【マークの数と具体例】
・活動(26) ・調べてみよう(9) ・やってみよう(9)
・考えてみよう(32) ・話し合ってみよう(8)

内容等	具体例
A材料と加工	等角図で描かれた立体を第三角法による正投影図で表現しよう。 生物育成の技術による問題解決を基に、生産者と消費者の両方の立場に立って、農薬の使用について話し合ってみよう。
B生物育成	電源として利用しているコンセントと電池には、どのような違いがあるのでしょうか。それぞれの特徴をまとめてみましょう。
Cエネルギー変換	インターネットや自動的に仕事をする機器などによって、生活や社会はどのように便利になったか考えよう。
D情報	身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ、発表しよう。

○ 「ブレレンストレーミング」や「K法」のルールや方法について説明し、学習活動に取り入れることができるようにしている。

○ 「やってみよう」のマークを付し、言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動を促している。
【マークの数と具体例】
・やってみよう(61)

内容	具体例
A材料と加工	自分が設計をして製作した作品を、グループで発表しよう！ 育ててみたい作物やその品種などを調べてかこう。また、その作物を育てる時の目標もかこう。
B生物育成	巻末の設計計画表に記入してみよう。 生活の中で、並行して複数の処理を進める例を考えて、アクティビティ図で表そう。
Cエネルギー変換	
D情報	

○ 「ブレレンストレーミング」や「K法」のルールや方法について説明し、学習活動に取り入れることができるようにしている。

○ 「課題」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「確認してみよう」、「やってみよう」のマークを掲載し、言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動を促している。
【マークの数と具体例】
・課題(37) ・調べてみよう(25) ・考えてみよう(19)
・話し合ってみよう(19) ・確認してみよう(1)
・やってみよう(3)

内容等	具体例
A材料と加工	製作の計画を立ててみよう。作業時間と完成に至るまでの作業内容を考えて、工程表を作りましよう。 本来は夏に収穫されるトマトを、季節を問わず一年中食べられるようにするために、どのような工夫がされているだろうか。
B生物育成	エネルギー変換の技術における「技術の光と影」の例を調べ、影の部分を小さくしながら光の部分を活用できるような使い方について話し合ってみよう。 単純な絵を添えて、それをかく手順を文章や箇条書きで説明してみよう。次にその文章だけを他の人に見せて、絵をかくてもらおう。
Cエネルギー変換	
D情報	

○ 「ブレレンストレーミング」や「K法」のルールや方法について説明し、学習活動に取り入れることができるようにしている。

令和2年7月20日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科【技術・家庭】種目【家庭分野】

代表者

溝下明美 

令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [技術・家庭] 種 目 [家庭分野]

2 本市の実態や生徒の状況

<p>○ 本市は、大型商業施設やコンビニエンスストアが多くある地域がある一方、スーパーマーケットが近くにないという地域もあり、保護者や生徒の生活様式や価値観の多様化が見られる。また、山や川、豊かな自然環境に恵まれるとともに、太田川のデルタ地形に位置し、ほぼ全域に土砂災害危険区域または高潮・津波浸水想定区域があり、これまでも「平成30年7月豪雨」をはじめとした、自然災害が多く発生していることから、災害への知識と備えが必要な地域でもある。</p> <p>○ 技術・家庭科部会のアンケートによると、本市の生徒は、家庭分野の学習内容に興味・関心が高いものの、実生活の中にある問題をあまり感じておらず、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだし、その課題を自分の手で解決しようとする意欲に乏しく、学校で学んだ知識や技能を家庭生活に積極的に生かすことが十分できていないという課題がある。</p>

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	<p>① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p>
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	<p>② 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫</p> <p>③ 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための示し方</p>
＜内容の構成・配列・分量＞	<p>④ 題材や資料等の配列・分量</p> <p>⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための資料</p>
＜内容の表現・表記＞	<p>⑥ 他教科や小学校の学習内容との関連の示し方</p> <p>⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p> <p>⑧ 「持続可能な開発目標」を意識させるための表記</p>
＜言語活動の充実＞	<p>⑨ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p>

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の特徴・研究報告書

1. 教科 [技術・家庭] 種 目 [家庭分野]
 2. 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観 点	発 行 者		
	東京書籍	教育図書	開隆堂出版
視 点 ① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭のガイダンスの中で、家庭分野の学習の目標を示している。また、欄ごとに目標を示している。 ○ 学習の目標、導入課題、本文と展開し、節ごとに「まとめよう」で、学習内容のまとめと自己評価をする欄を設けている。 ○ 学習内容の確認ができるように、編ごとに「学習のまとめ」を設けている。 ○ 学習する内容の関連を「リンク」マークとともに、ページ、題材名を示している。 ○ ページ下部に「せいかつメモ」として学習内容に関する様々な情報を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭のガイダンスの中で、家庭分野の学習の目標を示している。 ○ 学習の目標、導入課題、本文と展開し、節ごとに「ふり返り」で、学習内容の確認とまとめをする欄を設けている。 ○ 学習内容の確認ができるように、編ごとに「学習のふり返り」を設けている。 ○ 学習する内容が、異なる内容と関連する場合は、「リンク」マークとともに、ページ、題材名を示している。また、同じ内容と関連する場合は、文章内にページ数を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭のガイダンスの中で、家庭分野の学習の内容を示している。 ○ 学習の目標、導入課題、本文と展開し、章ごとに「ふりかえり」で、学習内容の確認とまとめをする欄を設けている。 ○ 学習内容の確認ができるように、編ごとに「学習のまとめ」を設けている。 ○ 学習する内容が、異なる内容と関連する場合は、「リンク」マークとともに、ページ、題材名を示している。また、同じ内容と関連する場合は、文章内にページ数を示している。 ○ ページ下部に「豆知識」として学習内容に関する様々な情報を記載している。
視 点 ② 興味・関心を持たせ見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野のガイダンスにおいて、学習の進め方がイメージできるように、「問題を解決する筋道—家庭分野の学習の進め方—」を示している。 ○ 各編の最初に、「小学校家庭科での学習」と「この編で学ぶこと」を学習の流れに沿って示している。 ○ 編末の「学習のまとめ」に「3 生活に生かそう」を設け、生徒が学習したことを実生活に生かせるようにしている。 ○ 発展的な学習については、各学習に関連する内容に「発展」のマークを付し、9例示している。 ○ 巻末に「生活の課題と実践」をまとめて示しており、「生活の課題と実践の進め方」として、「問題を解決する筋道」と関連させている。また、課題の決め方、まとめ方の例を示している。 【「生活の課題と実践」の例：12例】 【まとめ方の例】 ・レポート ・ポスター ・新聞形式 ・コンピュータ ○ 「家庭分野の学習を終えて」に、今後の生活や学習につなげるための振り返りを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「自分の課題をもって学習に取り組もう！」において、学習の進め方がイメージできるように、「課題解決学習の流れ」を用いて示している。 ○ 各内容の最初に、「自立度チェック」を設け、今の自分を振り返ることができるようにしている。 ○ 編末に「学びを生かそう」を設け、「課題設定のヒント」や「私の課題の例」として、課題の設定例と取り組み方の流れを示している。 ○ 発展的な学習については、各学習に関連する内容に「発展」のマークを付し、7例示している。 ○ 巻末に「生活の課題と実践」をまとめて示しており、「生活の課題と実践」の学習の流れを課題解決の流れと関連させている。 【「生活の課題と実践」の例：8例】 ○ 「家庭分野の学習をふり返ろう」に、各編についての振り返りを記述する欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野のガイダンスにおいて、学習の進め方がイメージできるように「主体的・対話的で深い学びをしよう」を示している。 ○ 各内容の最初のページに、「学習前に、今のあなたの興味・関心を書きましよう。」と「学習を終えて、何に関心を持ちましたか。」の記述欄を設け、学習前と学習後の比較ができるようにしている。 ○ 編末に「ふり返り」や「生活にいかそう」を設け、学習した内容を振り返り、実生活に即した学習ができる問いを設けている。 ○ 発展的な学習については、各学習に関連する内容に「発展」のマークを付し、9例示している。 ○ 巻末に「生活の課題と実践」をまとめて示しており、「生活の課題と実践の進め方」として学習の流れを示している。また、実践のまとめ方の例を示している。 【「生活の課題と実践」の課題例：12例】 【まとめ方の例】 ・レポート ・ワークシート ・新聞やポスター ・プレゼンテーションソフト ・ポッドキャスト ・作品 ○ 「学んだことを次に生かそう！」に、3年間の学びをこれからの自分に生かしていくための記述を掲載している。

発行 者	
東京書籍	教育図書
<p>③ 「生活の営みに係る見方・考え方の」の例や対応するマークを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「協力・励励」 ・「健康・快適・安全」 ・「生活文化の継承・創造」 ・「持続可能な社会の構築」 <p>○ 各編の最初に、学習の中で使う「生活の営みに係る見方・考え方の」の視点とそれに対応するマークを示している。</p>	<p>○ 家庭分野のガイダンスにおいて、「生活の見方・考え方」を「生活を見つめる視点」として整理して示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「快適・安全・健康」 ・「家族や地域の人とのかかわり」 ・「生活文化」 <p>○ 家庭分野のガイダンスにおいて、「本書の特色」として、内容ごとの生活の見方・考え方を軸かせる例を示している。</p>
<p>④ 題材や資料等の配列・分量</p>	<p>○ 内容の配列は、ガイダンス → A 家族・地域 → B 食生活・衣生活・住生活 → C 消費生活と環境 → 生活の課題と実践の順で配列している。</p> <p>○ 「プロに聞く」で、学習内容に関連する職業に就いている人からのメッセージを16個掲載している。</p> <p>○ 災害への備えに関する学習には「防災」マークを付しており、A 家族・地域、B 衣生活・住生活において扱っている。</p> <p>○ 巻末付録に「防災・減災手帳」と「子どもの視界体験眼鏡」を設けている。</p> <p>○ 広島に関する記載が5カ所ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしまそだちの写真 ・広島かきの写真 ・カキの土手鍋の写真 ・備後餅の写真 ・安芸郡能登町の生徒の写真（幼児と触れ合おう） <p>○ サイズ AB判 重量 約605g</p>
<p>観点3 内容の構成・配列・分量</p>	<p>○ 内容の配列は、ガイダンス → A 家族・地域 → B 食生活・衣生活・住生活 → C 消費生活と環境 → 生活の課題と実践の順で配列している。</p> <p>○ 「先輩からのエール」で、学習内容に関連する職業に就いている人からのメッセージを18個掲載している。</p> <p>○ 災害への備えに関する学習には「防災」マークを付しており、A 家族・地域、B 衣生活・住生活において扱っている。</p> <p>○ 巻末の折り込みページに、防災・減災についてまとめた「災害から『いのちと生活』を守るために」を設けている。</p> <p>○ 広島に関する記載が4カ所ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島菜の文字 ・広島菜の写真 ・牡蠣の土手鍋の写真 ・官島細工（しやもじ）の写真 <p>○ サイズ AB判 重量 約567g</p>

観点	観点3 内容の構成・配列・分量	観点4 内容の表現・表記	視点 ⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための資料	発行者 東京書籍	教育図書	開隆堂出版
	<p>○ 野菜・いもの調理、肉の調理、魚の調理の順に、実習例を45例と、幼児のおやつ7例を示している。 (蒸し料理の例) ・おた肉と野菜の重ね蒸し・蒸しどりのごまだれ ・蒸し野菜のサラダ・野菜の蒸しパン(蒸し器) (だしを使った和食の例) ・具だくさんみそ汁・野菜の焼き浸し ・キャベツと油揚げのみそ汁・かきたま汁 ・いりどり(がめ煮、筑前煮)</p> <p>○ 調理手順の中に「ポイント」マークを付し、調理上でのポイントを示している。</p> <p>○ 調理実習例とともに、組み合わせ例とその作り方も示している。</p> <p>○ 布を用いた製作について、実習例を16例と衣服のリフォーム例を5例示している。</p> <p>○ 幼児との触れ合い体験の実習について、3事例示している。</p> <p>○ 家庭分野のガイダンスにおいて、内容ごとに、小学校と中学校での学習内容を示している。</p> <p>○ 中学校の各教科等の学習内容との関連については「他教科」マークを付し、教科名、題材概要を示している。</p> <p>○ 他の学習項目や技術分野など、関連する内容のものには「リンク」マークを付している。</p> <p>○ 「小学校」マークを付し、小学校家庭科での学習内容をキーワードで示している。</p> <p>○ 巻末に各教科とのつながりをまとめている。 【関連の個数(Dマークでのリンク含む)計58個 ・小学校(18)・国語(1)・書写(1) ・社会【地理】(6)・社会【公民】(4)・数学(1) ・理科(2)・美術(2)・保健(6) ・技術(4)・道徳(13)</p>	<p>○ 肉の調理、魚の調理、野菜の調理の順に、実習例を44例と、幼児のおやつ5例、災害時の調理例を示している。 (蒸し料理の例) ・シェウマイ(蒸し器) ・魚のホイル蒸し・蒸し野菜サラダ ・蒸しパン(蒸し器) (だしを使った和食の例) ・肉じゃが・筑前煮(しいたけ)・ひじきのいため煮 ・かきたま汁・卵焼き</p> <p>○ 調理手順の中に「ポイント」マークを付し、調理上でのポイントを示している。</p> <p>○ 調理実習例とともに、「私のアレンジ」や組み合わせ例を示している。</p> <p>○ 布を用いた製作について、実習例を7例示している。</p> <p>○ 幼児との触れ合い体験の実習について、3事例示している。</p> <p>○ 中学校の各教科等の学習内容や小学校の各教科等の学習内容との関連、および家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては「リンク」マークを付し、教科名、題材概要を示している。</p> <p>○ 「小学校」マークを付し、小学校家庭科での学習内容とのつながりを「リンク」マークで示している。 【関連の個数】計46個 ・小学校(23)・社会【地理】(2)・社会【公民】(2) ・理科【第1分野】(1)・理科【第2分野】(3)・保健(5) ・技術(5)・道徳(5)</p>	<p>○ 肉の調理、魚の調理、野菜の調理、あと1品つくってみよう(副菜、汁物、電子レンジ調理)、おやつやデザート)の順に、実習例を43例示している。 (蒸し料理の例) ・蒸し野菜のサラダ(蒸し器) ・米粉蒸しパン(蒸し器)・プリン (だしを使った和食の例) ・だいこんのみそ汁 ・青菜の卵とじ ・大豆とひじきの煮もの ・なめこのみそ汁 ・かきたま汁・とん汁 ・えのきと油揚げのみそ汁 ・筑前煮(しいたけ) ・かぼちやの煮もの</p> <p>○ 調理手順の中に「Q1」や「Q2」などを付し、それに対応した調理のポイントを「調理方法のQA」の形で示し、「なぜ〜?」と考えさせるように示している。</p> <p>○ 調理実習例とともに、組み合わせ例とその作り方も示している。</p> <p>○ 視覚的・科学的に捉え、実感を伴って学習できるように、栄養素を調べる実験を設けている。</p> <p>○ 布を用いた製作について、実習例を9例示している。</p> <p>○ 幼児との触れ合い体験の実習について、5事例示している。</p> <p>○ 家庭分野のガイダンスにおいて、小学校と中学校での学習内容を、地域や社会との関連(空間軸)やこれまでもとこれから(時間軸)と関連させて示している。</p> <p>○ 中学校の各教科等の学習内容や技術分野との関連については「他教科」、「他分野」マークを右ページ上部に付し、教科名、題材概要を示している。</p> <p>○ 他の学習項目や技術分野など、関連する内容のものには「リンク」マークを付している。</p> <p>○ 「小学校での学び」の欄を設け、小学校家庭科での学習内容を短文で解説している。 【関連の個数】計93個 ・小学校(21)・社会【地理】(17)・社会【歴史】(1) ・社会【公民】(16)・理科【第1分野】(3) ・理科【第2分野】(4)・保健(11)・技術(10) ・道徳(3)・特活(4)・総合(3)</p>			
			<p>⑥ 他教科や小学校の学習内容との関連の示し方</p>			

観点	視点	東京書籍	教育図書	開隆堂出版
観点4 内容の表現・表記	<p>① 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方</p> <p>⑧ 「持続可能な開発目標」を意識させるための表記</p>	<p>○ イラストやキャラクターの吹き出し、囲み、図解等で、学習内容の注意事項や考えのヒントを示している。</p> <p>○ 見開きになっている調理実習のページでは、完成した写真が右ページ上部に配置している。</p> <p>○ 6つの基礎食品群の例を写真とともに、1群25例、2群13例、3群23例、4群35例、5群17例、6群10例示している。</p> <p>○ 食品群別摂取量のめやすの食物大の例を写真とともに26例示している。</p> <p>○ 野菜の切り方の例を9種類示しており、大根の輪切りから、更に他の切り方を写真とともに掲載している。</p> <p>○ 学習に関連する動画やシミュレーションなどのウェブコンテンツが、「Dマーク」で示されている。「Dマーク」で見ることのできるコンテンツ一覧を掲載し、1つのQRコードを読み取ることのできるコンテンツと関連する動画や資料などがまとめられたウェブコンテンツの目次ページにアクセスできる。</p> <p>○ 裏見返しに見開きで、SDGsの17の目標のマークを示すとともに「C編消費生活・環境」の「持続可能な消費生活を目指して」において、SDGsについての記載がある。</p> <p>○ 各編の最後に(5編を除く)、「持続可能な○○」を目標としている章を設け、これからの学習を深められるようにしている。</p>	<p>○ イラストや6人のキャラクターの吹き出し、囲み、図解等で、学習内容の注意事項や考えのヒントを示している。</p> <p>○ 見開きになっている調理実習のページでは、完成した写真が左ページ上部に配置している。</p> <p>○ 6つの基礎食品群の例を写真とともに、1群33例、2群12例、3群20例、4群37例、5群18例、6群10例示している。</p> <p>○ 食品群別摂取量のめやすの食物大の例を写真とともに36例示している。</p> <p>○ 野菜の切り方の例が、野菜の種類ごとに17種類示してある。また、切った後の野菜の食物大写真を掲載している。</p> <p>○ 学習に関連する動画やホームページを参照できるQRコードが、右ページ上部に示されている。QRコードを読み取ることによって、学習内容と関連する動画や資料などがまとめられたウェブコンテンツの章ごとの目次ページにアクセスできる。</p> <p>○ 「C編消費生活・環境」の最初のページに見開きで、SDGsの17の目標のマークを示すとともに、持続可能な社会を目指すための取組について考える活動を設けている。</p>	<p>○ 大きなイラストやキャラクターの吹き出し、囲み、図解等で、学習内容の注意事項や考えのヒントを示している。</p> <p>○ 「体に入った栄養素のゆくえ」では、見開き2ページを使い、消化吸収される仕組みを、大きなイラストで視覚的に理解ができるようにしている。</p> <p>○ 見開きになっている調理実習のページでは、完成した写真が左ページ上部に配置している。</p> <p>○ 6つの基礎食品群の例を写真とともに、1群12例、2群7例、3群11例、4群14例、5群8例、6群11例示している。</p> <p>○ 食品群別摂取量のめやすの食物大の例を写真とともに38例示している。</p> <p>○ 野菜の切り方の例を、使用する野菜の名前とともに9種類示している。また、1本のきゅうりから7種類の切り方を写真で示している。</p> <p>○ 学習に関連する動画やホームページが参照できる内容にはQRコードが付いてあり、それに対応したQRコードが右ページ下部に示されている。QRコードを読み取ることによって、QRマークに対応した内容に関する動画や資料などが掲載されたウェブコンテンツに直接アクセスできる。</p> <p>○ ガイダンスでSDGsの17の目標のマークを示すとともに、「C編消費生活と環境」の「世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造」において、SDGsについての記載がある。</p> <p>○ 各題材の最後に、持続可能な社会をテーマとして、それぞれの学習内容と関わり深いSDGsの目標を具体的に取り上げ、話し合わせる活動を設け、これからの学習を深められるようにしている。</p>
観点5 言語活動の充実	<p>⑨ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p>	<p>○ 各節の冒頭に、「考えてみよう」や「話し合ってみよう」などの導入課題を示し、自分の生活を見つめるきっかけを設けている。</p> <p>【導入課題の例】</p> <p>・ あなたは最近、どこでどんな買い物をしましたか。振り返って挙げましょう。</p> <p>○ 「活動」マークを付し、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする言語活動を取り上げている。</p> <p>・ 「活動」 43例</p>	<p>○ 各節の冒頭に、学習の導入として、キャラクターの対話を示し、自分の生活を見つめるきっかけを設けている。</p> <p>【キャラクターの対話の例】</p> <p>Aくん: お店の入に話しかけられるのが苦手で、服は通販を利用しているよ。</p> <p>Bさん: 私はお店の人と話すの大好き！試着してから買ったいな！</p> <p>Cさん: あなたは、どこで、どんなふうに買うのが好き？</p> <p>○ 「考えてみよう」や「話し合ってみよう」などのマークを付し、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする言語活動を取り上げている。</p> <p>・ 「考えてみよう」 32例 ・ 「話し合ってみよう」 25例</p> <p>・ 「調べてみよう」 14例 ・ 「発表しよう」 4例</p> <p>・ 「まとめてみよう」 2例</p>	<p>○ 各節の冒頭に、二重線の枠で示された「思い出してみよう」や「考えてみよう」などの導入課題を示し、自分の生活を見つめるきっかけを設けている。</p> <p>【導入課題の例】</p> <p>・ スニーカーが欲しいとき、あなたはどのようなところで購入しますか。それはなぜですか。</p> <p>○ 「考えてみよう」や「話し合ってみよう」などのマークを付し、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする言語活動を取り上げている。</p> <p>・ 「考えてみよう」 14例 ・ 「話し合ってみよう」 18例</p> <p>・ 「やってみよう」 13例 ・ 「発表しよう」 7例</p>

令和2年7月20日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科 [外国語] 種目 [英語]

代表者

大下武彦



令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [外国語] 種 目 [英語]

2 本市の実態や生徒の状況

○ 本市は、国際平和文化都市であり、外国から多くの人々が平和記念公園や原爆ドーム等を訪れる地域である。本市では、平成22年度より「ひろしま型カリキュラム」の1つとして、先行して小学校第5学年から「聞くこと」「話すこと」を中心に学習する英語科を実施しており、中学校における外国語科への円滑な接続を図ってきた。さらに、平成30年度より「自分のことばで世界に平和を語れる広島人の育成」を旨指す「国際人」のイメージとして掲げ、英語授業の充実、英語を使う場の創出、小中連携の3つの柱において、教育方法の研究・開発を進めるとともに、外国語科の指導体制を見直し、生徒の英語運用能力の育成を図っている。

○ 平成31年度の「全国学力・学習状況調査」によると、本市の生徒の学力の実態として、「聞くこと」については、おおむね学習内容は定着しているが、「読むこと」については、まとまりのある文章を読んで説明文等の大切な部分を理解すること、また「書くこと」については、与えられた情報に基づいて正確に書くこと、自分の考えや意見を書くことに課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 言語に関する理解を深めるための工夫 ② 第1学年導入期における小学校外国語科からの接続の工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次になげたりするための工夫 ④ 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量
<内容の表現・表記>	⑥ 他教科や日常生活との関連の示し方 ⑦ 本文の記述・内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方や巻末資料の工夫
<言語活動の充実>	⑧ コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた、複数の領域を統合した言語活動の工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書

1 教科 [外国語] 種 目 [英語]

2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	東京書籍	開隆堂出版	三省堂	教育出版	光村図書出版	新興出版社啓林館
① 言語に関する理解を深めるための工夫	<p>○ 新出単語は、第1学年では、ア・クセント表記とともに、第2・3学年では、発音記号とともに示している。</p> <p>○ 基本本文は、各学年、各単元の最初のパートの本文の後に、「2コマ漫画の会話文内」に示している。</p> <p>○ 各単元は、主に以下のような構成となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Scenes (2コママンガでの新出表現導入・言語活動) ・Think (本文読み取り) ・Mini Activity (領域を統合した活動) ・Read & Think 1, 2 (本文読み取り・練習) ・Unit Activity (領域を統合した活動) <p>○ 基本本文のまともめは、各学年の巻末資料の「Key Sentence」に、英語と日本語で示している。第3学年は、第1・2学年の基本本文も英語で示している。</p> <p>○ 音声に関わる事項は、該当ページの下部の「発音」等に示している。また、第1学年の巻末資料「発音と文字」に、発音の仕方とルールを示している。</p>	<p>○ 新出単語は、各学年でアクセント表記とともに示している。</p> <p>○ 基本本文は、各学年、各単元の最初のパートの本文の後に、「2コマ漫画の会話文内」に示している。</p> <p>○ 各単元は、主に以下のような構成となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Scenes (2コママンガでの新出表現導入・言語活動) ・Think (本文読み取り) ・Retell (本文を自分のことばで再現) ・Interact (自己表現活動) ・英語のしくみ (学習事項のまともめ) <p>○ 基本本文のまともめは、各学年の巻末資料の「Scenesのまともめ」に、英語と日本語で示している。</p> <p>○ 音声に関わる事項は、各ページの下部の「発音」に示している。また、各学年の巻末資料「発音と文字」等に示している。また、第1学年の巻末資料「発音と文字」に、発音の仕方とルールを示している。</p>	<p>○ 新出単語は、第1学年では、ア・クセント表記とともに、第2・3学年では、発音記号とともに示している。</p> <p>○ 基本本文は、各学年、各単元の最初のパートの本文の後に、「POINT」として、示している。</p> <p>○ 各単元は、主に以下のような構成となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Get (本文読み取り・新出表現の導入) ・Use Read (本文読み取り) ・Use Speak/Write (自己表現活動) ・Take Action! ・Get Plus ・文法のまともめ (学習事項のまともめ) <p>○ 基本本文のまともめは、各学年の巻末資料の「基本本文のまともめ」に、英語と日本語で示している。また、第2・3学年は、前年度までの基本本文も英語で示している。</p> <p>○ 音声に関わる事項は、第1・2学年の巻末付録「Sounds」に、つづりと発音のルール等を示している。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Starter 1」に、アルファベットや小学校で習った表現について、「聞く・話す(やり取り)」活動を扱っている。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Starter 1」や巻末付録の「Sounds つづりと発音」に、発音の練習、発音の発音記号と発音のルールを示している。</p> <p>○ 第1学年の巻末資料「いろいろな単語」に、日本語の意味を表記した一覧を、小学校で学習した語に星マークを付けて掲載している。</p>	<p>○ 新出単語は、第1学年では、ア・クセント表記とともに、第2・3学年では、発音記号とともに示している。</p> <p>○ 基本本文は、各学年、各単元の各パートの本文の後に、「Key Sentences」として、示している。</p> <p>○ 各単元は、主に以下のような構成となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Part 1 (本文読み取り・新出表現の導入・言語活動) ・Part 2 (本文読み取り・新出表現の導入・言語活動) ・Part 3 (本文読み取り・新出表現の導入・言語活動) ・Review (本文内容の確認) ・Task (領域を統合した活動) ・Grammar (学習事項のまともめ) <p>○ 基本本文のまともめは、各学年の巻末資料の「重要語文復習リスト」に、英語と日本語で示している。また、第2・3学年は、前年度までの基本本文も英語と日本語で示している。</p> <p>○ 音声に関わる事項は、各ページの左ページの下部の「音のつながり」に、「発音」等に示している。また、第1学年の巻末付録「つづりと発音」に、つづりと発音のルールを示している。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Springboard」に、アルファベットや小学校で習った表現について、「聞く・話す(やり取り)」活動を扱っている。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Springboard 3」や巻末付録の「つづりと発音」に、発音の練習、発音記号と例を示している。</p> <p>○ 第1学年の巻末資料「Word List①」に、小学校で学習した語の一覧を、日本語の意味とともに掲載している。また、赤マスキングシートで英語を隠せるように示している。</p>	<p>○ 新出単語は、第1学年では、ア・クセント表記とともに、第2・3学年では、発音記号とともに示している。</p> <p>○ 基本本文は、各学年、各単元各パートの本文の後に、「基本本文」として、示している。</p> <p>○ 各単元は、主に以下のような構成となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Part 1 (本文読み取り・言語活動・新出表現の導入) ・Part 2 (本文読み取り・言語活動・新出表現の導入) ・Part 3 (本文読み取り・言語活動・新出表現の導入) ・Goal (領域を統合した活動) ・Active Grammar (学習事項のまともめ) <p>○ 基本本文のまともめは、各学年の巻末資料の「基本本文のまともめ」に、英語と日本語で示している。</p> <p>○ 音声に関わる事項は、各ページの右ページの下部に、オーディオマークを付けて示している。また、第2・3学年の巻末付録「音声のまともめ」に、つづりと発音のルールを示している。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Let's Be Friends! 7」に、アルファベットや小学校で習った表現について、「聞く・話す(やり取り)・書く」活動を扱っている。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Let's Be Friends! 7」に、英語の音とつづりや発音の仕方を示している。</p> <p>○ 第1学年の巻末付録「Word List」に、第1学年の巻頭「Let's Be Friends!」等の単語を掲載している。</p>	<p>○ 新出単語は、第1学年では、ア・クセント表記とともに、第2・3学年では、発音記号とともに示している。</p> <p>○ 基本本文は、各学年、各単元各パートの本文の後に、「Target」として、示している。</p> <p>○ 各単元は、主に以下のような構成となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Part 1 (本文読み取り・新出表現の導入・言語活動) ・Part 2 (本文読み取り・新出表現の導入・言語活動) ・Part 3 (本文読み取り・新出表現の導入・言語活動) ・Read & Think (本文の読み取り) <p>○ 基本本文のまともめは、各学年の巻末資料の「基本本文のまともめ」に、英語と日本語で示している。</p> <p>○ 音声に関わる事項は、各ページの左ページの下部に、オーディオマークを付けて示している。また、第2・3学年の巻末付録「音声のまともめ」に、つづりと発音のルールを示している。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Let's Start」に、アルファベットや小学校で習った表現について、「聞く・話す(発音)・読む・書く」活動を扱っている。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Let's Start ④、⑤」や巻末付録の「英語のつづりと発音」に、発音の聞き取りや練習、文字・単語の例・発音の仕方を示している。</p> <p>○ 第1学年の巻末付録「Word Box」に、小学校で学習した語の一覧を、日本語の意味とともに、グループ別に掲載している。</p>
② 第1学年導入における小学校英語科	<p>○ 第1学年の巻頭「Unit 0」に、小学校で習った表現について、「聞く・話す(やり取り)」活動や、アルファベットの名前と音の確認を扱っている。また、小学校で習った表現等とわかる「小」マークで示している。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Unit 0」のPart 2や、巻末資料の「英語の音と文字」に、発音記号と発音の仕方を示している。</p> <p>○ 各学年の巻末資料「小学校の単語」に、発音記号、日本語の意味を表記した一覧を、アルファベット順に掲載している。</p>	<p>○ 第1学年の巻頭「Springboard」に、アルファベットや小学校で習った表現について、「聞く・話す(やり取り)」活動を扱っている。</p> <p>○ 第1学年の巻末資料「Word List①」に、日本語の意味を表記した一覧を、小学校で学習した語に星マークを付けて掲載している。</p>	<p>○ 第1学年の巻頭「Starter 1」に、アルファベットや小学校で習った表現について、「聞く・話す(やり取り)」活動を扱っている。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Starter 1」や巻末付録の「Sounds つづりと発音」に、発音の練習、発音の発音記号と発音のルールを示している。</p> <p>○ 第1学年の巻末資料「いろいろな単語」に、日本語の意味を表記した一覧を、小学校で学習した語に星マークを付けて掲載している。</p>	<p>○ 第1学年の巻頭「Springboard 3」や巻末付録の「つづりと発音」に、発音の練習、発音記号と例を示している。</p> <p>○ 第1学年の巻末資料「Word List①」に、日本語の意味を表記した一覧を、日本語の意味とともに掲載している。また、赤マスキングシートで英語を隠せるように示している。</p>	<p>○ 第1学年の巻頭「Let's Be Friends! 7」に、アルファベットや小学校で習った表現について、「聞く・話す(やり取り)・書く」活動を扱っている。</p> <p>○ 第1学年の巻頭「Let's Be Friends! 7」に、英語の音とつづりや発音の仕方を示している。</p> <p>○ 第1学年の巻末付録「Word List」に、第1学年の巻頭「Let's Be Friends!」等の単語を掲載している。</p>	<p>○ 第1学年の巻頭「Let's Start ④、⑤」や巻末付録の「英語のつづりと発音」に、発音の聞き取りや練習、文字・単語の例・発音の仕方を示している。</p> <p>○ 第1学年の巻末付録「Word Box」に、小学校で学習した語の一覧を、日本語の意味とともに、グループ別に掲載している。</p>

観点	東京書籍	開隆堂出版	三省堂	教育出版	光村図書出版	新興出版社啓林館
<p>③ 興味・関心を持たせ、異議を立てたり、学習を振り返って次につなげたり</p> <p>④ 主体的に学習に取り組む工夫</p>	<p>○ 「学習をふり返ろう-CAN-DO リスト」を裏返しに掲載しており、小学校から高等学校を含め、前学年、当該学年、次学年の目標を示している。また、Stage を3つに分け、自己評価できるようにしている。</p> <p>○ 単元の目標を、「～する」の形で、扉に日本語で示している。また、「で」と活動について、「～することができる」の形で、扉に日本語で示している。また、単元の終末に、生徒が目標について自己評価する箇所を設けている。</p> <p>○ 第3学年の Let's Read 1 「A Mother's Lullaby」で、広島の原爆や、オバマ大統領の来広について扱っている。</p> <p>○ 各単元の「Unit Activity」に、おもてなしプランをメールで知らせるなどの場面を設定し、生徒が考えて「話す・書く」活動を設けている。</p> <p>○ 各単元の「Let's Write」及び「Let's Talk」に、ホテルで苦情を言う、雑誌の記事への意見を書くなどの場面を設定し、自己表現活動を設けている。</p> <p>○ 第1学年の巻末に、授業中の指示などのクラスルームイングリッシュを31例示している。</p>	<p>○ 「英語で『できる』ようになったこと」リストを巻末資料に掲載しており、各学年、3年間での到達目標を示している。また、「で」の到達目標を示している。また、「できる」ようにしている。</p> <p>○ 単元の目標を、「USE」パートごとに、「～しよう」の形で、扉に日本語で示している。</p> <p>○ 第2学年の PROGRAM 8 「A Hope for Lasting Peace」で、佐々木禎子さんと折り鶴について扱っている。</p> <p>○ 各単元の「Interact」に、修学旅行で行ってみたい場所などの場面を設定し、生徒が考えて「話す・書く」活動を設けている。</p> <p>○ 各学年4～6回の「Power-Up」及び各学年5～7回の「Steps」に、文の内容を整理し、書いたりするなどの場面を設定し、自己表現活動を行っている。</p> <p>○ 第1学年の巻頭に、授業中の指示などのクラスルームイングリッシュを12例示している。</p>	<p>○ 「What Can I do?」を裏返しに掲載しており、各学年、3年間での到達目標を示している。</p> <p>○ 単元の目標を、「USE」パートごとに、「～しよう」の形で、扉に日本語で示している。</p> <p>○ 第3学年の Lesson 3 「The Story of Sadako」で、佐々木禎子さんについて扱っている。</p> <p>○ 各単元の「USE」に、20歳の自分へのビデオメッセージを作成するなどの場面を設定し、生徒が考えて「話す・書く」活動を設けている。</p> <p>○ 各学年3～6回の「GET Plus」及び各学年6回の「Take Action」に、演義の仕方を教えるなどの場面を設定し、自己表現活動を行っている。</p> <p>○ 第1学年の巻頭付録に、授業中の指示などのクラスルームイングリッシュを32例示している。</p>	<p>○ 「CAN-DO 自己チェックリスト」を裏返しに掲載しており、前学年、当該学年、次学年の到達目標を示している。また、4段階で示された顔マークを付して、到達度を自己評価できるようにしている。</p> <p>○ 単元の目標を、「Speak about ～」や「Talk and Write about ～」の形で、扉に英語で示している。また、パートごとに、「～しよう」の形で、各ページの上部に、知識・技能等の目標を日本語で示している。さらに、単元の終末に、各目標に対する「ふり返ろう」を設定している。</p> <p>○ 各パートに設定されている知識・技能等に関する目標について、達成度を評価する「Think & Try」を設定している。</p> <p>○ 第3学年の Reading 2 「My Prayer for Peace」で、広島に住んでいる中学生のスピーチを題材として、原爆に遭った少女の語や映画、オバマ大統領の来広について扱っている。</p> <p>○ 各単元、各パートの「Think & Try」に、会話を演じて続きを考えるなどの場面を設定し、生徒が考えて「話す・書く」活動を設けている。また、該当パートの「Useful Expressions (特設コーナー)」に、自己表現のヒントを示している。</p> <p>○ 各学年1～2回の「Useful Expressions (特設ページ)」及び各学年1～4回の「Tips for Speaking」「Tips for Writing」に、観光案内所などの場面を設定し、「話す・書く」技能に関するコツを示すとともに、自己表現活動を設けている。</p> <p>○ 第1学年の巻頭に、授業中の指示などのクラスルームイングリッシュを20例示している。</p>	<p>○ 「CAN-DO List」を巻末付録に掲載しており、学年ごとに、レベルが上がるように到達目標を示している。また、4段階で示された顔マークとチェック欄を付して、到達度を自己評価できるようにしている。</p> <p>○ 単元の目標とそれに関わる技能を、「～することができる」の形で、扉に日本語で示している。また、単元の終末に、目標に対応した「ふり返り」を設けている。</p> <p>○ 第3学年の Unit 3 「Lessons From Hiroshima」や Let's Read 1 「From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi」で、ピースボランテニアや原爆で犠牲になった中学生の日記を扱っている。</p> <p>○ 各単元の「Goal」に、今の自分を伝えるスピーチをするなどの場面を設定し、生徒が考えて「話す・書く」活動を設けている。</p> <p>○ 各単元の「Express Yourself」に、好きな有名人を説明するなどの場面を設定し、生徒が考えて「話す・書く」活動を設けている。</p> <p>○ 各学年4～8回の「Daily Life」及び各単元の「Goal」に、留守番電話などの場面を設定し、自己表現活動を設けている。</p> <p>○ 各学年6～9回の「Let's Talk」に、食事などの場面を設定し、生徒がやり取りするために必要な表現を練習する活動を設けている。</p> <p>○ 各学年の巻頭に、授業中の指示などのクラスルームイングリッシュを、第1学年25例、第2学年16例、第3学年15例示している。</p>	<p>○ 「CAN-DO リスト」を巻末に掲載しており、各学年、3年間での到達目標を示している。また、チェック欄を付して、自己評価できるようにしている。</p> <p>○ 単元の目標を、「～することができる」の形で、第1学年は単元1ページ目の上部に、第2・3学年は扉に日本語で示している。また、パートごとに、「～しよう」の形で、各ページの上部に、知識・技能等の目標を日本語で示している。</p> <p>○ 第3学年の Unit 3 「Passing Down Memories」で、語り部伝承プロジェクトを扱っている。</p> <p>○ 各単元の「Express Yourself」に、好きな有名人を説明するなどの場面を設定し、生徒が考えて「話す・書く」活動を設けている。</p> <p>○ 各学年6～9回の「Let's Talk」に、食事などの場面を設定し、生徒がやり取りするために必要な表現を練習する活動を設けている。</p> <p>○ 各学年の巻頭に、授業中の指示などのクラスルームイングリッシュを、第1学年25例、第2学年16例、第3学年31例示している。</p>

発行者

観点	東京書籍	開隆堂出版	三省堂	教育出版	光村図書出版	新興出版社啓林館
観点3	<p>⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量</p> <p>○ 過去形は、第1学年 Unit 5 (全11) で初出である。</p> <p>○ 受け身は、第2学年 Unit 7 (全7) で初出であり、第3学年 Unit 0 (全6) で再度扱う。</p> <p>○ 現在完了形は、第3学年 Unit 1 (全6) で初出であり、現在完了進行形は第3学年 Unit 2 (全6) で初出である。</p> <p>○ 仮定法は、第3学年 Unit 6 (全6) で初出である。</p> <p>○ 第2・3学年の巻頭「Unit 0」に、前学年の復習ページを設定している。</p> <p>○ 既習の知識・技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動「Our Project」を、各学年2～4単元ごとに配置している。</p> <p>○ 「読む」技能に焦点を当てた活動「Let's Read」を、各学年2～3回配置している。また、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材「Optional Reading」を、各学年2～3回配置している。</p> <p>○ 第1学年 サイズ A4判 重さ 約405g 174ページ</p> <p>第2学年 サイズ A4判 重さ 約390g 166ページ</p> <p>第3学年 サイズ A4判 重さ 約380g 162ページ</p>	<p>○ 過去形は、第1学年 PROGRAM 9 (全10) で初出である。</p> <p>○ 受け身は、第2学年 PROGRAM 6 で初出である。</p> <p>○ 現在完了形は、第2学年 PROGRAM 7 (全8) で初出であり、現在完了進行形は第2学年 PROGRAM 8 (全8) で初出である。</p> <p>○ 仮定法は、第3学年 PROGRAM 7 (全7) で初出である。</p> <p>○ 既習の知識・技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動「Our Project」を、各学年2～4単元ごとに配置している。</p> <p>○ 「読む」技能に焦点を当てた活動「Reading」を、第2学年で3回、第3学年で2回配置している。また、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材「Further Reading」を、第3学年で2回配置している。</p> <p>○ 第1学年 サイズ AB判 重さ 約375g 168ページ</p> <p>第2学年 サイズ AB判 重さ 約360g 168ページ</p> <p>第3学年 サイズ AB判 重さ 約345g 160ページ</p>	<p>○ 過去形は、第1学年 Lesson 6 (全8) で初出である。</p> <p>○ 受け身は、第3学年 Lesson 2 (全7) で初出である。</p> <p>○ 現在完了形は、第2学年 Lesson 6 (全7) で初出であり、現在完了進行形は第3学年 Lesson 1 (全7) で初出である。</p> <p>○ 仮定法は、第3学年 Lesson 6 (全7) で初出である。</p> <p>○ 第2・3学年の巻頭「Starter」に、前学年の復習ページを設定している。</p> <p>○ 既習の知識・技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動「Project」を、各学年2～3単元ごとに配置している。</p> <p>○ 「読む」技能に焦点を当てた活動「Reading for Information」を、各学年2～4回配置している。また、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材「Further Reading」を、各学年1～4回配置している。</p> <p>○ 第1学年 サイズ AB判 重さ 約355g 186ページ</p> <p>第2学年 サイズ AB判 重さ 約340g 182ページ</p> <p>第3学年 サイズ AB判 重さ 約350g 182ページ</p>	<p>○ 過去形は、第1学年 Lesson 4 (全9) で初出である。</p> <p>○ 受け身は、第2学年 Lesson 7 (全9) で初出である。</p> <p>○ 現在完了形は、第3学年 Lesson 1 (全7) で初出であり、現在完了進行形は第3学年 Lesson 2 (全7) で初出である。</p> <p>○ 仮定法は、第3学年 Lesson 5 (全5) で初出である。</p> <p>○ 第2・3学年の「Review Lesson Part」に、前学年の復習ページを設定している。</p> <p>○ 既習の知識・技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動「Project」を、各学年1～7単元ごとに配置している。</p> <p>○ 「読む」技能に焦点を当てた活動「Reading」を、各学年2～3回配置している。また、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材「Further Reading」を、各学年1～4回配置している。</p> <p>○ 第1学年 サイズ AB判 重さ 約365g 170ページ</p> <p>第2学年 サイズ AB判 重さ 約360g 174ページ</p> <p>第3学年 サイズ AB判 重さ 約360g 174ページ</p>	<p>○ 過去形は、第1学年 Unit 7 (全8) で初出である。</p> <p>○ 受け身は、第2学年 Unit 8 (全8) で初出であり、第3学年 Unit 1 (全8) で再度扱う。</p> <p>○ 現在完了形は、第3学年 Unit 2 (全8) で初出であり、現在完了進行形は第3学年 Unit 3 (全8) で初出である。</p> <p>○ 仮定法は、第3学年 Unit 8 (全8) で初出である。</p> <p>○ 既習の知識・技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動「You Can Do It!」を、各学年2～3単元ごとに配置している。</p> <p>○ 「読む」技能に焦点を当てた活動「Let's Read」を、各学年2～3回配置している。また、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材「Let's Read More」を、各学年1～3回配置している。</p> <p>○ 第1学年 サイズ AB判 重さ 約380g 190ページ</p> <p>第2学年 サイズ AB判 重さ 約380g 180ページ</p> <p>第3学年 サイズ AB判 重さ 約380g 188ページ</p>	<p>○ 過去形は、第1学年 Unit 8 (全10) で初出である。</p> <p>○ 受け身は、第2学年 Unit 8 (全8) で初出である。</p> <p>○ 現在完了形は、第3学年 Unit 1 (全6) で初出であり、現在完了進行形は第3学年 Unit 2 (全6) で初出である。</p> <p>○ 仮定法は、第3学年 Unit 6 (全6) で初出である。</p> <p>○ 既習の知識・技能を統合的に扱って発信に結び付ける活動「Project」を、各学年2～3単元ごとに配置している。</p> <p>○ 「読む」技能に焦点を当てた活動「Let's Read」を、各学年1～2回配置している。</p> <p>○ 第1学年 サイズ AB判 重さ 約320g 158ページ</p> <p>第2学年 サイズ AB判 重さ 約340g 166ページ</p> <p>第3学年 サイズ AB判 重さ 約305g 150ページ</p>

観 点	規 点	東 京 書 籍	開 隆 堂 出 版	三 省 堂	教 育 出 版	光 村 図 書 出 版	新 興 出 版 社 登 林 館
観 点 4	④	他教科との関連において、特設ページの「Learning」に、地図や食品表示、情報技術の進歩についての題材を示している。また、「Let's Write」に、グラフや表から読み取った情報をもとに説明する課題等を設定している。	他教科との関連において、特設ページの「Word Web」に、スーパの材料、楽器、家具の名前を英語で示している。また、本文に、広島に送られる折り鶴とその再生から、平和や環境について考える課題等を設定している。	他教科との関連において、特設ページの「Reading for information」に、公園の看板やサラダのレシピなどを題材として示している。また、本文に、環境保護やアメリカの公民権について考える課題等を設定している。	他教科との関連において、本文に、風力発電や太陽光エネルギー等の再生可能エネルギーなどを題材として示している。また、原爆投下後の広島やアメリカ大統領の広島訪問を扱うなど、国際平和について考える課題等を設定している。	他教科との関連において、本文に、自然災害やコミュニケーションなど、AI技術の進歩に伴う日常生活の変化について考える課題等を設定している。	他教科との関連において、第2・3学年の特設ページの「More Information」と本文に、「自然災害、動物の生態などを題材として扱っている。また、表やグラフから読み取ったことを説明する課題等を設定している。
観 点 4	⑤	題材は、SDGsの達成に向けたものとなっており、「絶滅のおそれのある動物たち」、「ラジオの災害情報」などを扱っている。	題材は、SDGsの達成に向けたものとなっており、「Green Festival」、「アルカ・タワー・プロジェクト」などを扱っている。	題材は、SDGsの達成に向けたものとなっており、「Take Action」に競技会場のアナウンスや映画の紹介などの日常生活の場面を扱っている。	題材は、SDGsの達成に向けたものとなっており、「再生可能エネルギー」、「北海道でのオオワシの保護活動」などを扱っている。また、各学年の目次に、単元名とともに、SDGsに関するテーマを示している。	題材は、SDGsの達成に向けたものとなっており、「地震の避難訓練」、「プラスチックゴミによる環境問題」などを扱っている。	題材は、SDGsの達成に向けたものとなっており、「災害に備えて」、「動物の珍しい生態」などを扱っている。
観 点 4	⑥	各学年の特設ページ「Let's Listen」等に、電車の運行情報や店内のアナウンスなどの日常生活の場面を扱っている。	各学年の特設ページ「Power Up」に、レストランでの食事や非常時のアナウンスなどの日常生活の場面を扱っている。	各学年の特設ページ「Take Action」に競技会場のアナウンスや映画の紹介などの日常生活の場面を扱っている。	各学年の特設ページ「Useful Expressions」に、買い物や観光案内所などの日常生活の場面を扱っている。	各学年の特設ページ「Daily Life」に、ラジオの中継やイベントのお知らせなどの日常生活の場面を扱っている。	各学年の特設ページ「Let's Listen」等に、コマニシャルや旅行の準備などの日常生活の場面を扱っている。
観 点 4	⑦	各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。また、第3学年の表見返しに、SDGsに関するテーマを示している。	各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。また、各単元の「Retell」に、再話活動で活用する、場面ごとのイラストや写真を掲載している。	各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。	各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。また、SDGsに関するテーマとなっている。	各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。また、巻末の帯教材に、再話活動で活用する、場面ごとのイラストや写真を掲載している。	各学年の冒頭や各単元で、学習内容のイメージがつかめるようなイラストや写真が示されている。
観 点 4	⑧	各学年、各単元の冒頭と「Scene」と「Read and Think」のパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。	各学年、各単元の「Scenes」、「Think」、「Retell」のパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。	各学年、各単元の「GETI」、「USEI」、「Take Action」のパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。	各学年、各単元の冒頭に、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。	各学年、各単元の冒頭とパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。	各学年、各単元のパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。
観 点 4	⑨	各学年、単元間や巻末に資料として、コミュニケーションに役立つ「Word Room」をイラスト付で収録している。	各学年、巻末資料として、コミュニケーション活動に役立つ「アクションカード」を収録している。	各学年、巻末資料として、日常生活を題材とした「Role-play Sheet」をイラスト付で収録している。	各学年の巻末に、学習した内容を活用し、ペアでの応答や即興的なやり取りや発表をするための話題や語彙を示した「Activities Plus」を、赤マスキングシートを付して収録している。	各学年、巻末資料として、自分や相手のことについて、即興でやり取りするための「Let's Talk」を収録している。	各学年、各単元のパートごとに、ウェブコンテンツへアクセスするQRコードが掲載されている。
観 点 4	⑩	巻末資料の「Optional Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に2～3つ掲載している。	巻末資料の「Further Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、第3学年に2つ掲載している。	巻末資料の「Further Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に1～2つ掲載している。	巻末資料の「Further Reading」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に1～4つ掲載している。	巻末資料の「Let's Read more」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に1～3つ掲載している。	巻末資料の「Let's Read more」に、習熟の程度に応じて扱うことができる読み物教材を、各学年に1～3つ掲載している。


令和2年7月20日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科 [道 徳] 種 目 [道 徳]

代表者

星野和敏 

令和3年度使用広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 調査・研究報告書

1 教科 [道徳] 種 目 [道徳]

2 本市の実態や生徒の状況

○ 本市は、「国際平和文化都市」を都市像とし、被爆者の願いや世界恒久平和を願う市民の心を基底として、人間の尊厳や生命の尊さを自覚し、自己共に大切に、正義感や公正さを重んじ、人と自然の共生する平和な社会を築いていく心を育て、自立して行動する力を養うことを教育の原点とし、広島の子どもたちが、「心身ともにとたくましく思いやりのある人」として、その可能性を最大限に発揮する教育を推進している。道徳教育においては、平成22年度に策定した「規範性をほぐくむための教材・活動プログラム」を平成27年度には「広島市道徳教育プログラム」として改訂し、指導方法の工夫・改善や、学校教育全体を通じた道徳教育のより一層の充実を図る取組を進めてきた。

○ 本市の生徒は、全国学力・学習状況調査や「基礎・基本」定着状況調査の質問紙調査から、自尊意識・規範意識等が全国平均よりも高く、自分を大切にすることを踏まえ、各学校において、「いじめ見逃し0(ゼロ)」を目指し取組を進める中で、いじめの認知件数は増加傾向にある。引き続き、いじめの未然防止に向けた取組を推進するとともに、生徒が当事者として、道徳的な課題に主体的に対処することのできる実効性ある力の育成に取り組むことが必要である。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 道徳科の学び方の示し方 ② 主題名等の示し方
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ④ 体験的な学習を取り入れた工夫 ⑤ 道徳的価値について自分のこととして考え、自己の生き方につなげる工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 取り扱う内容項目の重点化の傾向 ⑦ いじめの問題や現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
<内容の表現・表記>	⑧ 他教科との関連の示し方 ⑨ 教材の内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方
<言語活動の充実>	⑩ 考え、議論するための工夫

令和3年度から使用する中学校用教科用図書調査・研究報告書

1 教科 [特別の教科 道徳] 種 目 [道徳]
 2 調査・研究の観点及び教科用図書の特徴

		発行者				
		東京書籍	光村図書出版	日本教出版	学研教育からい	廣済堂あつぎ
観点	① 道徳科の学び方の示し方	○ 道徳科の学び方のオリエンテーションとして、各学年の巻頭「道徳科で学ぶべきことを深めるために」、学習の流れをイラストや吹き出しとともに示している。	○ 道徳科の学び方のオリエンテーションとして、各学年の巻頭「本書で学ぶ皆さんのために」、教材を通して考えを深めるために、学習の流れをイラストや吹き出しとともに示している。また、「学びをより深めるための手立て」を写真や吹き出しを用いて示している。さらに、「道徳科で学ぶこと」に、道徳科の何を学ぶのかを4コマ漫画を用いて説明するとともに、よりよく生きるために大切なこととして、4つの視点に分類された22の内容項目を示している。	○ 道徳科の学び方のオリエンテーションとして、各学年の巻頭「道徳科での学び方」に、学習の流れをイラストや吹き出しとともに示している。また、「学びをより深めるための手立て」を写真や吹き出しを用いて示している。さらに、「道徳科で学ぶこと」に、道徳科の何を学ぶのかを4コマ漫画を用いて説明するとともに、よりよく生きるために大切なこととして、4つの視点に分類された22の内容項目を示している。	○ 道徳科の学び方のオリエンテーションとして、第1学年の巻頭「自分を見つめよう」、第2学年の巻頭「自分を考えるのばさよう」、第3学年の巻頭「自分をのばさよう」に、道徳科の学び方について、5つのポイントを示している。	○ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末「自分を見つめ、考え、のばさう」に、道徳科の学習において意識する8つのポイントを示している。
観点	② 主題名等の示し方	○ 各学年、各教科の教材名の横及び目次に主題名を示している。	○ 各学年、各教科の教材名は巻頭に、「考えよう」のコーナーを設け、教材のめあてを示している。	○ 各学年、各教科の教材名は巻頭に、「考えよう」のコーナーを設け、教材のめあてを示している。	○ 各学年、各教科の教材名は巻頭に、「考えよう」のコーナーを設け、教材のめあてを示している。	○ 各学年、各教科の教材名は巻頭に、「考えよう」のコーナーを設け、教材のめあてを示している。
観点	③ 問題解決的な学習を取り入れた工夫	○ 問題解決的な学習を通して教材を各学年に掲載し、各教科の終わりに「考えよう」のコーナーに、発問を示すとともに、自分の考えを記入する欄を複数設けている。	○ 問題解決的な学習を通して教材を各学年に掲載し、各教科の終わりに「考えよう」のコーナーに、発問を示すとともに、自分の考えを記入する欄を複数設けている。	○ 問題解決的な学習を通して教材を各学年に掲載し、各教科の終わりに「考えよう」のコーナーに、発問を示すとともに、自分の考えを記入する欄を複数設けている。	○ 問題解決的な学習を通して教材を各学年に掲載し、各教科の終わりに「考えよう」のコーナーに、発問を示すとともに、自分の考えを記入する欄を複数設けている。	○ 問題解決的な学習を通して教材を各学年に掲載し、各教科の終わりに「考えよう」のコーナーに、発問を示すとともに、自分の考えを記入する欄を複数設けている。

視点	東京書籍	教育出版	光村図書出版	日本教育出版社	学研教育出版	廣済堂出版	日本教育出版
④	<p>体験的な学習を促す教材を、各学年、2つ掲載し、直前の教材文に関連した学習「ACTION! (アクション)」に、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、自分の考えを記入する欄とともに示している。</p> <p>【体験的な学習の例】 〔第3学年〕 C 道法精神、公德心 ① 「何コーヒー」で、コーヒー一社が転がって、「私」のズカッタとノット、それぞれの人たちは、どのような気持ちになっただか、下のふき出しに書きましよう。 ② 3人一組になって、「会社員の女性」役、「私」役、「竹内さん」役と、役割を決めましよう。 ③ 役を交替しながら、全員が全ての役を演じましよう。 ④ それぞれの役を演じてみて、気づいたこと、感じたことを書きましよう。 ⑤ コーヒー一社が落ちそうになっているときに、「会社員の女性」と「私」は、本当はどうすればよかったのでしょうか。それを演じて、竹内さんは何と言ったのでしょうか。演じてみましよう。 ⑥ ⑤で考えたことをもとに、3人でそれぞれ役を演じてみましよう。 ⑦ 本当はどうすればよかったかを、クラス全員で話し合いましよう。 ⑧ 今日学習をふり返って、気づいたこと、感じたことについて話し合いましよう。</p>	<p>体験的な学習を促す教材を、各学年、1〜2つ掲載し、教材文の終わりに「やってみよう」のページに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、自分の考えを記入する欄とともに示している。</p> <p>【体験的な学習の例】 〔第3学年〕 B 礼儀 社会にはさまざまなマナーやエチケットがあります。どのようなマナーがあるか、あげてみましよう。 ・ 皆さんがあげた中から、グループで一つの場面を演じてみましよう。そして、演じてみた感想を書きましよう。 これまでは「強くなるための片側をあげる」というのがマナーになっていた。しかし、最近では「歩行禁止」がマナーになりつつあります。なぜ変わってきたのでしょうか。みんなで話し合ってみましよう。</p>	<p>体験的な学習を促す教材を、各学年、1つ掲載し、教材文の終わりに「見方を変えて」のコーナーに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、イラストや吹き出しとともに示している。</p> <p>【体験的な学習の例】 〔二通の手紙〕 〔第3学年〕 C 道法精神、公德心 元さんは、規則を知っていないが、どうして姉弟を動物園の中に入れたのだろうか。 元さんが、「この年になって初めて考えたことだ。たのしかった。元さん、元さん、どうするだろうか。元さんと姉弟を演じて、考えてみよう。演じているのを見ていた人は、元さんと姉弟のやり取りから、どんなことを感じたかを発表しよう。」</p>	<p>体験的な学習を促す教材を、各学年、2つ掲載し、教材文の終わりに「学習の進め方」のページに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、写真とともに示している。別冊「道徳ノート」に自分の考えを記入する欄がある。</p> <p>【体験的な学習の例】 〔出迎え三歩、見送り七歩〕 〔第3学年〕 B 礼儀 お客様を出迎え見送る体験をおして、どのような体験をおして何を考えるのかを示した資料や演技を見るとき意見発表のときのポイントの「学習」を深めるポイントのコーナーに記載している。</p> <p>【体験的な学習の例】 〔第3学年〕 B 相互理解、寛容 ＜考えよう＞ ・ 誰は誰のものにすべきだっただろう。3人の少年アンドン、マイケル、ピート、それ以外の人だろうか。○を付けて、理由を書こう。 ・ 少年たちが誰を誰のものにするか話し合っている場面を演じてみよう。4人組で役割演技を行う。 ① 3人の少年役と仲介役を決める。仲介役は、3人の話を聞き、自分の考えを伝え、解決できるように説得する。3人の少年は自分の立場から考えを話す。 ② 役割を交代する。4人の役を全員が経験できるように繰り返す。 ③ 仲介役の演技を通して考えたことを話し合う。</p>	<p>体験的な学習を促す教材を、各学年、複数掲載し、教材文の終わりに「考えよう」のコーナーに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、イラストや自分の考えを記入する欄とともに示している。</p> <p>【体験的な学習の例】 〔第3学年〕 B 礼儀 高橋健二氏のしぐさを見て、私が見た「美しいもの」とはなんだろう。 ・ 席を譲られた人の心には、何がなければならぬのだろうか。 ・ 礼儀に込めなければならぬ心について考えてみよう。 ・ 老人や赤ん坊を抱いた人、障害のある人等に席を譲るとき、どのようなことに心がけられればよいだろうか。</p>	<p>体験的な学習を促す教材を、各学年、複数掲載し、教材文の終わりに「考えよう」のコーナーに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、イラストや自分の考えを記入する欄とともに示している。</p> <p>【体験的な学習の例】 〔第3学年〕 B 礼儀 次の三つの場面において、「最も礼儀正しいと思う場面」と「最も無礼な場面」とは何でしょうか。(初めに人に会う時/不注意で隣の家の窓ガラスを割って謝罪に行く時/プレゼントを人からもらった時) ・ なぜ礼儀正しいことが大切だとされているのでしょうか。</p>	<p>体験的な学習を促す教材を、複数掲載し、教材文の終わりに「考えよう」のコーナーに、発問や教材の一場面を演じて考えを深める活動を、イラストや自分の考えを記入する欄とともに示している。</p> <p>【体験的な学習の例】 〔第3学年〕 B 礼儀 次の三つの場面において、「最も礼儀正しいと思う場面」と「最も無礼な場面」とは何でしょうか。(初めに人に会う時/不注意で隣の家の窓ガラスを割って謝罪に行く時/プレゼントを人からもらった時) ・ なぜ礼儀正しいことが大切だとされているのでしょうか。</p>
視点	④ 体験的な学習を取り入れた工夫						
観点	観点2 主体的に学習に取り組む工夫						

視点	東京書籍	教誨出版	光文社出版	日本教社版	学研教育みらい	廣済堂かつき	日本図書
<p>⑤ 道徳的価値について自分のこととして考え、自己の生き方につなげる工夫</p>	<p>○ 一つのテーマについて、多面的・多角的に考えることができるよう、各学年3つの教教材で構成した、2つのユニットを設けている。</p> <p>○ 学習の過程で思ったことや考えたことを記入できよう、各教材に「つぶやき」という欄を設けている。</p> <p>○ 学習したことを自己の生き方につなげられるよう、各教材の終わりに「考えよう」や「自分を認めよう」に発問を示している。</p> <p>【発問の具体例】 「二通の手紙」(第3学年) C 遵法精神、公德心(考えよう) 元さんがはげばれとした顔で職場を去ることになったのは、なぜだろう。(自分で見つめよう) 社会の中で規則や決まりを守ることは大切なことだ。なぜだろう。</p>	<p>○ 一つのテーマについて、多面的・多角的に考えることができるよう、各学年複数の教材やコラムで構成した、2つのユニットを設けている。</p> <p>○ 学習したことを自己の生き方につなげられるよう、各教材の終わりに「学びの道しるべ」に発問を示している。</p> <p>【発問の具体例】 「二通の手紙」(第3学年) C 遵法精神、公德心(考えよう) 元さんがはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。</p>	<p>○ 一つのテーマについて、多面的・多角的に考えることができるよう、各学年複数の教材やコラムで構成した、9つのユニットを設けている。</p> <p>○ 学習したことを自己の生き方につなげられるよう、各教材の終わりに「考えよう」や「自分を認めよう」に発問を示している。</p> <p>【発問の具体例】 「二通の手紙」(第3学年) C 遵法精神、公德心(考えよう) 元さんがはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。</p>	<p>○ 一つのテーマについて、多面的・多角的に考えることができるよう、各学年複数の教材やコラムで構成した、2つのユニットを設けている。</p> <p>○ 学習の過程で思ったことや考えたことを記入できよう、各教材に「メモ」という欄を設けている。</p> <p>○ 学習したことを自己の生き方につなげられるよう、各教材の終わりに「考えよう」に発問を示している。</p> <p>【発問の具体例】 「二通の手紙」(第3学年) C 遵法精神、公德心(考えよう) 元さんがはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。</p>	<p>○ 一つのテーマについて、多面的・多角的に考えることができるよう、各学年複数の教材やコラムで構成した、2つのユニットを設けている。</p> <p>○ 学習の過程で思ったことや考えたことを記入できよう、各教材に「メモ」という欄を設けている。</p> <p>○ 学習したことを自己の生き方につなげられるよう、各教材の終わりに「考えよう」に発問を示している。</p> <p>【発問の具体例】 「二通の手紙」(第3学年) C 遵法精神、公德心(考えよう) 元さんがはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。</p>	<p>○ 一つのテーマについて、多面的・多角的に考えることができるよう、各学年複数の教材やコラムで構成した、2つのユニットを設けている。</p> <p>○ 学習の過程で思ったことや考えたことを記入できよう、各教材に「メモ」という欄を設けている。</p> <p>○ 学習したことを自己の生き方につなげられるよう、各教材の終わりに「考えよう」に発問を示している。</p> <p>【発問の具体例】 「二通の手紙」(第3学年) C 遵法精神、公德心(考えよう) 元さんがはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。</p>	<p>○ 一つのテーマについて、多面的・多角的に考えることができるよう、各学年複数の教材やコラムで構成した、2つのユニットを設けている。</p> <p>○ 学習の過程で思ったことや考えたことを記入できよう、各教材に「メモ」という欄を設けている。</p> <p>○ 学習したことを自己の生き方につなげられるよう、各教材の終わりに「考えよう」に発問を示している。</p> <p>【発問の具体例】 「二通の手紙」(第3学年) C 遵法精神、公德心(考えよう) 元さんがはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。 姉弟がはげばれとした顔で職場を去ったのは、なぜだろう。</p>
<p>視点2 主体的に学習に取り組む工夫</p>	<p>○ 学習した内容を広げることのできるよう、各学年、コラム「PLUS(プラス)」を掲載している。</p> <p>○ 自分の成長を感じることもできるよう、「1年間の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返ろう、「自分の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返っている。</p>	<p>○ 学習した内容を広げることのできるよう、各学年、コラム「PLUS(プラス)」を掲載している。</p> <p>○ 自分の成長を感じることもできるよう、「1年間の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返ろう、「自分の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返っている。</p>	<p>○ 学習した内容を広げることのできるよう、各学年、コラム「PLUS(プラス)」を掲載している。</p> <p>○ 自分の成長を感じることもできるよう、「1年間の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返ろう、「自分の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返っている。</p>	<p>○ 学習した内容を広げることのできるよう、各学年、コラム「PLUS(プラス)」を掲載している。</p> <p>○ 自分の成長を感じることもできるよう、「1年間の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返ろう、「自分の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返っている。</p>	<p>○ 学習した内容を広げることのできるよう、各学年、コラム「PLUS(プラス)」を掲載している。</p> <p>○ 自分の成長を感じることもできるよう、「1年間の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返ろう、「自分の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返っている。</p>	<p>○ 学習した内容を広げることのできるよう、各学年、コラム「PLUS(プラス)」を掲載している。</p> <p>○ 自分の成長を感じることもできるよう、「1年間の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返ろう、「自分の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返っている。</p>	<p>○ 学習した内容を広げることのできるよう、各学年、コラム「PLUS(プラス)」を掲載している。</p> <p>○ 自分の成長を感じることもできるよう、「1年間の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返ろう、「自分の学びを振り返ろう」に学年終わりの自分の気持ちを振り返っている。</p>

発行 者		日本放送出版	光村図書出版	教育出版	東京書籍	日本経済新聞
観点 4 内容の表現・表記	④ 他教科との関連の示し方 ⑤ 教材の内容と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方	<p>各学年の巻末「この教科書が目ざした1(2,3)年生の姿」の「他教科・領域との関わり」に関連する教科名や領域を示している。</p> <p>挿絵のある教材 イラストや写真: 106 (内表紙: 8) 各学年、ウェブコンテンツを設けている教材にQRコードを付けている。</p> <p>各学年、巻末「本書で学ぶ皆さんへ」にQRコード、裏表紙にQRコード及びURLを掲載しており、該当学年のウェブコンテンツをアクセスすることができる。また、ウェブコンテンツを設けている教材にQRコードを付けている。</p> <p>各学年、目次にQRコード及びURLを掲載しており、該当学年のウェブコンテンツをアクセスすることができる。</p>	<p>各学年の巻末「内容項目別教材一覧」の「他教科・領域との関わり」に関連する教科名を示している。</p> <p>挿絵のある教材 イラストや写真: 105 (内表紙: 2) 各学年、ウェブコンテンツを設けている教材及び目次にパソコンのマークを付けている。また、各学年の巻末「内容項目別教材一覧」の「デジタル」に、「◎」マークを付けている。</p> <p>各学年、目次にQRコード及びURLを掲載しており、該当学年のウェブコンテンツをアクセスすることができる。</p>	<p>各学年の巻末「内容一覧」の「他教科・領域・現代的な課題等との関わり」に関連する教科名を示している。</p> <p>挿絵のある教材 イラストや写真: 104 (内表紙: 1) 各学年、ウェブコンテンツを設けている教材に、「QR」マークを付けている。</p> <p>各学年、目次にQRコード及びURLを掲載しており、該当学年のウェブコンテンツをアクセスすることができる。</p>	<p>各学年の巻末「内容一覧」の「他教科・領域・現代的な課題等との関わり」に関連する教科名を示している。</p> <p>挿絵のある教材 イラストや写真: 110 (内表紙: 0)</p>	<p>各学年の巻末「内容一覧」の「他教科・領域・現代的な課題等との関わり」に関連する教科名を示している。</p> <p>挿絵のある教材 イラストや写真: 110 (内表紙: 0)</p>
観点 5 言語活動の充実	⑩ 考え、議論するための工夫	<p>各学年の巻末「道徳ノート」に「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p> <p>各学年、「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p>	<p>各学年の巻末「道徳ノート」に「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p> <p>各学年、「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p>	<p>各学年の巻末「道徳ノート」に「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p> <p>各学年、「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p>	<p>各学年の巻末「道徳ノート」に「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p> <p>各学年、「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p>	<p>各学年の巻末「道徳ノート」に「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p> <p>各学年、「学習の進め方」の「学習を深めるヒント」のコーナーに、ふせんやホワイトボードを使って話し合いを深める方法を掲載している。また、写真と吹き出しを用いて「考えを深める視点」を示している。</p>

令和2年度広島市教科用図書採択審議会調査員

教科	番号	職名	名前	所属	
国語	1	校長	山崎 英芳	清和中学校	
	2	教諭	藤得 有希	吉島中学校	
	3	教諭	島中香奈子	国泰寺中学校	
	4	教諭	鍋原 大崇	二葉中学校	
	5	教諭	上村 舞子	仁保中学校	
	6	教諭	丸橋 慶子	宇品中学校	
	7	教諭	石原 剛	己斐上中学校	
	8	教諭	伊藤 優美	祇園中学校	
	9	教諭	藤田 翔	三和中学校	
社会	地図 地理的分野	1	校長	川本 尚樹	観音中学校
		2	教諭	柳澤 理子	江波中学校
		3	教諭	正木 裕一	庚午中学校
		4	教諭	原畑 聖	戸山中学校
		5	教諭	谷 直樹	船越中学校
		6	教諭	爲西 裕基	瀬野川東中学校
		7	教諭	廣瀬 亮太	三和中学校
	歴史的分野	8	教諭	出合光太郎	翠町中学校
		9	教諭	竹岡 宏規	古田中学校
		10	教諭	濱尾 尚則	安佐中学校
		11	教諭	片岡 大	祇園中学校
		12	教諭	石堂 萌子	長束中学校
	公民的分野	13	主幹教諭	松岡 美香	口田中学校
		14	教諭	中原 卓也	早稻田中学校
		15	教諭	二反田昭夫	中広中学校
		16	教諭	有田 悠二	城南中学校
		17	教諭	東歸 達子	祇園東中学校
		18	教諭	塩田 篤司	高取北中学校
		19	教諭	横井 宏祐	東原中学校
数学	1	校長	手賀 剛	早稻田中学校	
	2	教諭	藤井 友樹	牛田中学校	
	3	教諭	山田 洋輔	大州中学校	
	4	教諭	福間 政也	段原中学校	
	5	教諭	荏隈 直子	楠那中学校	
	6	教諭	林 由梨	東原中学校	
	7	教諭	六信祐太郎	亀山中学校	
	8	教諭	光川 武秀	日浦中学校	

教科	番号	職名	名前	所属	
理科	1	校長	福本 隆寿	五日市観音中学校	
	2	教諭	加良 昌愛	幟町中学校	
	3	教諭	金谷 恵	東原中学校	
	4	教諭	兒山 和子	可部中学校	
	5	教諭	山縣 雅樹	亀崎中学校	
	6	教諭	浜中 祐一	三入中学校	
音楽	1	教頭	大片美保子	井口中学校	
	2	教諭	鷹野主 萌	段原中学校	
	3	教諭	八木 謙介	宇品中学校	
	4	教諭	中常 泰彰	観音中学校	
	5	教諭	岡田みなみ	矢野中学校	
	6	教諭	松村 理恵	五月が丘中学校	
美術	1	校長	橋本 忍	祇園東中学校	
	2	教諭	福島 静佳	国泰寺中学校	
	3	教諭	山口 恵	江波中学校	
	4	教諭	中本美奈子	五日市南中学校	
保健体育	1	校長	芝山潤一郎	口田中学校	
	2	教諭	岡 修平	井口中学校	
	3	教諭	奥屋 彰	落合中学校	
	4	教諭	夏木 誠	清和中学校	
	5	教諭	波止元貴士	五日市南中学校	
技術・家庭	技術分野	1	校長	和泉 秀夫	城山中学校
		2	教諭	遠藤 寛喜	二葉中学校
		3	教諭	坂本 雄史	大塚中学校
		4	教諭	保田 賢治	亀山中学校
	家庭分野	1	校長	溝下 明美	瀬野川中学校
		2	教諭	岡島あゆみ	二葉中学校
		3	教諭	黒飛 悠	長束中学校
		4	教諭	菅本美枝子	砂谷中学校
英語	1	校長	大下 武彦	伴中学校	
	2	教諭	神徳さゆり	早稻田中学校	
	3	教諭	重本 香菜	段原中学校	
	4	教諭	開作志帆子	己斐中学校	
	5	教諭	垣内 祐馬	城南中学校	
	6	教諭	山根 悦子	伴中学校	
	7	教諭	田中希未子	白木中学校	
道徳	1	校長	星野 和敏	己斐上中学校	
	2	教諭	長谷川智美	江波中学校	
	3	教諭	濱川 美月	戸坂中学校	
	4	教諭	佐藤 由佳	翠町中学校	
	5	教諭	重本 優紀	庚午中学校	
	6	教諭	今津 綾香	井口中学校	
	7	教諭	小野真理子	古田中学校	
	8	教諭	坂本 啓次	可部中学校	